

can-am®

SPYDER F3

オペレーターズガイド

安全性、使用およびメンテナンスに関する情報が記載されています

NONO

⚠ 警告

この車両の特殊性について理解してください。

このオペレーターズガイドを読み、安全講習ビデオを以下のサイトでご覧ください：

<https://can-am.brp.com/spyder/owners/safety/safety-information.html>

トレーニングコース（用意されている場合）を受講し、運転の練習を行って習熟してください。

地域によって免許の要件が異なります。各地域の法令をご確認ください。

このガイドをフロントストレージコンパートメントに保管してください。

⚠ 警告

オペレーターズガイド、安全講習ビデオおよび製品に貼付されている警告ラベルに記載の安全注意事項やインストラクションを無視すると、負傷や死亡事故が生じる恐れがあります。

米国カリフォルニア州規制「PROPOSITION 65」に基づく警告警告

⚠ 警告

この車両の運転、整備、および操作を行うことで、米国カリフォルニア州政府が規制する、発がん性や先天性障害または生殖毒性を引き起こすことが知られている化学製品にさらされる可能性があります。そのような可能性を最小限に抑えるために、必要時以外はエンジンのアイドリングをせず、通気性のよい場所で整備を行い、整備時はグローブを着用するか頻繁に手を洗うようにしてください。詳細は、
www.p65warnings.ca.gov/products/passenger-vehicle

TM®で示される以下の商標は、BRPまたはその関連会社が所有しています。
以下の商標は、Bombardier Recreational Products Inc.またはその子会社に帰属します：

ACE™

Can-Am®

D.E.S.S.™

ROTAX®

Spyder®

XPSTM

無断複写転載を禁じます。本オペレーターズガイドの内容の一部または全部を、Bombardier Recreational Products Inc.の許可なしに無断転載することは禁止されています。

©Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) 2021

Deutsch	Dieses Handbuch ist möglicherweise in Ihrer Landessprache verfügbar. Bitte wenden Sie sich an Ihren Händler oder besuchen Sie: www.operatorsguides.brp.com
English	This guide may be available in your language. Check with your dealer or go to: www.operatorsguides.brp.com
Español	Es posible que este manual esté disponible en su idioma. Consulte a su distribuidor o visite: www.operatorsguides.brp.com
Français	Ce guide peut être disponible dans votre langue. Vérifier avec votre concessionnaire ou aller à: www.operatorsguides.brp.com
Italiano	Questa guida potrebbe essere disponibile nella propria lingua. Contattare il concessionario o consultare: www.operatorsguides.brp.com
中文	本手册可能有您的语种的翻译版本。请向经销商询问，或者登录 www.operatorsguides.brp.com 查询。
日本語	このガイドは、言語によって翻訳版が用意されています。ディーラーに問い合わせるか、次のアドレスでご確認ください： www.operatorsguides.brp.com
Nederlands	Deze handleiding kan beschikbaar zijn in uw taal. Vraag het aan uw dealer of ga naar: www.operatorsguides.brp.com
Norsk	Denne boken kan finnes tilgjengelig på ditt eget språk. Kontakt din forhandler eller gå til: www.operatorsguides.brp.com
Português	Este manual pode estar disponível em seu idioma. Fale com sua concessionária ou visite o site: www.operatorsguides.brp.com
Русский	Воспользуйтесь руководством на вашем языке. Узнайте о его наличии у дилера или на странице по адресу www.operatorsguides.brp.com
Suomi	Käyttöohjekirja voi olla saatavissa omalla kielelläsi. Tarkista jälleenmyyjältä tai käy osoitteessa: www.operatorsguides.brp.com
Svenska	Denna bok kan finnas tillgänglig på ditt språk. Kontakta din återförsäljare eller gå till: www.operatorsguides.brp.com

対象モデル
Spyder F3 STD
Spyder F3 S
Spyder F3 T
Spyder F3 リミテッド

カナダの製品代理店は、Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) です。

米国内では、製品の流通とサービスは BRP US Inc. が行います。

欧州経済圏（欧州連合加盟国プラス英国、ノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタイン）、独立国家共同体（ウクライナおよびトルクメニスタンを含む）、ならびにトルコでは、製品の流通とサービスは BRP European Distribution S.A. およびBRPのその他の関連会社または子会社が行います。

製品の流通とサービスは、Bombardier Recreational Products Inc. (BRP)または提携機関が行います。

目次

.....	1
一般情報	
一般情報	10
乗車前に確認すべきこと.....	10
安全メッセージ.....	10
このオペレーターズガイドについて.....	10
「その他の情報源」を参照してください.....	11
謝辞.....	11
一般的な注意	
一酸化炭素中毒の回避	14
ガソリンによる火事や他の危険の回避.....	15
高温部分による火傷の回避.....	16
アクセサリーと改造.....	17
船体情報	
基本コントロール	20
ブレーキペダル.....	21
スロットル.....	21
ハンドルバー.....	22
パーキングブレーキボタン.....	22
ギアシフト・セレクター.....	23
二次コントロール	25
イグニッションスイッチ.....	26
ボタンクラスター.....	26
キーパッド.....	27
エンジンスタートボタン.....	28
クルーズコントロールスイッチ.....	28
エンジンストップスイッチ.....	30
ハザード警告スイッチ.....	31
リバースボタン.....	31
BRP Connectボタン.....	31
ヘッドライトスイッチ.....	31
方向指示灯ボタン.....	32
クラクションボタン.....	32
オーディオ音量コントロール.....	33
エレクトロニックコマンドセンター (ECC).....	33
装備	35
顧客アクセサリ回路.....	35
調整可能ハンドルバーおよびドライバーフットペグ.....	35
ミラー.....	36
フロントストレージコンパートメント.....	36
車載工具.....	37
オペレーターズガイド.....	37
運転席バックレスト.....	37
シート.....	39

モノシートカウル (装備されている場合)	39
リアストレージコンパートメント (装備されている場合)	40
サドルバッグ	40
上部ストレージコンパートメント	41
グローブボックス	43
ボディーパネル	43
診断コネクタ	46
4.5 インチ デジタル ディスプレイ	47
多機能表示	47
警告ランプおよびインジケーター	48
設定	50
大型 パノラマ 7.8 インチ ワイド LCD ディスプレイ	52
LCD ディスプレイ	52
インジケーターランプ	53
設定	54
Bluetooth による スマートフォンのペアリング	57
ヘルメットのペアリング	58
BRP Connect アプリ	58
BRP Connect アプリのクイックツアー	59
動作モード	60
ECOモード	60
標準モード	60
スポーツモード	60
モード表示	60
基本手順	61
エンジンの始動および停止	61
リバースでの運転	62
慣らし運転中の運転	62
燃料	63
サスペンションの調整	64
オーディオ入カジャックとUSBポートの使用	65

安全上の取扱説明書

他の車両との違いについて	68
安定性	68
道路状態に対する反応	68
ブレーキペダル	68
パーキングブレーキ	68
ステアリング	68
全幅	69
リバース	69
運転免許書および現地の法律	69
駆動支援技術	70
車両安定システム (VSS)	70
ヒルホールドコントロール (HHC)	71
ダイナミックパワーステアリング	71
道路上のリスクの把握	72
車両の種類	72
ドライバーの技術および判断力	72
ドライバーの状態	73

車両の状態	73
道路状況および天候	73
ライディングギア	74
ヘルメット	74
その他の装備	75
必要とされる運転技術および実践演習	77
練習場の選択	77
運転の準備	78
運転の姿勢	78
練習の実行	78
高度運転技術の取得	85
道路上の注意事項	87
練習の下準備	87
安全運転	87
視認性を高める	88
車線の位置	89
一般的な運転状況	90
道路状況および危険性	92
道路上での緊急事態	93
タイヤの故障	93
同乗者または積荷を乗せた運転	94
重量制限	94
超過重量で運転する場合	94
同乗者を乗せた運転	94
荷物を乗せる場所	95
トレーラーの牽引	96
知識セルフトテスト	99
質問	99
解答	102
車両の安全情報	104
下げ札	105
安全カード	106
安全ラベル	107
安全面での欠陥の報告	113

走行前点検

走行前のチェックリスト	116
車両始動前の点検内容	116
イグニッション・キーをONのポジションに入れます:	117

メンテナンス

メンテナンスのスケジュール	120
最初の点検	123
メンテナンスの手順	124
エンジンオイル	124
エアフィルター	127
エンジン・クーラント	129
ラジエーターファン	130
バッテリー	131

駆動ベルト	132
車輪およびタイヤ	134
ブレーキ	135
ヘッドライト	137
車両のお手入れ	140
洗車	140
車両の保護	140
保管およびシーズン前の準備	142
収納	142
シーズン前の準備	142

道路脇での修理

診断の指針	144
シフトがニュートラルに入らない	144
シフトが動かない	144
エンジンが始動しない	144
多機能ゲージのメッセージ	146
以下の状況に対する解決策	150
失われたキー	150
タイヤのパンク	150
上がったバッテリー	150
バルブの交換方法	152
ライト	152
ヒューズの交換方法	166
ヒューズの位置	166
ヒューズの説明	166
ヒューズの交換	168
車両の移送	170

技術情報

車両の識別	174
車両識別番号	174
エンジン識別番号	174
車両コンプライアンスラベル	174
騒音エミッションコントロールシステム規制	176
無線周波数デジタルコード化されたセキュリティシステム (無線周波数D.E.S.S.キー)	177
多機能ゲージの法規制に関する情報 (大型パノラマ7.8インチワイドLCDディスプレイ)	178

技術仕様

技術仕様	184
-------------	------------

保証

BRP限定保証 – 米国およびカナダ : 2022 CAN-AM® SPYDER® シリーズ	194
1. 限定保証の範囲	194

2.責任の範囲	194
3.除外規定（以下は保証修理の対象とはなりません）	194
4.保証対象期間	195
5.保証の適用を受けるための条件	195
6.保証を受けるためにしていただくこと	196
7.BRPが行うこと	196
8.譲渡	196
9.お客様サポート	196
米国EPA排出ガス性能保証	197
米国EPA連邦騒音エミッション保証	199
カリフォルニア州排出ガス制御システム保証	200
BRP国際限定保証：2022 CAN-AM® SPYDER® シリーズ	204
1.限定保証の範囲	204
2.責任の範囲	204
3.除外規定（以下は保証修理の対象とはなりません）	204
4.保証対象期間	205
5.保証の適用を受けるための条件	206
6.保証を受けるためにしていただくこと	206
7.BRPが行うこと	207
8.譲渡	207
9.お客様サポート	207
欧州経済地域、独立国家共同体の加盟国およびトルコ向けBRP限定保証： 2022 CAN-AM® SPYDER® シリーズ	208
1.限定保証の範囲	208
2.責任の範囲	208
3.除外規定（以下は保証修理の対象とはなりません）	208
4.保証対象期間	209
5.保証の適用を受けるための条件	210
6.保証を受けるためにしていただくこと	210
7.BRPが行うこと	210
8.譲渡	211
9.お客様サポート	211
10.フランスのみに適用される追加利用規約	211
メンテナンス記録	212

顧客情報

個人情報	216
-------------	------------

空白ページ

一般情報

一般情報

新しいCan-Am® 3輪バイクをご購入いただきありがとうございます。購入いただいた製品のサポートは、Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) の保証サービス、お客様が必要とされる部品、サービスおよびアクセサリーを取り揃えている認定ディーラーネットワークが行っています。

ディーラーはお客様の満足を提供いたします。ディーラーは、準備や点検を行うためのトレーニングを受け、お客様がこの新しい車両を所有される前の最終調整も行っています。

詳しいサービス情報をご希望の場合は、最寄りのディーラーまでお問い合わせください。

納品時には、お客様に保証範囲をお知らせいたします。また、新しい車両がご満足いただけるものであることを保証するために、お客様に納居前チェックリストにご署名いただいています。

乗車前に確認すべきこと


運転者、同乗者および他の人々の安全を確保するため、この車両に乗る前に次のセクションをお読みください。

- 一般的な注意
- 船体情報
- 安全上の取扱説明書
- 走行前の点検

経験豊かなモーターサイクル運転経験者であっても、車両の特殊性にご注意ください。

安全メッセージ

本ガイドに記載されている安全に関するメッセージの種類、特長および本ガイドでどのように使用されているかは以下で説明されています。

安全警告記号  は、人が負傷する恐れがあることを示しています。

警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

注意

指示に従わなかった場合、中度または軽度の負傷を招く恐れがあることを示します。

注意

指示に従わなかった場合、車両の構成部品などに重大な損傷を招く恐れがあることを示します。

このオペレーターズガイドについて

本オペレーターズガイドは右車線走行である米国で作成されました。本書の説明は、お住まいになられている地域の管轄および法律に従いながら参照してください。

本オペレーターズガイドに記載されている「モーターサイクル」という用語は通常、二輪のバイクを意味します。

本オペレーターズガイドは車両内に保管し、メンテナンス、道路脇での修理、および同乗者に指示する際に参照してください。

オペレーターズガイドの閲覧やコピーを希望する場合は、次のウェブサイトアクセスしてください。

www.operatorsguides.brp.com

本書に記載されている情報は、発行時点で正しいものです。ただし、BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改善を施す義務を負うことなく、製品を継続的に改善する方針を維持します。

その後の変更により、製造された製品と本ガイドにおける説明および/または仕様との間に差異が生じる場合もあります。BRPは何らの義務を負うことなく、製品の仕様、設計、機能、型式、装置などをいつでも変更し、あるいは製造を終了する権利を留保します。

車両を売却するときは、このオペレーターズガイドを必ず車両内に入れておいてください。

「その他の情報源」を参照してください

本オペレーターズガイドの他にも、車両の安全カードを読み、安全講習ビデオを以下のサイトでご覧ください：

<https://can-am.brp.com/spyder/owners/safety/safety-information.html>

または、以下のQRコードを使用してください。



可能であれば、3輪トライクの特別トレーニングコースを受講してください。

今後提供されるトレーニングコースのスケジュールに関しては、下記のサイトを参照してください。

www.can-am.brp.com

お住まいの地域で3輪トライクの特別トレーニングコースが提供されていない場合は、バイクのトレーニングコースの受講を推奨します。

必要とされる技術の多くは似ており、路上の危険管理に関して得られる情報も3輪トライクによく当てはまるものです。

謝辞

BRP は、Motorcycle Safety Foundation (MSF) が本オペレーターズガイドにMSFの道路上のモーターサイクルの安全性に関する資料を使わせていただいたことに謝辞を述べます。

MSFはあらゆるモーターサイクルメーカーから支持されている、国際的に認知された非営利財団です。モーターサイクルの安全性に関するコミュニティにトレーニング、工具およびパートナーシップを提供されています。詳細は下記のサイトを参照してください。

www.msf-usa.org

空白ページ

一般的な注意

一酸化炭素中毒の回避

すべてのエンジン排気は、致命的なガスである一酸化炭素を含みます。一酸化炭素を吸うと頭痛、めまい、眠気、吐き気、錯乱や時には死亡に至ることがあります。

一酸化炭素は、全くエンジン排気を見たり、その匂いを感じないとしても存在する恐れがある、無色、無臭、無味のガスです。一酸化炭素は極めて早く致死濃度に高まることがあり、あっという間に悪影響を受けて、自身を守れなくなります。また、閉じた場所や換気が悪い場所では、一酸化炭素の致死濃度が数時間あるいは数日も長引くことがあります。一酸化炭素中毒の徴候を感じたら、すぐにその場所を離れ、新鮮な空気を得て、治療を求めてください。

一酸化炭素による重傷または死を防ぐには：

- ガレージ、カーポートや納屋などの換気が悪い、または部分的に閉じられたエリアで車両を絶対に運用しないでください。扇風機や窓およびドアを開けたりしてエンジン排気を通気しようとしても、一酸化炭素が危険なレベルに速く達する場合があります。
- 窓やドアなどの開口を通してエンジン排気が建物に吸い込まれる恐れがある場所では、決して屋外で車両を運転しないでください。

ガソリンによる火事や他の危険の回避

ガソリンは可燃性が高く、非常に爆発性があります。燃料の蒸気は拡散し、エンジンから遠く離れた火の粉や炎によって引火することもあります。火事や爆発の危険性を低減させるために、以下の指示に従ってください：

- 燃料を補給する場合、炎、火の粉、火がついてるタバコやその他の点火源から離れ、よく換気された屋外で行ってください。
- 決して、エンジンの稼働中には燃料を補給しないでください。
- 決して、燃料タンクから溢れさせないでください。温度の変化で燃料が膨張する場合がありますので、燃料タンクに若干の余裕を残してください。
- こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。
- 絶対に燃料フィラードアを開けたままで始動したり運転したりしないでください。
- 燃料の保存には、承認された赤いガソリン容器だけを使ってください。
- ガソリン容器を車両に載せて運搬しないでください。

ガソリンは有毒で、傷害や死亡を引き起こす場合があります。

- 決して、口によりガソリンをサイフォンしないでください。
- ガソリンを飲み込んだり、目に入ったり、ガソリンの蒸気を吸い込んだ場合は、すぐに医者にかかってください。

ガソリンが体にかかった場合は、石鹼と水で洗い、衣服を着替えてください。

高温部分による火傷の回避

排気、オイルおよびクーリングシステム、およびエンジンは運転中に高温になります。多機能ゲージガラスなどの他の部品も、日光にさらされると高温になることがあり、温度が60 °C (140 °F) を超える可能性もあります。火傷を避けるために、運転中や運転直後は接触しないでください。

アクセサリと改造

承認を受けていない改造や、BRPが認定していないアタッチメントや用品の使用は避けてください。これらの改造はBRPによる試験を受けていないので、交通事故や負傷の危険性を高め、車両の使用が違法となる場合があります。

通常のモーターサイクルとは異なり、車両には車両安定システム (VSS) が搭載されています。これは、通常の車両構成に対して較正が行われています。VSSは、重量配分、ホイールベース、タイヤ、サスペンション、ブレーキまたはステアリングを変更するなど、車両を改造した場合、適切に機能しなくなることがあります。

車両で使用できるBRPアクセサリについては、認定Can-Am On-Roadディーラーにご相談ください。

空白ページ

船体情報

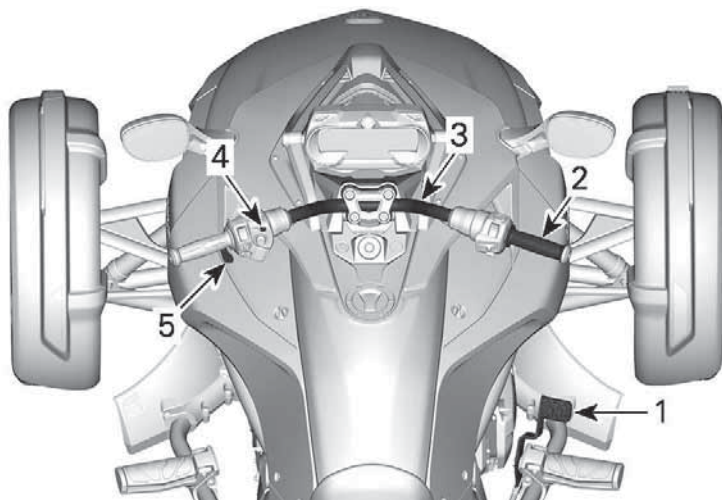
基本コントロール

すべてのコントロールの位置と操作方法を知り、それらをスムーズおよびコーディネートよく利用するために練習することが必要です。

ハンドルバーとドライバーフットペグは、運転者に合わせて調節することができます。車両運転者の手足がすべての操作部に届き、それらの操

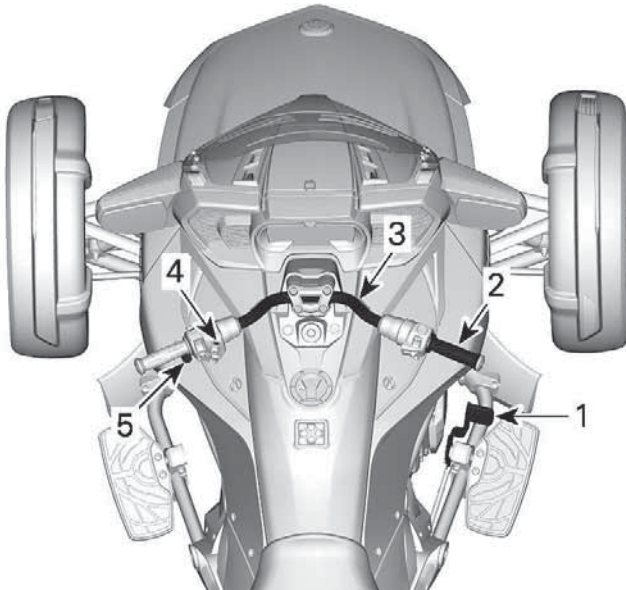
作部を使用できるようにすることが重要です。たとえば、ブレーキペダルにすぐに足が届いて使用でき、その機能作動範囲全体で操作が可能でなければなりません。

車両の安全を維持するため、調整は認定 Can-Am On-Roadディーラーで行ってください。



F3 STDおよびSモデル

1. ブレーキペダル
2. スロットル
3. ハンドルバー
4. パーキングブレーキボタン
5. ギアシフト・セレクター



F3 Tおよびリミテッドモデル

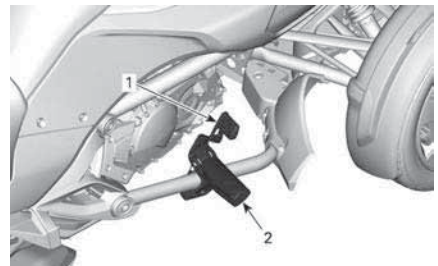
1. ブレーキペダル
2. スロットル
3. ハンドルバー
4. パーキングブレーキボタン
5. ギアシフト・セレクター

ブレーキペダル

ブレーキペダルは右フットレストの前にあります。操作するには下に押し下げます。このペダルは三つの車輪すべてにブレーキをかけます。

注意

走行中に足がブレーキペダルにもたれないようにしてください。さもないと、エンジンマネージメントシステムはブレーキシステムを守るためにLIMP HOMEモードを起動させます。



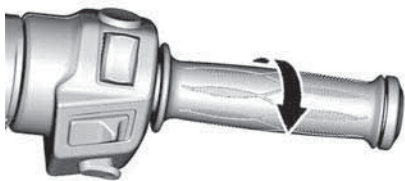
1. ブレーキペダル
2. フットレスト

スロットル

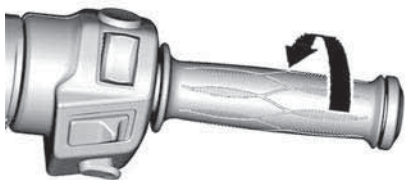
右側のハンドルグリップをひねってスロットルを操作します。これにより、エンジンに流れる燃料量を調整して車速を制御します。

速度を上げるには、スロットルを手前にひねります（手首を下げる）。

速度を下げるには、スロットルを戻す方向にひねります（手首を上げる）。



スピードを上げる



スピードを下げる

スロットルはばねで留められており、グリップを放すとアイドリング状態に戻るはずですが、

この車両にはETC (Electronic Throttle Control、「電子スロットル制御」)が搭載されています。スロットルボデーのスロットルプレートは電子的に制御されており、スロットルのツイストグリップ位置に関係なく、必要な時に開けたり閉めたりできます。

加速時は、車両の安定性を維持するために車両安定システム (VSS) がエンジンの加速を抑える場合があります。次に、車両が安定化された後、スロットルの位置が維持されている場合、要求に応じてエンジンのRPMは上がります。これは「遅延」加速として実行されます。

VSSは車両を加速させることができません。VSSが行うのは、滑りやすい路面でのエンブレキの効きを弱めるためにスロットルを若干開

けることだけです。これにより、エンジンブレーキを原因とするリアタイヤのスリップを防ぎます。

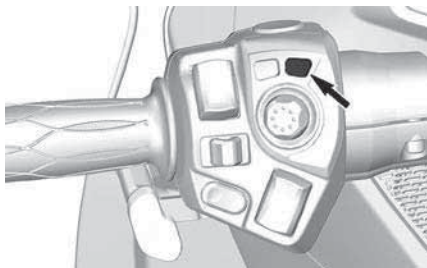
ハンドルバー

両手でハンドルを握ります。行きたい方向にハンドルを切ります。

パーキングブレーキボタン

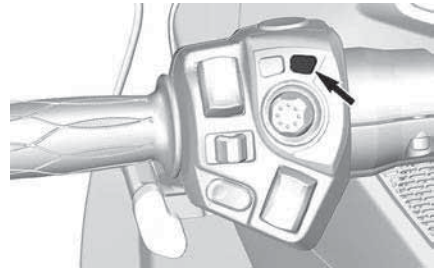
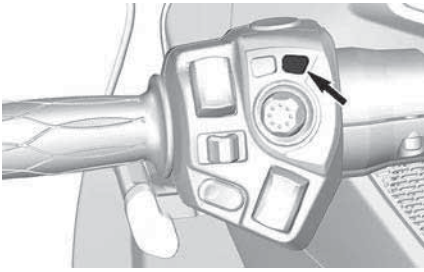
パーキングブレーキボタンは左側ハンドルバーにあります。これは電動パーキングブレーキを起動または解除させます。

パーキングブレーキをかけずにエンジンを停止した場合、ビープ音が20秒間鳴ります。



パーキングブレーキのかけ方

車両が停止してイグニッションキーがオンの状態で、ボタンを押してパーキングブレーキをかけます。ブレーキインジケータランプが点滅します。

**注記：**

パーキングブレーキをかけるには、11 V以上の電圧が必要です。バッテリー電圧が11 V未満の場合、パーキングブレーキインジケータランプが点滅し、クラスターディスプレイにメッセージが表示されます。

⚠ 注意

人の負傷や車両の損傷を防止するため、車両が10 km/h (6 mi/h) を超える速度で走行しているときは、パーキングブレーキがかかりません。

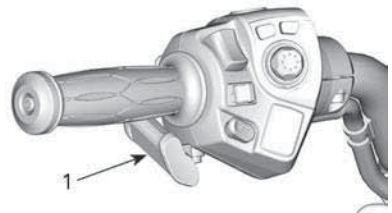
パーキングブレーキが完全に起動していることを確認します。車両を前後に揺すりませます。

パーキングブレーキのリリースの仕方

パーキングブレーキを解除するには、ボタンを押してブレーキインジケータランプが消灯したことを確認します。

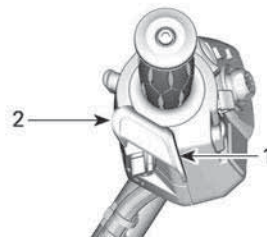
ギアシフト・セレクター

ギアシフトセレクターは、左ハンドグリップの下にあります。



1. ギアシフト・セレクター

シフトアップするにはセレクターを前に押しします。シフトダウンするにはセレクターを自分に目掛けて引きます。



1. アップシフト
2. ダウンシフト

これによりギアからギアへと順序よくシフトさせます。シフト後にセレクターを放します。

- ギアを数段階シフトさせるには、セレクターを数回使用します。

- 第一ギアまたはリバースからニュートラルにシフトするには、ギアセレクターを短く押すまたは引きます。より長いアクティベーションでは、ニュートラルを通り越してしまいます。
- リバースから1速ギヤに入れるには、ブレーキを踏んでシフトアップします。
- ニュートラルから1速ギヤに入れるには、ブレーキを押してシフトアップします。

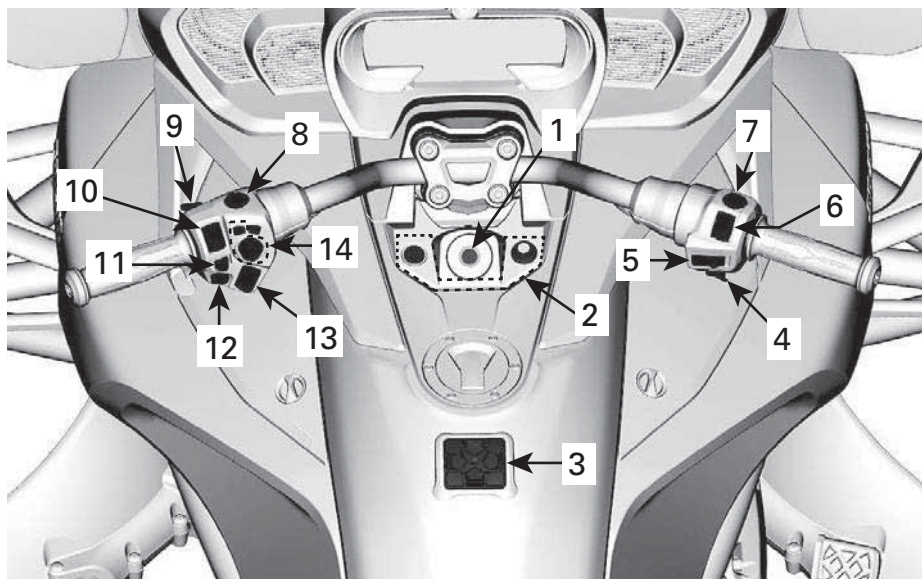
ギヤシフトセレクターを放すと、次のシフトアップまたはダウンに備えて自らの機構がリセットされます。

減速中にシフトダウンせず、エンジンRPMがしきい値以下になってしまった場合、ギヤボックスは自動的に次の利用可能なギヤにシフトダウンします。

ギヤボックスがギヤに入っている状態でエンジンが起動された場合、自動的にニュートラルにシフトします。

二次コントロール

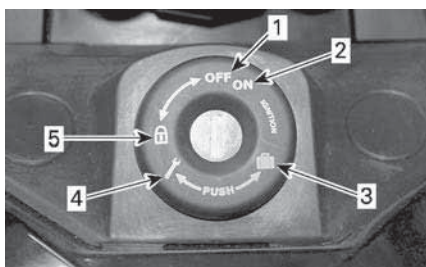
機能の一部はご使用のモデルに該当しない、またはオプションである可能性があります。



代表例 - リミテッドモデル

1. イグニッションスイッチ
2. スイッチ・クラスター
3. キーパッド
4. エンジンのスタートボタン
5. クルーズコントロールスイッチ
6. エンジンストップスイッチ
7. ハザード警告スイッチ
8. リバースボタン
9. BRP Connectボタン
10. ヘッドライトスイッチ
11. ウィンカーボタン
12. クラクション・ボタン
13. オーディオ音量コントロール
14. エレクトロニックコマンドセンター (ECC)

イグニッションスイッチ



イグニッションスイッチ

1. OFF
2. ON
3. フロントストレージコンパートメントの開口部
4. 同乗者シート開口部
5. ステアリングロックの位置

イグニッション・スイッチはハンドルの中央にあります。

注意

キーを簡単に回せない場合、無理やり回さないでください。引き抜いて再挿入します。

警告

イグニッション・スイッチをOFFにすると、エンジンおよびVSSおよびDPSを含むすべての電気システムをシャットオフさせます。これを車両が動いている最中にすると、コントロールを失って激突する可能性があります。

車両には二つのキーが付いてきます。各キーには、エンジンを起動させるためにあらかじめプログラムされ、無線周波数を通じてイモビライザーシステムによって読み取られる、特殊なトランスポンダーチップが含まれています。キーには電池が含まれていません。キーを分解しないでください。イモビライザーシステムがキーを読み取れなかった場合、エンジンは始動しません。イモビライザーシステムがキーを読み取れなくなる状況については、診断ガ

イドラインを参照してください。Can-Am On-Roadの認定ディーラーにキーをもう1つ製作してもらうには必ずスペアキーが必要であるため、スペアキーを安全な場所に保管してください。

イグニッション機能

OFF

キーはこの位置で挿入または引き抜くことができます。

OFFに回すと車両の電気システムはOFFになります。

エンジンはイグニッション・スイッチをOFFに回すことでシャットダウンできます。

ON

キーをこの位置に回すと、車両の電気システムが起動されます。

ゲージが起動されるはずですが、

車両のライトがONになります。

これでエンジンを起動することができます。

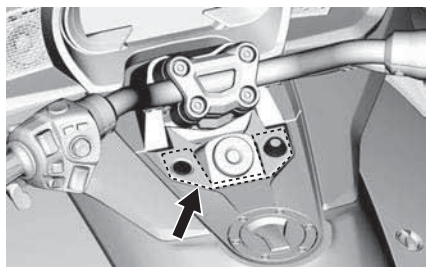
ハンドルおよびグローブボックスのロック

ステアリング機構およびグローブボックスをロックするには：

1. キーをイグニッション・スイッチに挿入します。
2. ハンドルを右または左に完全に回転させます。
3. キーを左に1/4回回してステアリング・ロックの位置までもっていき、キーを取り外します。

ボタンクラスター

ボタンクラスターはセンターコンソールにあります。

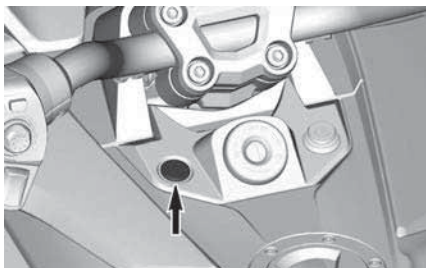


これには、さまざまな電気アクセサリを制御する多くのボタンが含まれています。

注記：

これらのアクセサリのボタンを作動させるには、バッテリー電圧が11V以上でなければなりません。

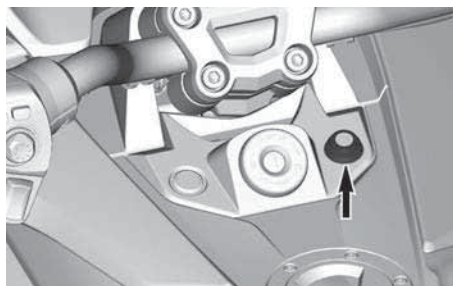
**運転者用グリップヒーターボタン
リミテッドモデルのみ**



運転者用グリップヒーターボタンでグリップヒーターをONおよびOFFできます。

グリップヒーターを作動させたり停止させたりするには、ボタンを押します。

アクセサリライトボタン- オプション



アクセサリライトを追加するときにボタンを配置する場所。

キーパッド



キーパッドはセンターパネルにあります。

キーパッドは、オーディオシステムを操作するために使用します。次の要素をコントロールします。

- ソース (ラジオまたはBluetooth)
- ボリューム
- プリセット/シーク
- ミュート/再生
- 出力 (スピーカーまたはヘッドセット)



FMオーディオソースが選択されているとき、プリセット/シークボタンは次のように機能します。

- 短く押す：前のまたは次の放送局に切り替わります
- 長く押す：周波数を上げ下げして局を探します

Bluetoothオーディオソースが選択されているとき、プリセット/シークボタンは次のように機能します。

- 左：前の曲
- 右：次の曲

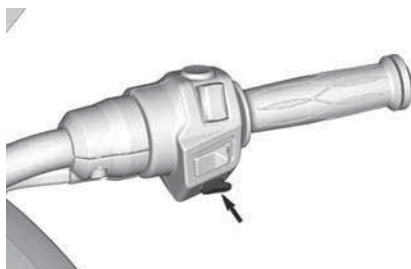
IN AUXオーディオソースが選択されているとき、プリセット/シークボタンは機能しません。

注記：

Apple製機器を使用しているときは、BRP Connectが選択されていると、プリセット/シークボタンが機能しない場合があります。

エンジンスタートボタン

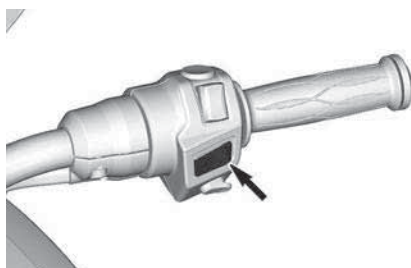
エンジンスタートボタンは、右側ハンドルバーハウジングの下部にあります。




これを押し続けてエンジンを起動させます。

クルーズコントロールスイッチ

クルーズコントロールスイッチは、右側ハンドルバーの中央付近にあります。



このスイッチは多機能タイプです。これはクルーズ・コントロールの機能を起動、セットおよび停止させます。

クルーズコントロールが作動しているときは、次のアイコン  がデジタルディスプレイに表示されます。

⚠ 警告

トレーラーを牽引している際にクルーズ・コントロールを使用することは推奨されません。

セットされている場合、クルーズ・コントロールは車両の走行中に一定のスピードを保つことを可能にします。必要に応じてエンジン速度を上げ下げします。

注記：

車両のトルクは風、下り坂または上り坂などの道路状況に応じて多少異なる場合があります。

クルーズ・コントロールは交通が少ない高速道路など、長時間のドライブの使用のためにデザインされています。街中、曲がりくねった道、悪天候またはスロットルを制御する必要のあるいかなる状況でクルーズ・コントロールを起動させたまま絶対に車両を運転しないでください。

クルーズコントロールの制限

クルーズ・コントロールは自動操縦ではなく、車両を自動的に運転しません。

クルーズ・コントロールは道路上の出来事は把握できず、自動的にブレーキをかけたり操縦したりしません。

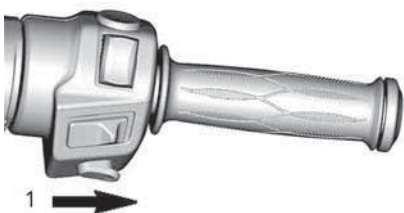
警告

クルーズ・コントロールの不適切な使用により、車両のコントロールを失ってしまいかねません。

クルーズ・コントロールの設定の仕方

クルーズコントロールを使用するには、車両速度が約 40 km/h (25 MPH) 以上でなければなりません。

クルーズ・コントロールをONにさせるには、クルーズ・コントロール・ボタンを右にスライドさせます。

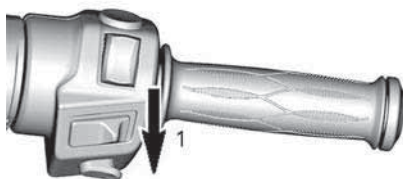


1. ボタンを右にスライドさせる

注記：

このときのクルーズコントロールアイコンは、デジタルディスプレイ内でグレーで表示されます。

維持したい速度まで車両を加速させ、その速度をセットするにはクルーズ・ボタンを下に押します。



1. セットさせるにはボタンを下に押します

注記：

このときのクルーズコントロールアイコンは、デジタルディスプレイ内でグリーンで表示されます。

これでスロットルを戻すことができます。

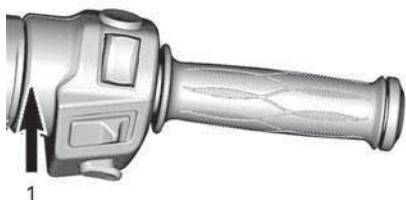
警告

走行中は必ず両手でハンドルを握ります。さもないと、車両のコントロールを失いかねません。

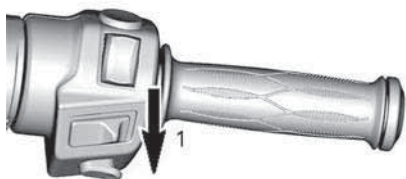
注記：

セットされた速度より早く走行したい場合、スロットル・グリップを使ってエンジン速度を加速させることもできます。スロットルをリリースすると、クルーズ・コントロールはセットされた速度に戻ります。

クルーズ・コントロールがセットされたら、UPまたはDOWNボタンを押して速度設定を上げ下げできます。ボタンを押すごとに、速度設定は1.6 km/h (1 MPH) ずつ変化します。ボタンを押し続けると、リリースされるまで、または運転限界に到達するまで速度設定が変更されます。



1. 速度設定を上げるにはUPボタンを押します



1. 速度設定を下げるにはDOWNボタンを押します

クルーズ・コントロールのキャンセル方法

次に示すいずれかの状態が発生すると、クルーズコントロールがキャンセルされます。

- ブレーキペダルが踏まれた場合。
- ギヤチェンジ
- いかなる車両安定システムの介入。

クルーズ・コントロールの再開方法

クルーズコントロールがキャンセルされ、クルーズコントロール・スイッチがまだONの位置に入っている場合、クルーズコントロール・ボタンを上を押すことでクルーズコントロールの操作を再開させることができます。クルーズコントロールは以前にセットされた速度まで復元します。



1. ボタンを左にスライドさせる

注記：

デジタル表示では、クルーズ・コントロール状態は「CRUISE SET」(クルーズSET)と表示されます。

クルーズ・コントロールの解除方法

クルーズ・コントロール操作を完全に停止させるには、クルーズ・コントロール・ボタンを左にスライドさせます。



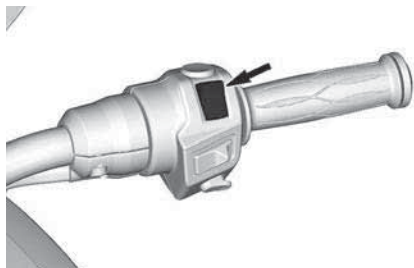
1. ボタンをOFFにスライドさせる

注記：

デジタル表示では、「CRUISE ON」(クルーズON)の表示が消えます。

エンジンストップスイッチ

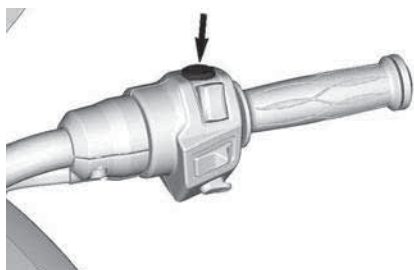
エンジンストップスイッチは、右側ハンドルバーハウジングの上部にあります。



スイッチには2つの位置があり、エンジンを起動させる前にRUNのポジションにセットする必要があります。ハンドルから手を放さずにエンジンをいつでも停止させることができます。

ハザード警告スイッチ

ハザード警告ボタンは、右側ハンドルバーハウジング上部にあります。

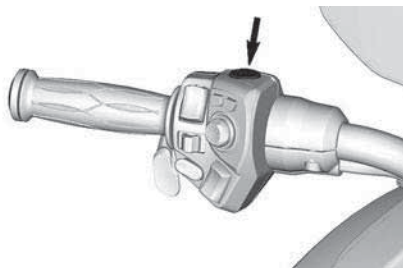


ボタンを押してハザード警告ライトをオンにしたりオフにしたりします。

リバースボタン

リバースボタンは左ハンドル・ハウジングの上にあります。

リバースボタンは左ハンドグリップの側にあります。

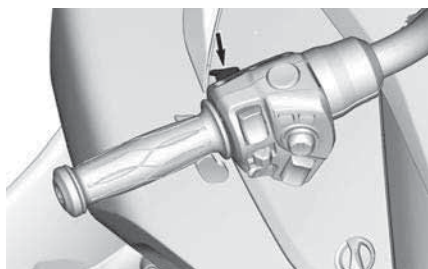


リバースにシフトするためにリバースボタンを押し続けます。詳細は、基本手順のサブセクションのリバース操作を参照してください。

バックアップライトは車両がリバースに入ってる時にONになります。

BRP Connectボタン

BRP Connectボタンは、左側ハンドルバーハウジングの後部にあります。

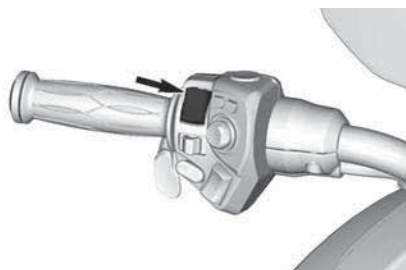




注記：

BRP ConnectボタンはBRP Connectへのクイックアクセスのために使用されます。クリックする毎に、多機能ケージのアプリ表示と機能表示の間で切り替わります。

ヘッドライトスイッチ

ヘッドライトスイッチは、左側ハンドルバーハウジングの上部にあります。

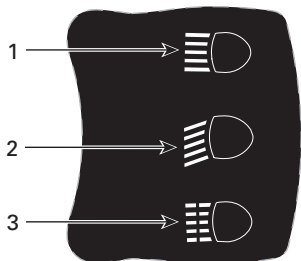


ヘッドライトが点灯しているときは、次のアイコン   がデジタルディスプレイに表示されます。

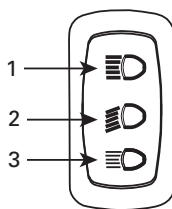
スイッチはハイまたはロービームのヘッドライトの選択に使用します。ヘッドライトはエンジンが800RPMに達した時に自動的にONになり、エンジンの停止から約20秒後に自動的にOFFになります。

ハイビームを選択するには、スイッチをフロント位置まで押します。ロービームを選択するには、スイッチをバック位置まで押します。

ハイビームをフラッシュさせるには、スイッチを押し下げてから放します。ハイビームはスイッチを押し続けている限りONになり続けます。



1. ハイビーム
2. ロービーム
3. ハイビームのフラッシュ

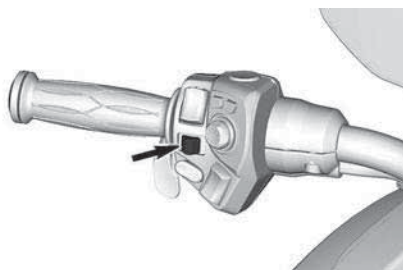




その他の全モデル

1. ハイビーム
2. ロービーム
3. ハイビームのフラッシュ

方向指示灯ボタン

ウインカーボタンは、左側ハンドルバーハウジングの中央にあります。



ウインカーが作動しているときは、次のアイコン   がデジタルディスプレイに表示されます。

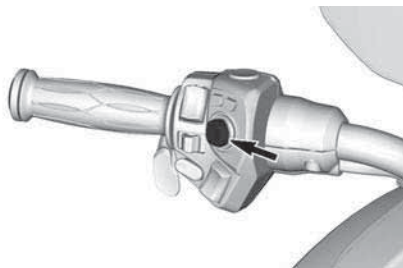
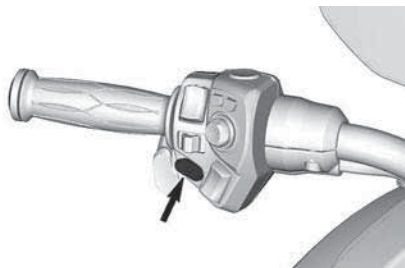
ウインカーは曲がった後は通常自動的にOFFになりますが、浅い曲がりや車線変更の後に手動でOFFにする必要がある場合があります。

ウインカーをOFFにするには、ボタンを中に押し入れます。

車両の走行中は、ウインカーは30秒後に自動的にOFFになります。

クラクションボタン

クラクションボタンは、左側ハンドルバーハウジングの下部にあります。



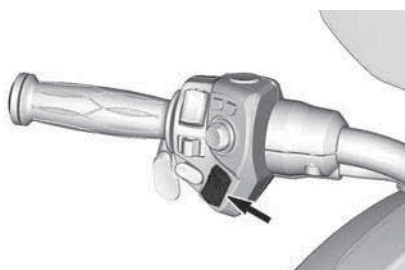
オーディオ音量コントロール

オーディオ音量コントロールは、左側ハンドルパーハウジングの下部にあります。

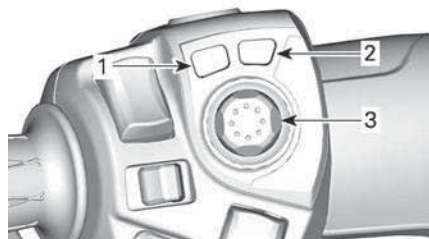
ECCは、多機能ゲージのさまざまな機能のコントロールを可能にする多機能スイッチです。

注記：

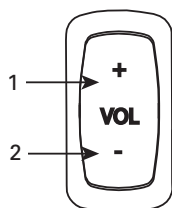
ECCへの入力は、車両電子モジュールが車両の主な機能を優先させるため、短時間だけ保留される場合があります。これは異常ではありません。



このボタンで、オーディオシステムの音量を、希望の音量まで上げ下げできます。



1. [モード]ボタン(MODE)
2. パーキングブレーキボタン
3. ジョイスティック



1. 音量増
2. 音量減

エレクトロニックコマンドセンター (ECC)

ECCは左ハンドグリップ付近にあります。

⚠ 警告

運転中にECCを使用すると、走行中に運転手の注意をそらしかねません。ボタンは常に注意して使用し、道路に常に目を向けてください。

オーディオコントロール

ホーム画面で、ジョイスティックのUPまたはDOWNボタンを押すとオーディオの音量を上げ下げします。

注記：

オーディオのボリュームレベルは、設定画面で設定されている自動ボリュームコントロール設定に従って調整可能です。

オーディオの自動音量レベルコントロールを可能にするには、以下へ進みます：

- オーディオ
- 構成
- 自動音量調節

JOYSTICK DOWNボタンを一秒以上押します。オーディオの音量はミュートになります。

ミュート状態でジョイスティックUPボタンを押すとオーディオの音量を最後の設定にリセットします。

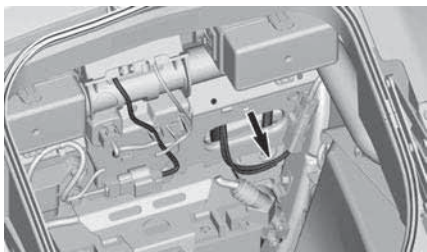
装備

顧客アクセサリ回路

この車両には、アクセサリを取り付けるための電源線およびアース線があります。

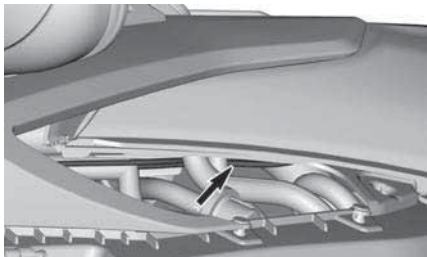
指示されている場所のハーネスを開けてください。

1. フロントストレージコンパートメントの後ろ。



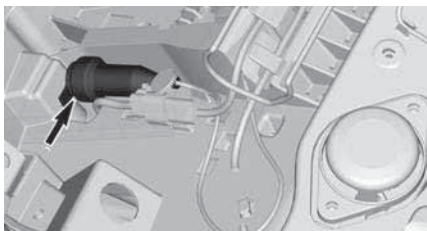
DC12 - 前側顧客アクセサリ回路 - ストレージコンパートメントの後ろ

2. 横サービスカバーの後ろ。



DC34 - 中側顧客アクセサリ回路 - 左横サービスパネルの後ろ

3. 同乗者シートの下。



DC56 - 後ろ側顧客アクセサリ回路 - 同乗者シートの下

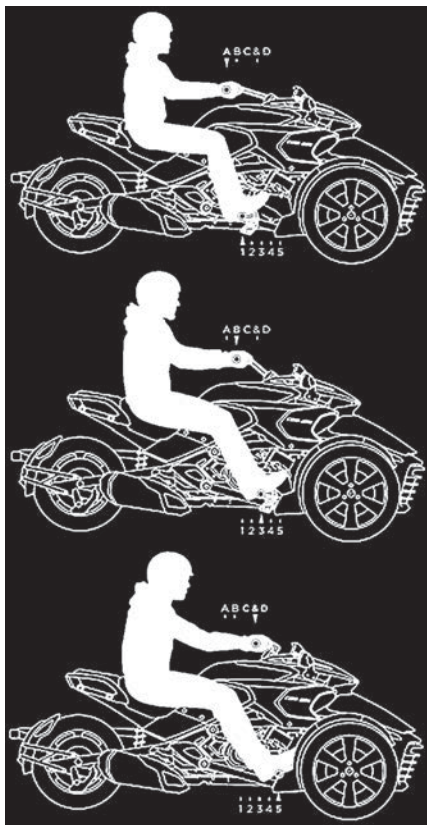
調整可能ハンドルバーおよび ドライバーフットペグ

ハンドルバーとドライバーフットペグは、運転者に合わせて調節することができます。車両運転者の手足がすべての操作部に届き、それらの操作部を使用できるようにすることが重要です。たとえば、ブレーキペダルにすぐに足が届いて使用でき、その機能作動範囲全体で操作が可能でなければなりません。

車両の安全を維持するため、調整は認定 Can-Am On-Road デイラーで行ってください。

⚠ 警告

コントロールは、運転者が常にすべてに適切に手が届かなければなりません。



ハンドルバーおよびフットベグの位置の例

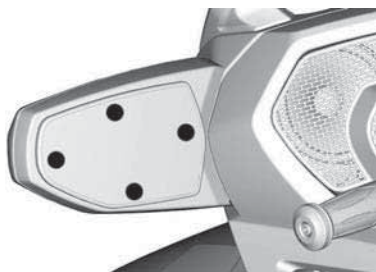
ミラー

ミラーの調整

以下に表示されているミラーの箇所を指で押して、位置を4方向に調整します。



ミラー調整ポイント - STDおよびSモデル



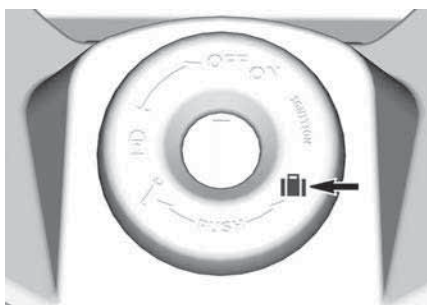
ミラー調整ポイント - Tおよびリミテッドモデル

フロントストレージコンパートメント

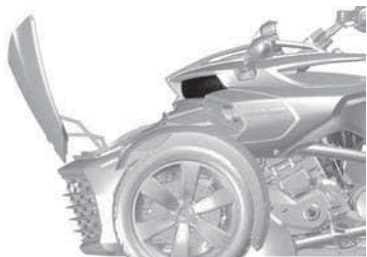
フロントストレージコンパートメントの開け方

1. キーをイグニッション・スイッチに挿入します。
2. キーを押して左に1/4回回してフロントストレージコンパートメントの位置までもっていき、その位置を維持しながらカバーを持ち上げます。

注記：
エンジン稼動時にフロントストレージコンパートメントを開けることができません。



フロントストレージコンパートメントを開けるキーの位置

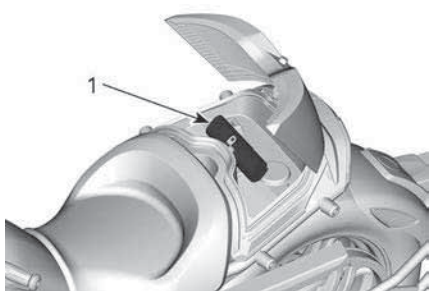


代表例 - フロントストレージコンパートメントが開いた状態

車載工具

STDおよびSモデル

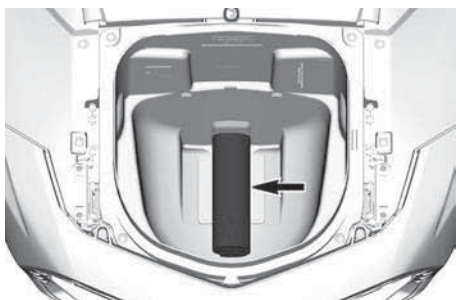
ツールキットはリアストレージコンパートメントにあります。



1. 車載工具

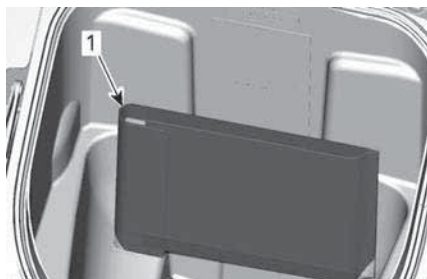
Tおよびリミテッドモデル

車載工具はフロントストレージコンパートメントにあります。



オペレーターズガイド

オペレーターズガイドはフロントストレージコンパートメントにあります。



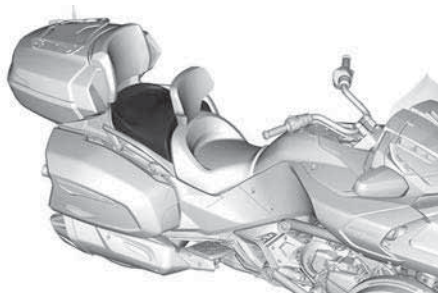
1. オペレーターズガイド

オペレーターズガイドを必ず車両の中に入れておいてください。

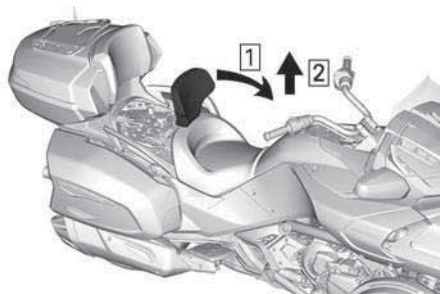
運転席バックレスト

運転席のバックレストの取り外し

1. 同乗席を取り外します。



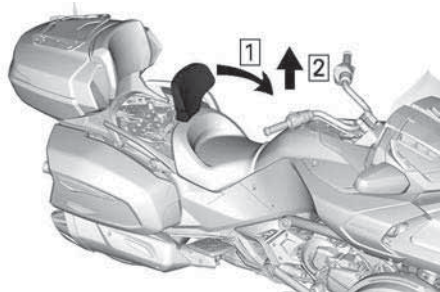
2. バックレストを若干前方に引き、バックレストのロックを解除して取り上げます。



1. 前方に引く
2. 持ち上げる

運転席のバックレストの調整

1. バックレストを若干前方に引き、バックレストのロックを解除して持ち上げて調整します。



1. 前方に引く
2. 持ち上げる
2. バックレストを前方に倒し、カバートを若干引き上げます。調整スクリューを回し、バックレストを希望する角度に調整します。
 - 時計方向に回すと、バックレストが若干後方に傾斜します。
 - 反時計方向に回すと、バックレストが若干前方に傾斜します。

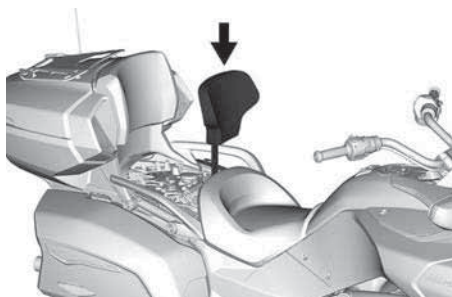


運転席のバックレストの取り付け

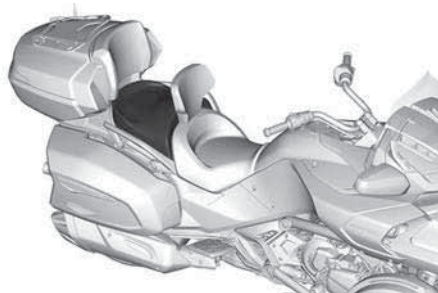
1. バックレストを所定の位置まで下げます。

⚠ 注意

バックレストには、2つの高さ位置があります。バックレストが、2つの位置のいずれかに正しく固定されていることを確認します。



2. 同乗者シートを取り付けます。



シート

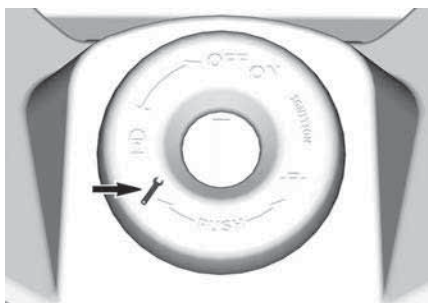
同乗者シートを開ける (装備されている場合)

1. キーをイグニッション・スイッチに挿入します。
2. キーを押して右に1/4回回してシートオープン位置にして、その位置を維持しながら同乗者シートを持ち上げます。



代表的な例

1. つなぎコード
2. 留めクリップ



シートを開くためのキーの位置



1. 同乗者シート

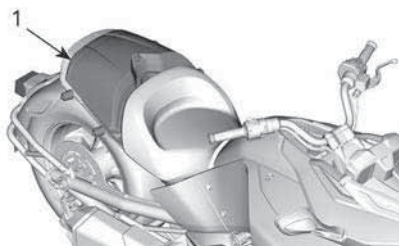
3. 留めクリップからシート綱コードをはずします。

⚠ 警告

部品が落下すると道路の危険物になる恐れがあります。道路の危険物になる潜在的なリスクを避けるため、このコンパートメントをカバーする部品には常に綱コードを取り付けておいてください。

モノシートカウル (装備されている場合)

数秒間パッセンジャーシートに乗り、車両をスポーツ1-アップコンフィギュレーションに変換します。



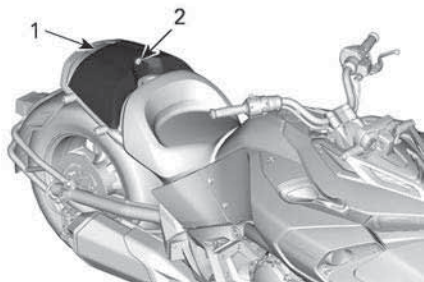
1. モノシートカウル

⚠ 警告

部品が落下すると道路の危険物になる恐れがあります。道路の危険物になる潜在的なリスクを避けるため、このコンパートメントをカバーする部品には常に綱コードを取り付けておいてください。

リアストレージコンパートメント (装備されている場合)

付属のキーでロックを解除します。



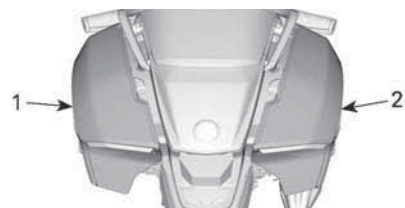
1. リアストレージコンパートメント
2. ロック

サドルバッグ

これらのモデルには、身の回り品を運ぶためのサドルバッグが2つ装備されています。

注意

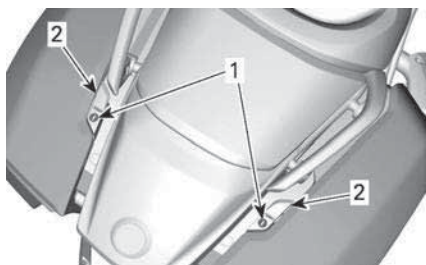
最大積載量を遵守してください。
荷重限度については、必ずサイドストレージコンパートメントの荷重のラベルを参照してください。



代表的な例

1. 左サドルバッグ
2. 右サドルバッグ

サドルバッグのロックを解除して、ハンドルを引いて開きます。



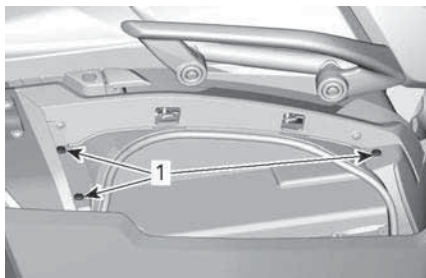
代表的な例

1. サドルバッグロック位置
2. サドルバッグハンドル

サドルバッグの取り外し

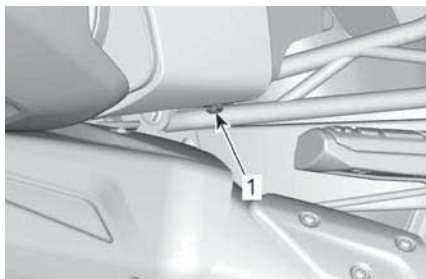
サドルバッグカバーを開きます。

サドルバッグ内の3つの留めねじを取り外します。



1. 留めネジ

サドルバッグ前部下にあるプラスチックリベットを取り外します。



1. プラスチックリベット

サドルバッグ後部にあるプラスチック製リベットを取り外します。



1. プラスチックリベット

サドルバッグを外側に十分スライドさせ、テールライト/方向指示灯/ブレーキライトコネクタを外して、サドルバッグを取り外します。

サドルバッグの取り付け

サドルバッグの取り付けは、取り外しと逆の順序で行います。

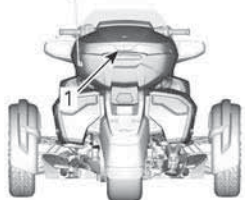
警告

サドルバッグが正しく取り付けられ、かつ閉じられることを確認してください。サドルバッグを取り付けた後に、車両後部のすべてのライトが正常に機能することを確認してください。

上部ストレージコンパートメント

上部ストレージコンパートメントカバーを開く

上部ストレージ・コンパートメントのラッチは車両の後部にあります。



1. 上部ストレージ・コンパートメントのラッチ (掛け金)

ラッチを押してカバーを開けます。ロックされている場合は、イグニツ

ションキーを使用してロックを解除します。

注記：

カバーが開かない場合は、ラッチを押しながら軽く前後左右に動かしてください。ラッチを調整する場合は、認定Can-Amディーラーにご相談ください。

上部ストレージコンパートメントカバーを閉じる

注意

上部ストレージコンパートメントを閉めるには、カバー機構部のロックが解除されていなければなりません。カバーを閉じることができない場合、無理に閉じないでください。何かガカバーの邪魔になっていないか、およびラッチが動作するか確認してください。

カバーを閉鎖位置に持って行きます。

手をカバー中央のラッチのすぐ上に置き、押してロックします。

上部ストレージコンパートメントの取り外し

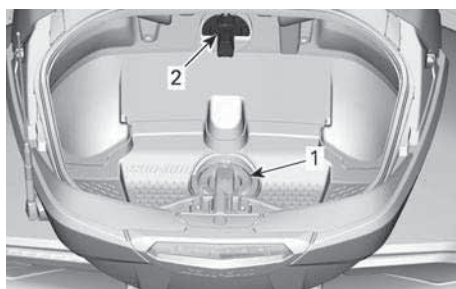
警告

走行するときは、上部ストレージコンパートメントを必ず取り付け正しくロックしてください。上部ストレージコンパートメントがない場合は、車両を使用しないでください。

1. 上部ストレージコンパートメントカバーを開きます。
2. コンパートメントの下部で、中央のLinQノブを反時計方向に1/4回転回してロックを解除します。



ノブが回しにくい場合は、付属のモールドハンドルをノブに取り付けて十分なグリップが得られるようにしてください。このモールドハンドルは、コンパートメントの壁にあります。

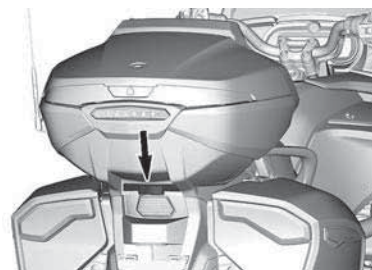


1. LinQノブ
2. サポートに固定されているモールドハンドル



モールドハンドルをLINQノブ上に取り付ける

3. 後部のハンドルを使用して、車両から上部ストレージコンパートメントのラッチを解除します。



4. ストレージコンパートメントを若干持ち上げてからその下に手を入れ、同乗者シート付近にあるコネクターを切り離します。
5. ストレージコンパートメントを後方に引き、車両から取り外します。

上部ストレージコンパートメントの取り付け

⚠ 警告

走行するときは、上部ストレージコンパートメントを必ず取り付け、正しくロックしてください。上部ストレージコンパートメントがない場合は、車両を使用しないでください。

1. ストレージコンパートメントの両方のアームの位置を、同乗者シートの両側にあるサポートに合わせます。
2. ストレージコンパートメントを持ち上げた位置で保持し、同乗者シート付近のコネクターを接続します。
3. ストレージコンパートメントを下ろし、押し下げてロックします。
4. 上部ストレージコンパートメントカバーを開きます。
5. 中央のLinQノブを時計方向に1/4回転回して、ストレージコンパートメントを固定します。



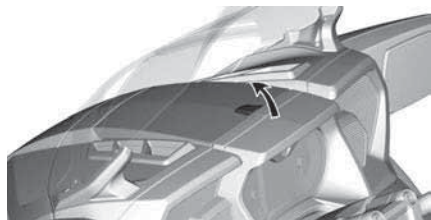
6. ストレージコンパートメントをしっかりとつかみ、車両に正しく取り付けられ、ロックされているか確認します。
7. 上部ストレージコンパートメントカバーを閉じます。

グローブボックス

一部のモデルには、小物を運ぶためのグローブボックスがデジタルディスプレイ上に装備されています。

オーディオ入力ジャックと USB コネクターもここにあります。

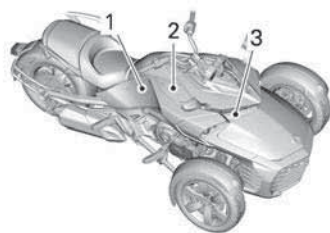
グローブボックスの後部カバータブを引くと、開きます。



代表的な例

ボディパネル

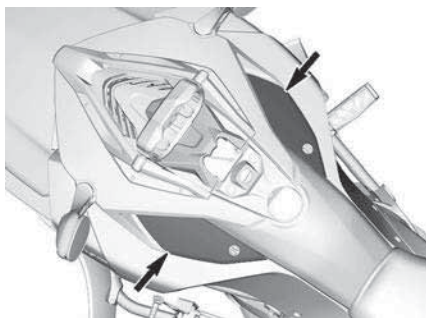
メンテナンスのために車両のボディパネルを取り外すことができます。



代表例 - 右サイドパネル

1. サイドパネル
2. 横サービスカバー
3. フロントサービスカバー

横サービスカバー



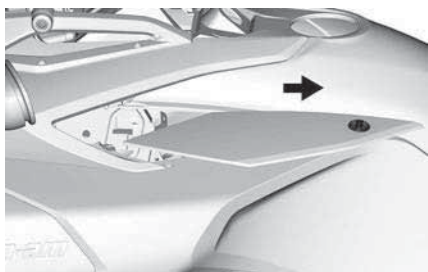
横サービスカバーの取り外し

1. ロックを左回り（右側サービスカバー）または右回り（左側サービスカバー）に回します。



代表例 - 左側サービスカバー

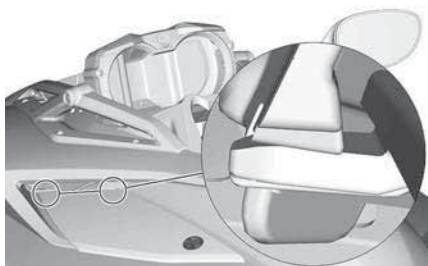
2. サービスカバーを引き抜きます



代表的な例

横サービスカバーの取り付け

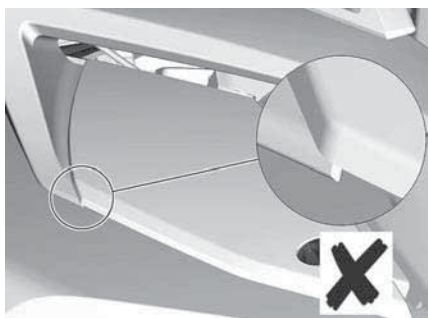
1. タブの位置が合うようにして、横サービスカバーを取り付けます。



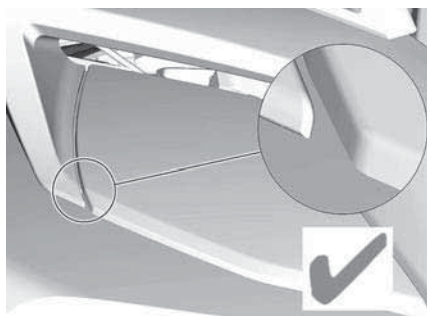
代表的な例

注意

横サイドカバーがサイドパネルと重なっていないことを確認します。



代表例 - 重なって取り付けられた状態



代表例 - 正しい取り付け状態

フロントサービスカバー



代表的な例

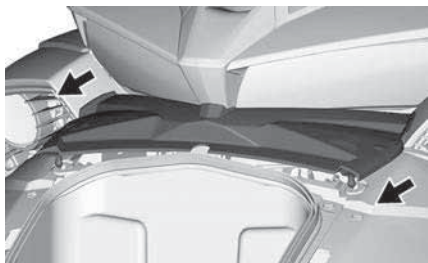
1. フロントサービスカバー

フロントサービスカバーの取り外し

1. サービスカバーの前部を持ち上げ、グロメットを取り除きます。

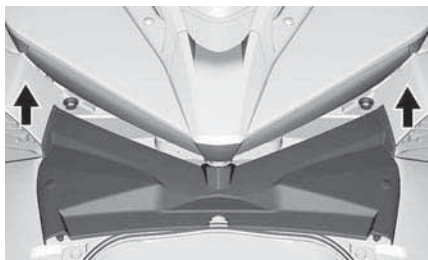


2. サービスカバーを前方に引いて車両から取り外します。

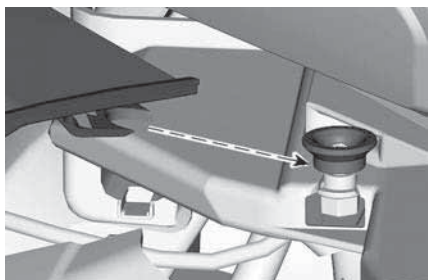


フロントサービスカバーの取り付け

1. フロントサービスカバーをスライドさせて元に戻します。



カバーのタブの位置が車両のアンカーに揃っていることを確認してください。

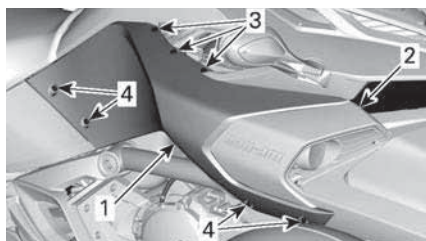


サイドパネル



サイドパネルの取り外し

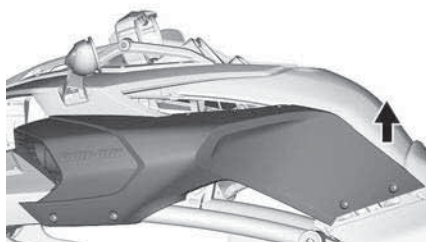
1. サイドパネルを車両に固定しているスクリーンとプラスチックリベットを取り外します。



代表的な例

1. サイドパネル
2. クリップ
3. プラスチックリベット
4. 留めネジ

2. サイドパネルを持ち上げて、取りはずします。



代表的な例

サイドパネルの取り付け

1. 内側サイドパネルを元の位置にスライドさせます。

注記：
サイドパネル留めねじタブとエアスクープ留めねじタブが整列するようにします。



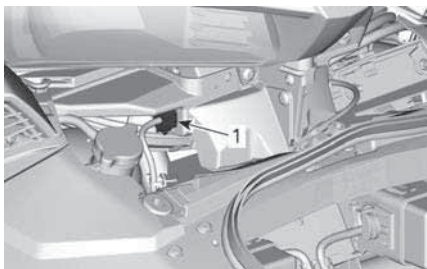
代表例 - パネルを正しく合わせた状態
2. プラスチックリベットと取り付けスクリューを取り付けます。

注意

トルクをかけすぎないでください。スクリュー周りのパネルのいかなる変形は締め付けすぎでしまったことを示しています。パネルを損傷しかねません。

診断コネクタ

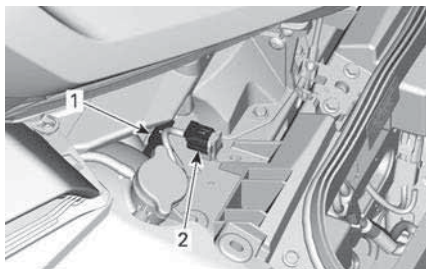
すべての車両に、BRP Diagnostic Software (BUDS2) を接続するための診断コネクタが付属しています。通常、このコネクタは車両の整備を行う認定 Can-Am On-Road ディーラーが使用します。



1. 診断コネクタ (BUDS2用)

一部の車両には、車両の故障コードを読み取るためのOBD2 6ピンコネクタも装備されています。このコネクタは、自身が選択した修理店、

整備担当者、または所有者自身でも使用可能です。



1. 診断コネクタ (BUDS2用)
2. OBD2 6ピンコネクタ

注記：

16ピン自動車用OBD2リーダーが使用されている場合は、アダプターが必要です。このアダプターは各地域で購入する必要があります。

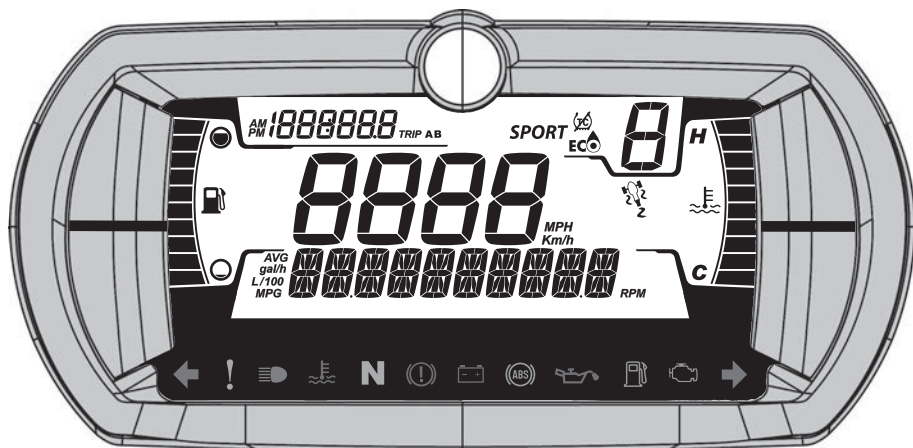
診断コネクタの場所

1. フロントストレージコンパートメントカバーを開けます。
2. フロントサービスカバーを取り外します。装備のセクションのサービスカバーを参照してください。

コネクタは、クーラントリザーパーキャップの近くにあります。

4.5インチ デジタルディスプレイ

多機能表示



警告

多機能ゲージを見ていて気が取られると、車両の運転時に気が散り、周囲を見回すことができなくなる可能性があります。常に道路状況に注意を払い、進路が開けており、障害物がないことを確認してください。さらに、運転時、道路状況の確認を維持するために、多機能ゲージに目をやることは一瞬のみにしてください。

多機能ゲージには、デジタルゲージ（温度およびタコメーター）、表示灯、アイコンおよび重要な情報（速度、回転数など）を表示するためのデジタル画面があります。

ローディスプレイ

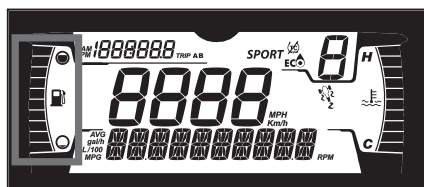


下記の項目を表示させることができます。

- RPM
- AVG - 平均燃料消費量

- 走行可能距離
- 設定
- メッセージ

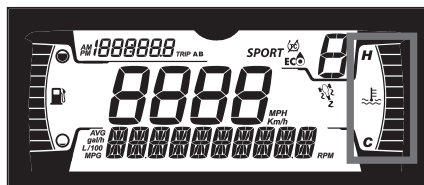
左側の表示



左側の表示には以下のものが含まれます：

- 燃料レベルインジケーター

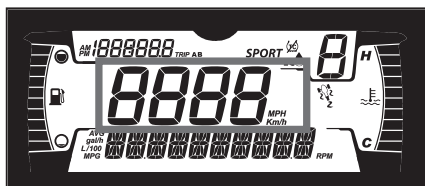
右側の表示



右側の表示には以下のものが含まれます：

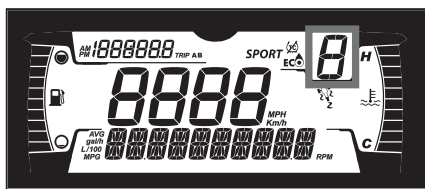
- エンジン温度

中央の表示



車両速度をkm/hまたはmph単位で表示します。

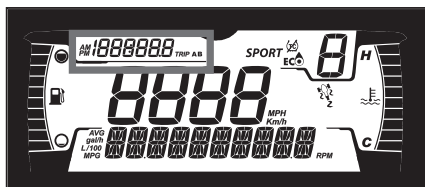
選択されたギヤの表示



この表示は、ギヤボックスのギヤ位置を示します。

- ニュートラル
- 1速~6速
- R (後進)

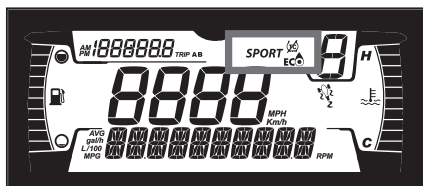
トリップ表示



この表示はトリップ情報を示します。

- 積算距離計オドメーター
- トリップA
- トリップB
- 時計

モード表示



モード表示では、下記の中から選択された走行モードが表示されます。

- ECO
- スポーツ

モードが選択されると、下側の表示にメッセージが現れます。同時に、選択したモードを確認するために、1つまたは複数のアイコンが点灯します。

ノーマルモードのときは、情報が表示されません。

走行モード	アイコン
ノーマル	アイコンなし
ECO	
スポーツ	SPORT + +

警告ランプおよびインジケータ

下記のインジケータランプは、深刻な状況になる恐れのある車両の状態を警告します。車両始動時は、機能していることを確認するためのランプがいくつか点灯します。車両始動後もランプが点灯し続けている場合は、詳細については、各システムの警告ランプのセクションを参照してください。

注記：

一部の警告インジケータが多機能ゲージのディスプレイに表示されて、インジケータランプと同じように機能しますが、車両始動時には表示されません。

表示灯 - 下側のバー




ライト	説明
	緑色 - 左右折時の方向指示灯が点灯。 ハザード警告点滅灯 - 前後のすべての方向指示灯が点滅。
	オレンジ色 - 車両機能異常
	青色 - ハイビームが選択された状態。
	赤色 - エンジン温度が高過ぎる。
	緑色 - ニュートラルギヤが選択されています
	赤 - パーキングブレーキがかかっている、またはブレーキシステムの不具合。
	赤色 - 走行中に点灯する場合は、不具合を示しています。 不要な電気装置の電源を切り、電気系統と充電システムを点検してください。
	オレンジ色 - ABSシステムの不具合。
	RED - エンジン動作中または走行中に点灯する場合は、不具合を示しています。 安全のためできるだけ早く車両を停止して、エンジンを止めてください。エンジンオイルレベルを点検します。 レベルが正常でも、できるだけ早く潤滑システムを点検してください。

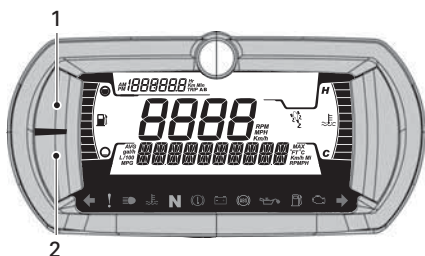
ライト	説明
	オレンジ色 - 燃料レベルが低いまたは燃料タンクが空になりかけているときに点灯します。 できるだけ早く給油してください。
	オレンジ色 点灯：車両排出ガス制御システムの不具合。 点滅：エンジンの機能が制限され、応急帰還モードになります。直ちに車両の整備を行ってください。

アイコンおよびインジケーター - 多機能ディスプレイ

アイコン	説明
	燃料インジケーター
	温度インジケーター
	同乗者アイコン - 左側の同乗者用フットペグが開いていると、このアイコンが点灯します。
	VSSアイコン 点灯：VSSが作動している、または不具合がある 点滅：VSSが介入している
	トラクションコントロールが部分的に停止していることを示します。 システムによりエンジンの出力はすべて発揮されますが、走行安定性が低下します。 そのため、十分注意しながら走行する必要があります。

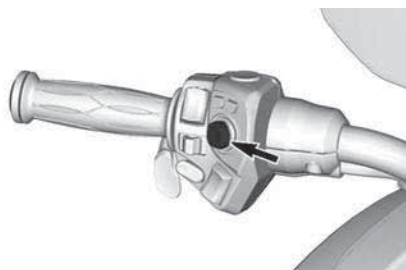
アイコン	説明
	ECOモードが選択されていることを示します。
SPORT	スポーツモードが選択されていることを示します。

設定



1. 上側ボタン
2. 下側ボタン

注記：
メニューボタンの代わりにE.C.C.のジョイスティックを使用できます。



ディスプレイの輝度

ディスプレイの輝度は、工場の初期設定として最高レベルに設定されています。輝度は、認定 Can-Am On-Road デイラーで変更できます。

言語の設定

ディスプレイの言語は、工場の初期設定として英語に設定されていま

す。利用できる言語については認定 Can-Am On-Road デイラーに問い合わせ、好みの設定に変更してください。

メニューボタン

上側ボタン

上側ボタンを押すと下記の情報を表示できます。

- オドメーター - 累計走行距離
- トリップA
- トリップB
- 時計

下側ボタン

下側ボタンを押すと下記の情報を表示できます。

- RPM
- 燃料統計値 (平均)
- 設定
 - 故障コード
 - 単位
 - 統計のリセット
 - 時計の設定
 - 終了

下側ボタンは、走行モードを選択するために使用できます。

値の選択、リセットまたは変更方法

上部メニュー

表示する情報が選択されるまで上側ボタンを押します。

トリップAまたはBをリセットするには

トリップAまたはBを選択します。

値がリセットされるまで上側ボタンを押し続けます。

下部メニュー

特定の情報を選択するには

希望する情報名が表示されるまで、下側ボタンを押します。

情報を選択して表示するには2~3秒待ちます (設定を除く)。

設定メニューにするには、下側ボタンを2~3秒押したままにします。

注記：

10秒以内に何も選択されない場合、クラスターは設定メニューを終了します。

値 (AVG) をリセットするには

リセットする値を選択します。

値がリセットされるまで下側ボタンを押し続けます。

値 (クロック) を変更するには

下側ボタンを押して変更する情報を選択します。

選択されたら、下側ボタンを押したままにして変更モードに入ります。

新しい値が表示されるまで下側ボタンを押します。

変更を受け入れる場合は2~3秒待ちます。

走行モードの選択または変更方法

下側の表示のメッセージが変わるまで下側ボタンを押したままにします。

下側ボタンを押して、利用できるすべての走行モードをスクロールします。

新しい情報を選択して表示するには2~3秒待ちます。

ノーマルモードに戻すにはECO OFFを選択します。

大型パノラマ7.8インチワイドLCDディスプレイ

LCDディスプレイ

デフォルトの表示



多機能表示



左側の表示



左側の表示には以下のものが含まれます：

- 燃料レベルインジケーター
- スピードメーター
- トリップメーター
- クルーズコントロール
- ギヤインジケーター
- 時計
- エンジン温度
- 走行モード
- 警告のポップアップ
- 走行可能距離

トリップメーターに表示される値を選択するには、

1. 統計情報/トリップ画面にアクセスします。
2. 表示したい統計情報 (合計、A、B) を選択します。

3. ジョイスティックを上にする
と、選択された統計情報の距離の値が設定されたままで、左の表示部に示される値が変わります。

右側の表示



右側の表示には以下のものが含まれます：

- タコメーター
- 音量
- オーディオ出力インジケーター
- ラジオ局プリセット
- メニュー
 - BRP Connect
 - 電話
 - 統計情報
 - オーディオ
 - 設定

デジタル表示のナビゲーション

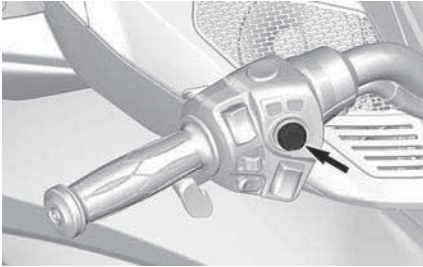
⚠ 警告

多機能ゲージを見ていて気が取られると、車両の運転時に気が散り、周囲を見回すことができなくなる可能性があります。常に道路状況に注意を払い、進路が開けており、障害物がないことを確認してください。さらに、運転時、道路状況の確認を維持するために、多機能ゲージに目をやることは一瞬のみにしてください。

多機能ゲージにはアナログ式ゲージ (スピードメーターおよびタコメーター)、インジケーターランプおよびデジタルスクリーン付きのインフォテインメントセンターが搭載されています。

ドライブする前にインフォテインメントセンターの様々な機能を扱って練習することが推奨されます。徐々に慣れてきて、走行中でも簡単に使用ができるようになります。

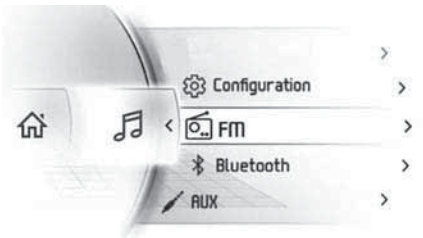
表示機能をコントロールするにはECC (エレクトロニックコマンドセンター) を使用します。二次コントロールのエレクトロニックコマンドセンター (ECC) を参照してください。



ジョイスティック (センターボタン) を押すと、右側スクリーンにメニュー選択が以下の順序で現れます:

- BRP Connect
- 電話
- 統計情報
- オーディオ
- 設定

アイコンが選択されると、その関連スクリーンが現れます。





項目が選択されると、現在値をその項目に設定します。



インジケータランプ

警告および表示ライト



ライト	説明
↔	緑色 - 右左折時の方向指示灯が点灯。
	ハザード警告点滅灯 - 前後のすべての方向指示灯が点滅。
!	オレンジ色 - 車両機能異常
☰	青色 - ハイビームが選択された状態。
🌡️	赤色 - エンジン温度が高過ぎる。
N	緑色 - ニュートラルギヤが選択されています
⊕	赤 - パーキングブレーキがかかっている、またはブレーキシステムの不具合。
🔋	赤色 - 走行中に点灯する場合は、不具合を示しています。 不要な電気装置の電源を切り、電気系統と充電システムを点検してください。
⊕	オレンジ色 - ABSシステムの不具合。
🛢️	RED - エンジン動作中または走行中に点灯する場合は、不具合を示しています。 安全のためできるだけ早く車両を停止して、エンジンを止めてください。 エンジンオイルレベルを点検します。

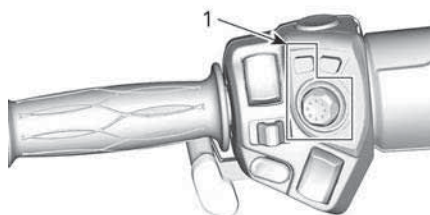
ライト	説明
	レベルが正常でも、できるだけ早く潤滑システムを点検してください。
	オレンジ色 - 燃料レベルが低いまたは燃料タンクが空になりかけているときに点灯します。できるだけ早く給油してください。
	オレンジ色 点灯：車両排出ガス制御システムの不具合。 点滅：エンジンの機能が制限され、応急帰還モードになります。直ちに車両の整備を行ってください。

アイコン	説明
	スピーカーオーディオ出力
	ヘルメットオーディオ出力

設定

メニュースイッチ

ECCを使用して多機能ゲージのさまざまな機能をコントロールします。

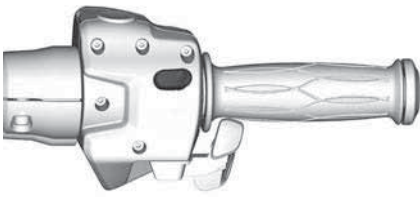


1. ECC

BRP Connect ボタンはBRP Connect へのクイックアクセスのために使用します。クリックする毎に、多機能ゲージのアプリ表示と機能表示の間で切り替わります。

アイコンおよびインジケータ

アイコン	説明
	スマートフォンネットワーク接続
	Bluetoothデバイス
	スマートフォンバッテリーレベルインジケータ
	ヘルメットペアリングインジケータ
	燃料インジケータ
	温度インジケータ
	クルーズコントロールインジケータ



メニュー

BRP Connect



BRP Connectを使用するには、アプリをスマートフォンにダウンロードする必要があります。アプリはApple App StoreまたはGoogle Play Storeで検索してダウンロードできます。一部、対応していないスマートフォンもあります。

詳細は当社のウェブサイトでご確認ください。

www.brpconnecttutorial.com

注記：

スマートフォンはBluetoothおよびUSBケーブルを介してグローブボックス内のUSBポートに接続される必要があります。

電話のペアリングを解除すると、クラスターからユーザーの個人情報が削除されます。

ユーザーは、スマートフォンを接続したとき、個人情報（連絡先リストと通話履歴）がクラスターに転送されることに同意する必要があります。

連絡先リストや通話履歴は、クラスターに保存されたままになります。

これらの情報を削除するには、スマートフォンのペアリングを解除するか、別の電話を使用して上書きする必要があります。

電話



電話メニューから以下の機能にアクセスできます：

- 通話履歴
- 電話接続リスト

注記：

電話メニューにアクセスするには、電話とライダー用ヘルメットのペアリングを行う必要があります。Bluetoothによるスマートフォンのペアリングを参照してください。

統計情報



統計メニューは以下を取得するために使用されます：

- 走行距離情報
- 走行経過時間情報
- 瞬間燃料消費
- 平均燃料消費
- 最大速度
- 平均速度

メモリには3セットの統計情報が維持されています。各統計情報のセットは別々にリセットすることができます。

ジョイスティックを左または右に動かすと、3セットの統計情報が切り替わります。

統計情報が表示されているときにジョイスティックを下に維持するとリセットされます。

オーディオ



オーディオメニューでできること：

- 以下の環境設定の調整：
 - 自動プリセット
 - 自動音量コントロール
 - イコライザー
 - フェード/バランス
 - オーディオ出力
- FM音源オーディオへのアクセス
- Bluetoothオーディオプレイヤーへのアクセス
- Auxオーディオプレイヤーへのアクセス

オーディオコントロール

ジョイスティックは、ホーム画面またはオーディオソース画面（FM、AUX、Bluetooth）になっているときに、オーディオコマンドを制御します。

ラジオをオンにするには、ジョイスティックを押し上げます。ラジオをオフにするには、音量が最も小さい設定（ミュート）にしてジョイスティックを押し下げます。

ジョイスティックを使用してオーディオの音量を操作します。音量を上げるにはジョイスティックを押し上げます。

オーディオをミュートにするには、ジョイスティックを1秒以上押し下げ

たままにします。ミュートのままで押し上げると、オーディオの音量が直近の設定に戻ります。

アナウンス（BRP Connectナビゲーションアプリからの音声コマンドなど）には、別の音量レベルが使用されます。音声アナウンスの間は、ボリュームバーが音声の音量を表示します。ボリュームバーは黄色になり、オーディオソース画面には**ANNOUNCEMENT**と表示されます。音声アナウンスの間は、音声の音量の調整が可能です。

FMオーディオソースが選択されているときにジョイスティックを左右に動かした場合の機能は次のとおりです。

- 軽く左に動かす：前のプリセット
- 長く左に動かす：下方向を探す
- 軽く右に動かす：次のプリセット
- 長く右に動かす：上方向を探す

Bluetoothオーディオソースが選択されているときに左右に動かした場合の機能は次のとおりです。

- 左：前の曲
- 右：次の曲

オーディオソースがAUXおよびBRP Connect（iPhoneのみ）のときは、ジョイスティックを左右に動かしても機能しません。

オーディオ構成

オーディオ構成メニューは次のとおりです。

- 自動FMプリセット
- 自動音量コントロール
- イコライザー
- フェード/バランス
- オーディオ出力

オーディオ出力選択は、希望のオーディオ出力を選択するために使用します：スピーカーまたはヘルメット。

注記：

ヘルメットが選択されているときは、別の音量が用いられます。これにより、楽曲がヘルメットに送信されても、前に選択された音量が維持されます。

FMチューニングおよびプリセット画面にアクセスするには、ジョイスティックを1秒以上押し続けます。

FMチューニングおよびプリセット

FMチューニングおよびプリセット画面では、FM局を選択して希望のプリセット番号に保存することができます。

- FM局を選択して保存します。
- ジョイスティックを押して希望のプリセット番号を選択します。
- ジョイスティックを1秒以上押し下げて、選択したプリセット番号にFM局を保存します。

ジョイスティックを押して、FMチューニングおよびプリセット画面を終了します。

設定

設定メニューでできること：

- 時計の調整
- Bluetoothデバイスのペアリング
 - 電話
 - ドライバーヘッドセット
 - パッセンジャーヘッドセット
- ディスプレイ輝度の調整
- 単位の調整（英度量衡 / メートル法）
- 言語設定
- バージョン確認
- 車両の故障コードの表示

Bluetoothによるスマートフォンのペアリング**車両側での手順**

1. ジョイスティックを軽く押してメニューにアクセスします。
2. 下にスクロールして「Settings」を選択し、右に押します。
3. 「Bluetooth」を選択して右に押します。
4. 「Phone」を選択して右に押します。
5. 「Add Phone」を選択して右に押します。

これでBluetoothが表示されるようになります。

スマートフォンでの手順

1. ジョイスティックを軽く押してメニューにアクセスします。
2. 下にスクロールして「Settings」を選択し、右に押します。
3. 「Bluetooth」を選択して右に押します。
4. 「Phone」を選択して右に押します。
5. 「Add Phone」を選択して右に押します。

1. スマートフォンのBluetooth機能を有効にします。

詳しい手順については、スマートフォンのユーザーガイドをご参照ください。

2. 「BRP Connect」を選択します。
3. スマートフォンと車両のゲージの画面に確認番号が表示されます。これらの番号が一致していることを確認してください。
4. スマートフォン上で「Pair」を押し、車両のゲージ上で緑のチェックマークを選択します。
5. スマートフォンで連絡先とお気に入りの同期を許可します。

これでBluetoothが表示されるようになります。

スマートフォンでの手順

1. スマートフォンのBluetooth機能を有効にします。

詳しい手順については、スマートフォンのユーザーガイドをご参照ください。

2. 「BRP Connect」を選択します。
3. スマートフォンと車両のゲージの画面に確認番号が表示されます。これらの番号が一致していることを確認してください。
4. スマートフォン上で「Pair」を押し、車両のゲージ上で緑のチェックマークを選択します。
5. スマートフォンで連絡先とお気に入りの同期を許可します。

ヘルメットのペアリング

ヘルメットとのペアリングを行うには、「Settings」ページに進み「Add helmet」を選択します。

BRP Connectアプリ

スマートフォンでのBRP Connectの設定手順に従います。

1) BRP Connectスマートフォンアプリをダウンロードする

BRP Connect アプリを Apple App Store または Google Play Store からダウンロードします。

2) BRP Connectに対応するアプリをダウンロードする

当社のウェブサイトアクセスして、対応するアプリを確認してください。これらのアプリを使用することで、より素晴らしいライディング体験が実現します。アプリによっては、システムと連動するために別の製品を購入したり、補助装置を使用したりしなければならない場合があります。

www.brpconnecttutorial.com

3) お使いの充電/データ転送ケーブルを使用してスマートフォンを接続する

スマートフォンと車両間の転送を最適化するために、スマートフォンメーカーの純正充電ケーブルの使用を推奨します。ケーブルは前面のUSBポートに接続します。

1. スマートフォン画面のロックを解除します。
2. スマートフォンの充電ケーブルを接続します。
3. 接続されると、スマートフォンの画面にチェックマークが表示されます。

4) アプリにアクセスする

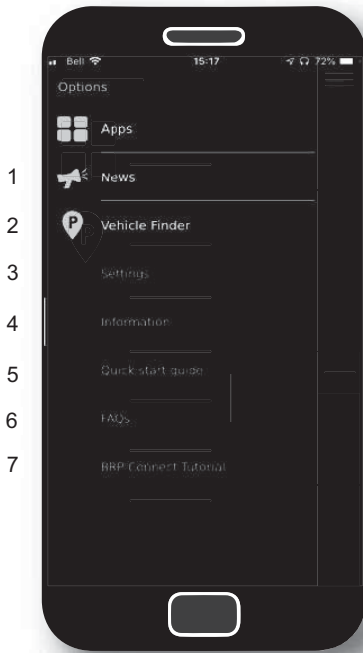
ジョイスティックを軽く押してメニューにアクセスします。

ジョイスティックを上を押して「Launch BRP Connect」を選択し、ジョイスティックを右に押します。

使用するアプリを選択し、ジョイスティックを押します。

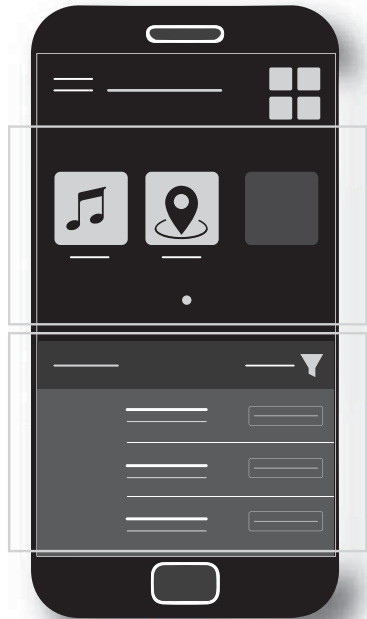
- アプリを終了するにはジョイスティックを長押しします。
- メインメニューに戻るには、BRP Connect ボタンを押します。

BRP Connectアプリのクイックツアー



1. ヒント：時折BRP Connectアプリからの通信が行われることがあります。このメニューで確認することができます。
2. 車体検出ツール：所有車両の位置情報（または記憶しておきたいその他の位置情報）の保存を可能にするものです。これは比較的充実した機能であり、車両を降りた場所の写真の撮影、メモ（多くある駐車場など）、保存した位置までのナビゲーションなどの機能があります。1回に保存できる場所は1つのみです。
3. 設定：BRP Connectの個人設定を行います。BRP Connectアプリをどこの国で使用するかや、自分が活用したい情報などを設定できます。注意：BRP Connectのアプリの変更に関する基本設定は、このメニューから変更します。

4. 情報：BRP Connectアプリに関する一般情報です。ステータスや現在のバージョン、すべての法的情報を見ることができます。
5. クイックスタートガイド：このアプリの使い方を知りたいときは、ここで確認できます。
6. FAQ：このリンクは、ライダーからのよくある質問に対する答えにアクセスします。インターネット接続が必要です。
7. BRP Connect チュートリアル：もっと知りたいことがあるときは、このリンクから詳細説明ビデオにアクセスします。インターネット接続が必要です。



1. 現在インストールされているアプリ
2. 使用可能なアプリ

動作モード

ECOモード

燃費重視モード (ECO) が選択されている場合、車両のトルクと速度が制限され、燃料消費を抑えるために適切な巡行速度が維持されます。

一旦ECOモードにすると、オペレーターによって解除されるまではこのモードが維持されます。

標準モード

標準モードでは、完全停止状態からの加速時と、低速走行時において、加速性能が制限しております。

スポーツモード

スポーツモードでは、エンジンの動作範囲を通じて最大のエンジン出力を使用できます。

モード表示

モードが選択されると、下側の表示にメッセージが現れます。

同時に、選択したモードを確認するために、1つまたは複数のアイコンが点灯します。

走行モード	アイコン
STD	アイコンなし
ECO	
スポーツ	<i>SPORT</i>

基本手順

エンジンの始動および停止

エンジンを始動させます

⚠ 警告

排気ガスには、密閉された場所または換気の悪いエリアで迅速に充填する有毒な一酸化炭素が含まれています。排気ガスを吸い込むと、重大な怪我や死亡事故の原因になることがあります。換気の良い場所でのみエンジンを始動してください。一般的な注意のセクションを参照してください。

1. ブレーキペダルを踏み込み続けます。

車両は、ブレーキペダルを踏んだままのギヤからでも始動可能です。トランスミッションはエンジンが始動された時に自動的にニュートラルにシフトします。

2. キーをONに回します。

注意

電気システムが初期化されている際はスロットルをあげないこと。

3. ドライバー自身、同乗者および車両の準備を整えるために安全カードをよく読み、MODEボタンを押してエンジンの始動準備をします。
4. エンジン・ストップ・スイッチをRUN/ONの位置にセットします。
5. エンジンが始動するまでエンジン・スタート・ボタンを押し続けます。スタート・ボタンは15秒以上押し続けしないでください。始動しない場合、スターターをクールダウンさせるために30秒待つてから再度お試しください。

注意

エンジンの始動中にスロットルをあげないこと。

6. 問題がないか表示を確認し、オイルライトが消えているか確認します。
7. パーキングブレーキをかけます。多機能ゲージのブレーキ・インジケーター・ランプが消えていることを確認します。

エンジンの停止方法

1. ニュートラルにシフトします。
2. エンジン・ストップ・スイッチをOFFにします。
3. パーキングブレーキをかけます。ブレーキインジケーターランプが点滅します。
4. キーをOFFになるまで回します。

注記：

キーがOFFの状態ではパーキングブレーキがかかっていない場合、パーキングブレーキ・インジケーター・ランプが点滅し、ブザーがなりま

5. 鍵を抜く前に、パーキングブレーキが完全に作動していることを確認します。車両を前後に揺すります。

⚠ 警告

必ずパーキングブレーキをかけます。車両はどのギヤに入っているかに関係なく、パーキングブレーキがかかっていないと勝手に動くことがあります。停車状態ではクラッチは必ず解除されているので、トランスミッションだけでは車両の位置をそのまま固定することはできません。

車両を手動で押す方法

車両を押す前に、イグニッションキーがONの位置に入っているか確認します。

⚠ 注意

斜面で車両を手動で動かすのは避けましょう。斜面で車両を手動で動かさなければならぬ場合、車両が転がり始めてしまったシナリオを想定してブレーキペダルの身近(車両の右側)で歩いてください。

エンジンを始動せずに車両を近距離動かす場合：

1. 車両に乗ったまま、ブレーキペダルを踏み続けます。
2. パーキングブレーキを外します。
3. 車両の右側に体を置き、片足をブレーキペダルに残しておきます。
4. 必要に応じてブレーキを使いながら車両を前に押します。

⚠ 注意

ブレーキペダルがいつでも踏めるように、右側からしか押さないこと。熱いエキゾーストパイプには近づかないこと。車両を後方に引っ張る場合、前輪で足を踏いてしまわないように気を付けてください。

5. 車両の体勢を整え、上記のように停車させます。

リバースでの運転

後進時の安全運転については、安全上の取扱説明書のセクションを参照してください。

ギヤを後進にする

1. エンジンが作動している状態で停車し、ブレーキを踏んだまま、1速ギヤまたはニュートラルにシフトします。
2. リバースボタンを押し続けます。
3. リバースにシフトダウンするためにギヤシフト・セレクターを手前に引きます。

リバースでの運転

あなたの後ろのエリアに何も無いことを確認し、後ろを向いたままリバースします。低速で運転し、長距離を走るのにリバースを使わないこと。

リバースからシフトアウトする方法

リバースからシフトアウトするために、停車し、シフトアップ・セレクターを素早く押すとニュートラルにシフト、そしてより長く押すと第一ギアにシフトします。

注記：

リバースから第一ギアに入れるには、ブレーキを踏んでシフトアップします。

慣らし運転中の運転

この車両には1,000 km (600 mi) の慣らし期間が必要です。

最初の300 km (200 mi) の間は、急ブレーキをかけないでください。

⚠ 警告

新しいブレーキおよびタイヤは、慣らし運転が完了しないと最大効率で作動しません。ブレーキ、ステアリングおよびVSSの効率が低減される場合があるため、注意を余分に払ってください。ブレーキおよびタイヤを慣らすには、頻繁にブレーキおよびステアリングを使用して約300 km (200 mi) の走行が必要です。ブレーキおよびステアリングをそれほど使わない場合、ブレーキおよびタイヤの慣らし時間を多めに見積もってください。

最初の1,000 km (600 mi) 走行後：

- スロットル全開での加速は避けてください。
- 一定回転数での長時間走行は避けてください。
- のろのろ運転の際に冷却ファンが常に作動している場合、路肩に寄

せてエンジンをシャットオフしてエンジンをクールダウンさせるか、速度を上げて風でエンジンをクールオフさせてください。

慣らし期間が過ぎた後は、メンテナンススケジュールのサブセクションのとおり点検を行ってください。

燃料

燃料に関する要件

注意

新しいガソリンを必ず使用します。ガソリンは放っておくと酸化します。酸化すると、オクタン、揮発性化合物の損失、およびガムおよびワニスの蓄積が起こり、燃料システムを損傷しかねません。

アルコールとの燃料の混合は国および地域によって異なります。ご使用されている車両は推奨される燃料を使用するために設計されていますが、次のことに注意してください。

- 政府の規制によって定められているアルコール割合を超えるアルコールを含む燃料を使用することは推奨されておらず、もし使用した場合、次のような燃料システムコンポーネントの問題が発生しかねません。
 - 始動および操作時の困難。
 - ゴムまたはプラスチック部品の老化。
 - 金属部品の腐食。
 - 内部エンジン部品への損傷。
- ガソリンのアルコール度が現在の規制を超えていると疑った場合、燃料漏れまたはその他の燃料システムの異常がないか常に点検してください。
- アルコールが混合された燃料は水分を多く含む車があり、燃料の相分離につながる恐れがあり、エンジンの性能上の問題またはエンジンの損傷を引き起こす可能性があります。

推奨燃料

オクタン価が91のAKI (RON+MON)/2、またはオクタン価が95のRONを含んだプレミアム無鉛ガソリンを使用してください。

注意

他の燃料を試したりしないこと。不適当な燃料を使用すると、エンジンまたは燃料システムの損傷を招きかねません。

注意

E85のラベルの燃料ポンプからの燃料は絶対に使用しないでください。

E15のラベルの燃料の使用は、U.S. EPA (米国環境保護庁) の規制により禁止されています。

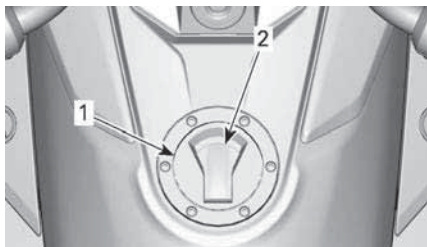
燃料補給の手順

警告

ガソリンは可燃性が高く、非常に爆発性があります。火または爆発のリスクを下げるために燃料補給の手順に従ってください。一般的な注意のセクションを参照してください。

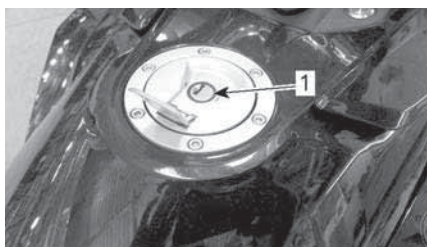
車両に燃料補給するには：

1. 燃料の補給は、炎、火の粉、煙草を吸っている人やその他の点火の原因から離れ、よく換気された屋外に停車して行ってください。
2. エンジンを停止させてください。
3. 燃料キャップキーカバーを持ち上げます。



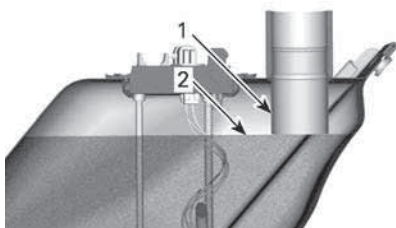
1. 燃料キャップ
2. 燃料キャップキーカバー

4. 燃料キャップにキーを差し込んで右回りに1/4回転回し、ロックを解除してキャップを取り外します。



1. 燃料キャップキーホール

5. 燃料レベルがフィラーチューブに達するまでタンクに給油します。



1. フィラーチューブ
2. 燃料レベル

注記：

燃料タンクにぎりぎりまでガソリンを入れしないでください。温度の変化で燃料が膨張する場合がありますので、燃料タンクに若干の余裕を残してください。

6. こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。燃料が体にかかった場合は、石鹼と水で洗い、衣服を着替えてください。
7. 燃料キャップを閉めるには、ロックにキーを差し込んだまま燃料キャップを押し込みます。キーを左回りに回して元の位置に戻し、燃料キャップをロックします。その後、キーを引き抜いて、燃料キャップロックカバーを閉じます。

注記：

キーがロックに入っていないと、燃料キャップはきちんと閉じません。キーがロックされていないと、燃料キャップからキーを引き抜くことができません。

警告

給油した後および車両を運転する前には、いつも燃料キャップがきちんと閉じていることを確認してください。

サスペンションの調整

フロントサスペンション (F3ベースモデルを除くすべてのモデル)

フロントサスペンションの調節は、Can-Amディーラーにご相談ください。

リアサスペンション

Tモデル

一般的な操作においては、リアサスペンションは加圧されています。車両の荷重が変化 (同乗者が乗ったり、積荷を増やしたりなど) またはよりソフトまたはハードな設定が望みであれば、リア・サスペンションの圧力をお好みに合わせて調整することができます。

注記：

エアサスペンションは時間の経過とともに収縮することがあるため、荷重が変わらない場合でも定期的に点検することを推奨します。

サスペンションの圧力は空気ばねを収縮または膨張させることで調整可能です。制御機能を持つエアコンプレッサー、またはハンドポンプと圧力計を使用します。

サスペンションを和らげる場合は空気圧を下げ、サスペンションを固める場合は空気圧を上げます。

注記：

圧力を調整する際は、自分の体重を車両にかけず、積荷をストレージコンパートメントに乗せないこと。

運転席の下にあるリアサスペンション圧力ラベルを必ず参照して、車両荷重に要する適切な圧力を判断してください。

注記： ラベルに示されている圧力は目安です。最大許容圧力を超えない限り、お好みに合わせて圧力を調整することができます。

注意

最大許容圧力を超えないこと。これはエアサスペンションを損傷しかねません。

空気ばねはシート下にある、シュレーダー・バルブ付きのエアホースに直接つながっています。

空気圧を変更するには、タイヤ圧の変更と同じやり方で行います。

完了後、キャップをバルブに再度取り付けるのを忘れないようにしてください。

リミテッドモデル

リアサスペンションは一般的な走行に対して調整されています。道路状況が変わったり、車両の荷重が変化

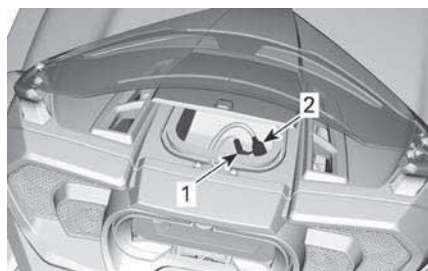
した（同乗者や積荷が増えた）場合は、この設定を保つために、内蔵のコンプレッサーによって自動調整が行われます。

注記：

エンジンが起動中に圧力が解放されたり、空気コンプレッサーが動いている音が聞こえるのは普通です。これはサスペンションが自動調整していることを意味します。

オーディオ入力ジャックとUSBポートの使用

オーディオ入力ジャックはグローブボックス内にあります。

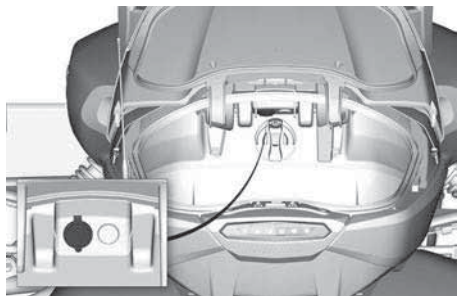


1. オーディオインジャック
2. USB ジャック

このジャックに接続されたオーディオプレーヤーは、オーディオシステムから再生されます。機器に応じて、ECCやキーパッドからオーディオプレーヤーを完全にまたは部分的に操作可能ですが、操作できない場合もあります。

BRP Connectのアプリを操作するには、フロントUSBポートを使用する必要があります。概要については、大型パネルや7.8インチワイドLCDディスプレイのセクションを参照してください。

上部ストレージコンパートメント内にあるUSBポートは、スマートフォンの充電専用です。リアのUSBポートからはデータ転送ができません。



安全上の取扱説明書

他の車両との違いについて

このセクションでは、車両の特殊な特長および動作特性が説明されています。

安定性

この3輪トライクの「Y」構造は、バイクよりも優れた低速安定性をもたらしめます。

しかし、自動車などの車輪が4つある車両よりは安定ではありません。電気車両安定システム (VSS) などの駆動支援技術は操作中の安定性を保つ補助をしますが、極端な運転 (高速度で急ターンなど)、車両への過積載、または凹凸のある路面や物に当たることが原因で車両がコントロールを失い、転倒したり横揺れする可能性があります。さらに、急なターン、加速、ブレーキまたはインパクトにより、運転手または同乗者が転げ落ちてしまう恐れがあります。

道路状態に対する反応

この車両の路上挙動は、道路で見られる他の車両とは異なる場合があります。下記の推奨事項に従ってください。

- オフロード、氷または雪の中で走行しないでください。
- 水たまりと流水を避けてください。車両は車より簡単にハイドロプレーンします。水たまりがある道路で運転しなければならない場合は、減速してください。
- 砂利、泥および砂で覆われた道路では速度を落としてください。
- 温度が5°C (41°F) 以下で運転すると、密着度が低下します。

詳細な説明は、**道路上の注意事項 (87ページ)** 道路上の注意事項を参照してください。

ブレーキペダル

ペダル一つで三つの車輪すべてにブレーキをかけることができます。手動ブレーキがなく、前輪および後輪

に別々にブレーキをかける方法はありません。

この車両では、ブレーキ操作と操舵を同時に行うことができません。バイクよりも優れており、急停車が可能です。後続車両は急停車や急な反応ができない場合があるため、後続車両に注意してください。

アンチロック・ブレーキシステム (ABS)

車両には車両安定システム (VSS) の一環としてアンチロック・ブレーキシステム (ABS) が搭載されています。

このシステムは、ブレーキをロックしないようにすることで、非常ブレーキ時のステアリング制御機能を維持するのに役立ちます。

パーキングブレーキ

パーキングブレーキは機械的に後輪だけにブレーキをかけ、作動するとロックした状態になります。これは駆動支援技術 (アンチロックブレーキシステム (ABS) など)、電子制動力配分コントロール (EBD) によってコントロールされていません。

ステアリング

ダイレクト・ステアリング

曲がるときは、ハンドルバーを曲がる方向に切ります。

バイクの運転経験者は、バイクと同じようにカウンターステアを切らないよう注意してください。バイクとは異なり、この3輪トライクは曲がっているときに傾きません。曲がり方について学び直す必要があります。習熟するまでさまざまな速度で曲がる練習を行ってください。

ターン時の遠心力

バイクとは異なり、この車両は曲がっているときに傾きません。ターン時に遠心力によって体が車両外に

向かって引っ張られていくのが感じ取れます。

バランスを保つには、運転手および同乗者は両手でしっかりつかまり、両足をフットレストにしっかり乗せておく必要があります。

急ターン時は、上体を前に傾けて、重心をカーブの内側に置こうとすると曲がりやすくなります。

全幅

この車両は通常のモーターサークルよりも幅が広いので、下記のことを守ってください。

- 必ず前輪を走行車線内に維持してください。カーブを曲がる時や追い越し時は、前輪の位置に特に注意してください。
- レーンを共用したり複数のレーンを同時に使用したりしないこと。モーターサイクル同士でも、グループでの走行は単縦列で行ってください。
- 障害物を避けるためにより長く脱線する必要のあることを考慮してください。

注記：

前輪が障害物をクリアしても、後輪がその障害物をクリアするとは限りません。

リバース

リバース位置が選択されると、選択されたギヤの表示部にリバースアイコン[®]が表示されます。

この車両は、自動車のように後進することができます。しかし、以下の重要な違いがあります。

- 必要であれば、視認性を改善するために同乗者に一旦降りてもらいます。
- 前部は後部より幅広いことをお忘れなく。障害物にあまり近くバックアップしてしまうと、前輪が当たってしまうことがあります。
- 低速度で運転し、長距離を走るのはリバースを使わないこと。

- もし可能であれば、パーキングスペースからバックアウトする必要がないように停車してください。

⚠ 注意

後進時は必ず両足をフットペグに置いてください。バックアップ中は決して足を地面に置かないこと。

運転免許書および現地の法律

この車両の運転に必要な運転免許書の要件は国や地域によって異なります。国や地域の法律によっては、普通自動車の運転免許証、自動二輪の運転免許証、または3輪車専用の許可証などが必要になることがあります。

車両を公道で運転する前に、適切な免許を持っているか地方自治体にお問い合わせください。

駆動支援技術

車両安定システム (VSS)

この車両には車両安定システム (VSS) が搭載されています。

このシステムは車両の方向をコントロールし、特定の状況において転倒や横転の危険を減らします。

VSSは下記のもので構成されています。

- アンチロックブレーキングシステム (ABS) : 非常ブレーキ時にブレーキをロックしないようにすることで、ステアリング制御機能を維持するのに役立ちます。
- 電子制動力配分コントロール (EBD) システム: 3つの車輪のすべてのブレーキにおけるバランスを自動的に調整します。ABSによって、EBDは方向制御を補助し、その時点での牽引力によってブレーキ力を最大限に活かします。
- トラクションコントロールシステム (TCS) : 後輪のスリップ防止を補助します。TCSは、ハンドルバーを切った場合 (直線から外れて走行する)、またはトラクションコントロールもしくは車両の安定性のためにエンジントルクを下げなければならない場合のみ、後輪のスピンを制限します。
- スタビリティコントロールシステム (SCS) は後輪の動力を制限し、個々の車輪にブレーキをかけるように設計されており、車両のコントロールを失ったり、転倒を防ぎます。

注記 :
ゲージに表示されるVSSライトは、VSSが介入するとONになり、VSS介入から2秒間ONになり続けます。

制限

VSSはすべての状況においてコントロールを維持することはできません。

駆動伝達が悪い道路面

道路面でのタイヤのグリップは最大制動効率を制限します。ABSおよびEBDを利用して、トラクションの低い路面で運転したり、タイヤの推奨圧力を維持していなかったり、トレッドの状態が悪くなっていれば、停止距離は長くなります。

道路面でタイヤが駆動伝達を失ってしまうと、VSSを用いても車両のコントロールを失いかねません。

舗装路面の一部でも氷、雪または泥に覆われている場合、VSSを用いても車両のコントロールを維持できる駆動伝達はありません。雪、氷または泥がある道路では運転しないでください。

注記 :

6°C (43°F) 未満の温度では、車両のタイヤのグリップが低下し始めます。

他のオンロード車両と同様に、この車両は水上ではハイドロプレーンします (水に覆われた道路面で駆動伝達を失ってしまう)。道路上の大きな水たまりや水の流れなど、水たまりに向かって早く走行しすぎると、車両を駆動伝達を失いスピンアウトしてしまい、VSSを用いてもコントロールを維持することはできません。大きな水溜りや水流を避け、大雨の場合は速度を落すか路肩に停車してください。水溜りの上を走行する必要がある場合、水溜りに到達する前にできるだけ速度を避けます。

泥、砂、砂利または水に覆われている舗装では駆動伝達が悪いため、速度を落します。この車両はオフロード用ではありません。車両は必ず適切な道路で使用してください。車両をその他の地面で使用しないでください。

タイヤ

車両のVSSは、特定のサイズ、材料およびトレッドパターンのタイヤに対して最適な性能を発揮するために

較正されています。BRPによって認定されていないタイヤと交換してしまうと、VSSの効果が少なくなってしまうます。

認定 Can-Am On-Road ディーラーのみで販売されているBRPの推奨タイヤだけを使用してください。

特に緩いまたは濡れた表面では、駆動伝達を維持するために適切なタイヤの空気圧およびトレッドの管理が重要です。タイヤ圧が低すぎるとハイドロプレーンや過度のタイヤ熱の蓄積が起こることがあり、タイヤ圧が高すぎるとVSSの効果が減少してしまいます。

急ターン

VSSはステアリング入力を制御または制限しません — 急ターンを制御することはできません。ハンドルを大きく、急速に回すと車両がコントロールを失い、スピン、転倒または転がってしまう可能性があります。

スピードの出しすぎ

VSSは、SCSがターンの時に介入する場合を除いて、車両速度をコントロールしません。VSSには、速すぎる速度でカーブに入ることを防止する機能はありません。特定の状況において早く走行しすぎると、VSSを用いてもコントロールを失うことがあります。

過積載

絶対に規定値を超えて積載しないでください。

車両許容総積載量	
リミテッドモデル	209 kg (460.8 lb)
その他の全モデル	199 kg (438 lb)

ヒルホールドコントロール (HHC)

この車両にはヒルホールドコントロール (HHC) 機能があります。

(前進または後進)ギヤに入れた状態で斜面で発進する場合、ブレーキペダルを放したときにVSSがブレーキを維持し、スロットルを作動させると直ちにブレーキを自動で解除します。

注記：
ヒルホールドコントロールを作動させるには5%以上の勾配が必要です。

この機能は自動で作動するため、ドライバーが操作する必要はありません。

注記：
HHCは、ブレーキペダルを放してから1秒間作動します。

ダイナミックパワーステアリング

ダイナミックパワーステアリング (DPS)は、電気モーターを使ってドライバーが必要とするステアリング入力量の最適化を図り、コンピューター制御された可変パワーアシストを提供します。

ステアリングアシストの度合いはハンドルの力 (ステアリングトルク)、ステアリングアングルおよび車両速度に依存します。

車両がリバース・ギヤに入ってる状態では、車両速度が速くなるにつれパワーステアリング・アシストは低下します。

道路上のリスクの把握

この3輪バイクを運転する前に、安全講習ビデオを見て、安全カードと製品上のすべての警告ラベルをお読みください。

衝突による負傷や死亡事故のリスクを考慮し、こうしたリスクを軽減する方法を考え、リスクを選び取る方法としていないかどうかを確認してください。

リスクにはいくつかの要因があります。特定の要因はある程度コントロールすることは可能ですが、他の車両の運転の仕方などの要因は自分の力ではどうすることもできません。

以下はリスクに影響を及ぼすいくつかの要因の一覧です。

車両の種類

車両には様々な種類があり、大きさ、視認性、操縦性、および保護性が異なります。

この車両は小型で操作しやすいものです。操縦性により、交通事故が避けやすくなります。しかし、小さい車両は他のドライバーからは見づらく、他のドライバーから衝突される可能性が増加します。ある状況では、Rykerはバイクよりも衝突に巻き込まれる可能性が低くなっています。例えば、低速度の走行中に転倒する可能性はより低いです。しかし他の状況においては、衝突する可能性が高くなります。例えば、車両の幅が広いため、モーターサイクルとは異なり幅狭い通路を通ることはできません。

乗用車やトラックでは、車両の構造によって衝突事故やその他の道路上の危険から身が守られます。さらに、同乗者はシートベルトを着用することでさらに身を守ることができます。この車両は乗用車の運転よりもリスクが高く、負傷するリスクは同バイクを運転するときのリスクと同レベルであることを念頭に置いてください。

モーターサイクルの走行と同じく、ヘルメットや保護服を着用することで傷害のリスクを減らすことができます。

ドライバーの技術および判断力

各ドライバーは道路上のリスクに対応するように気を配ることが重要です。

良い技術を取得したドライバーは車両をより効率よくコントロールすることができます。

この車両を運転するときは、バイク、乗用車、ATV、スノーモビルなどの車両の運転経験に頼らないでください。

この車両の異なる特徴に慣れてください。このオペレーターズガイドを読み、安全講習ビデオを以下のサイトでご覧ください。

<https://can-am.brp.com/spyder/owners/safety/safety-information.html>

または、以下のQRコードを使用してください。



受講可能な場合は、トレーニングコースを受講してください。コントロールに慣れ、実践練習を正確にこなせるようになってから実際の道路で運転してください。

公共の場で運転し始めたばかりのドライバーは、より簡単な道路状況（交通量が少ない、低速度、好天、同乗者が乗っていない状態）に始めは挑戦し、技術が磨かれていく毎に徐々に難しいチャレンジに挑戦してください。自分の運転レベルでは難しい状態、または乗り越えられないようなリスクがある状態を

避けるように先読みして運転してください。

熟練したドライバーでさえ衝突する場合があります。例えば、極端な操縦や技を披露したりすると衝突のリスクが上がります。賢いドライバーは安全性を高め、リスクを最小に抑えるために適切な判断を下しません。道路上の注意事項に記載の安全運転に関する記述を参照してください。

ドライバーの状態

ドライバーは酔っていない、警戒態勢であり、体が運転できる状態である必要があります。薬物やアルコールを摂取した場合は、決してこの車両を使用しないでください。酔っている、疲れている、または正常に機能できない場合、衝突のリスクが高まります。

薬物、疲労、投薬、体調不良、眠気および感情的になることはすべて安全運転の阻害要因です。バイクの運転と同じく、この車両の運転は簡単ではありません。乗用車を操縦するよりも、体調や精神の状態が重要になります。一番安全な心構えは、集中力を保ち、完全に酔いがさめた状態でしか絶対に運転しないことです。血中アルコール濃度が法定上限を超えなくても、アルコール摂取により判断力と運転力が低下します。

車両を運転するには、すべてのコントロールが操作でき、ハンドルを完全に切ったり、乗り降りしたり、周囲を注意深く監視できる体調であることが必要です。

同乗者も高い集中力を持ち、酔いが完全に醒め、姿勢を維持し、カーブ、でこぼこの道路、加速および停止の際にしっかり掴まったり対応できる体調であることが必要です。

車両の状態

車両をよい状態に保ってください。

使用前の点検および定期的メンテナンスを行ってください。車両を始動した時に多機能ゲージクラスターに表示されるメッセージに注目し、運転する前に問題に対処してください。

多機能ゲージを使用する際は常に最大の注意を払ってください。走行中にはディスプレイを長く見つづけることは衝突の危険性をかなり高めま

道路状況および天候

渋滞、視認性が悪い、または駆動伝達の悪い道路面ではリスクが高まります。ご自身の運転レベル、および挑戦したいリスク程度に見合った経路をお選びください。

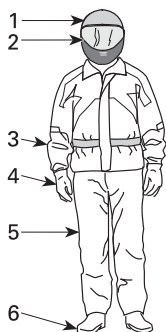
ライディングギア

この車両を運転するときには、バイクと同じ保護具が必要になります。低速ではモーターサイクルより安定感のあるこの車両でも、車両から転がり落ちてしまう場合があります。

このセクションはMotorcycle Safety Foundation (MSF)からの資料に基づいたモーターサイクル運転者へのガイドです。

衝突の際にオートバイに乗るためのふさわしい服装をしていると怪我を防いだり、または軽減することができます。さらに状況に合った服装をしていると快適になり、気象要素から身が守られます。

ドライバーおよび同乗者に推奨される基本装備には、ブーツ、長いパンツ、ジャケット、およびグローブが含まれ、何よりも適切に目を保護する適切なヘルメットが推奨されます。



ライディングギア

1. 使用許可されているヘルメット
2. 目および顔の保護
3. 長袖のジャケット
4. グローブ
5. 長いパンツ
6. ブーツ

ドライバーおよび同乗者ともに、適切な保護具を着用することで衝突時の負傷の程度を軽減することができます。

ヘルメット

ヘルメットは頭および脳を怪我から守ります。ヘルメットはさらに同乗者の顔をドライバーのヘルメットの後部への衝撃から守ります。最高のヘルメットを使っても損傷から100%身を守ることはできませんが、統計によると、ヘルメットの使用は脳損傷のリスクを大幅に減少します。そのため、走行中は必ず安全運転でヘルメットを着用してください。

ヘルメットの選び方

使用されるヘルメットはお住まいの州、行政区または国の標準を満たす必要があります。

顔を完全に覆ったヘルメットは顔と頭全体を守るため、衝撃に対する最大の保護を提供します。さらに異物、石、虫などから身を守ってくれます。

3/4ヘルメットまたはオープン・フェイス・ヘルメットもかなりの保護があります。同じ基本的な材料から製造されていますが、顔を完全に覆ったヘルメットの顔および顎の保護は損なわれます。オープン・フェイス・ヘルメットを着用する場合、取り付け可能なフェイス・シールドまたはゴーグルの使用を推奨します。

注記：

普通の眼鏡またはサングラスは、モーターサイクル運転者には十分な目の保護具ではありません。割れたり頭から外れたりし、目を風および空気中の異物から保護しません。

色付きのフェイス・シールド、ゴーグルまたは眼鏡は昼間中しか使用しないでください。夜や照明が十分ではない場所で使用しないでください。色を見分ける能力が損なわれる場合、使用しないでください。

涼しい天候に適切な保護具は停止中
だと暑く感じるはずで、後で脱げ
るように重ね着してください。防風
のアウトターを保護具の上に重ねす
ることで冷たい空気が皮膚に届くの
を防ぐことができます。

装備はドライバーをより目立たせる
効力もあります。明るい色を着るの
は賢い選択です。薄暗いジャケット
の場合、安価な反射ベストを上か
ら着ることも可能です。常に余分な
反射テープの付いた衣服を着るの
は良い事故予防策です。

雨具

雨天時に運転する必要がある場合、
レイン・スーツまたは防水ライディ
ング・スーツが推奨されます。長時
間の走行では、雨具を持っていくと
が推奨されます。雨が守られたいド
ライバーは、濡れて寒いドライバー
より心地よく、より集中して運転
することができます。

ワンピースやツーピースから選ぶこ
とができ、特にモーターサイクル用
の衣服が最適です。注目度の高いオ
レンジ色や黄色は良い選択肢です。
ウエスト部分、パンツおよび丈がゴ
ム製である物を探してください。丈
の高い襟にジッパーが付いていて幅
広いフラップがその部分を覆い隠
すジャケットが最適です。レイン・
スーツをお選びになる場合、防水グ
ロブおよびフットウェアも考慮し
てください。

雨天の場合、運転しないことが最良
の選択肢です。雨天の際に運転する
場合、道路上に水が溜まり始めたり
は停車する必要があることがあります。

聴覚保護

走行中に長い間、風およびモーター
音に晒されていると永久的な難聴を
引き起こす可能性があります。耳栓
など、適切に着用された聴覚保護具
は難聴の防止に役立ちます。聴覚保
護具を使用する場合は、使用する前
に現地の法律をお確かめください。

必要とされる運転技術および実践演習

この車両を公共の場で運転する前に、道路上のリスクを抑える運転技術および対策を学ぶ必要があります。

バイクやその他の自動車の運転経験がある場合は、他の車両と比べてこの車両の操作性やパフォーマンスがどのように異なるのかについて特に注目してください。

以下は車両の基本操作を学ぶための実践演習です。次の実践演習に進む前に各エクササイズを上手にこなせるまで練習してください。

このセクションには次のエクササイズが含まれています。

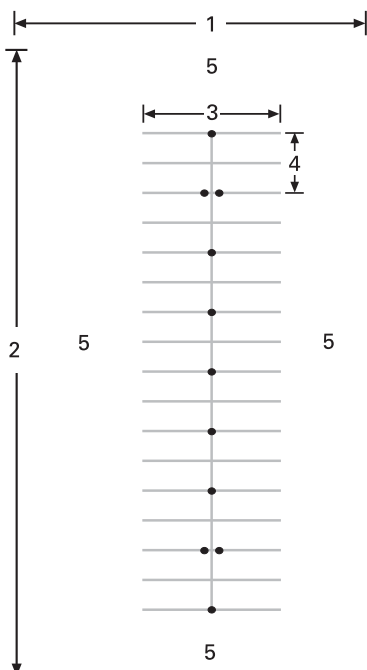
1. エンジンの回転数を上げたり、エンジン・ストップウォッチの使用
2. 始動、停止および基本的な取り扱い
3. 作動中のエンジンストップ
4. 基本ターン
5. 急停止
6. スラローム
7. シフティング
8. 急カーブ
9. リバースでの運転。

練習場の選択

これらの練習は、交通がない76~30m (250~100ft)以上の舗装面で行ってください。障害物(電柱、カーブなど)がない、閉鎖されている地面にマーキングがされている駐車場は練習に最適です。駐車されていた車によって残されたオイルに注意してください。学校、教会、コミュニティセンターやショッピングセンターなど、営業時間外の駐車場を探してください。私有地の不法侵入は避けてください。

適切な場所を見つけた後、その土地の所有者から使用許可を得てください。電柱や安全地帯などの障害物がある場合、以下の図に示されている道筋が障害物によって干渉されないように注意してください。

エクササイズの準備をする際は、この駐車場の基本図を考慮してください。図には3m (10ft)のサイズの駐車場が描かれていますが、実際には異なるサイズの駐車場を使用することも可能ですが、お選びにならない場合は、またたは図の寸法より大きいか、または小さい駐車場である場合は、以下の寸法をご参照ください。巻き尺、チョーク、または水や砂が含まれている容器またはパイロンなどを使ってマーキングしてください。



通常の駐車場

1. 30m (100ft)以上
2. 75m (250ft)以上
3. 12m (40ft)
4. 6m (20ft)
5. 空地

閉鎖された場所でも、万が一、他の車が入ってこないか注意してください。エクササイズを行う前に前方、左右および後方を確認してください。また、子供や動物に注意してください。

運転の準備

車両のすべての操縦系統の位置および操作方法を把握してください。車両情報のセクションを参照してください。

ドライバーのニーズに合わせてハンドルバー、フットペグ、ブレーキペダルを調整します。装備のセクションの操作用コンポーネントの調整を参照してください。

走行前点検を行ってください。走行前の点検のセクションを参照してください。

エンジンを始動および停止させるには、基本手順のエンジンの始動および停止に記載されている指示に必ず従ってください。

運転の姿勢

よい姿勢を取るとよりスムーズに運転ができます。操縦系統をスムーズに操作するには、両手と両足を必ず適切に配置してください。通常、手首は腕に対して真直ぐにします（これにより、お望みのスロットルの位置をより簡単に適用できます）。腕はリラックスして曲がった状態であるべきです。姿勢を伸ばし、頭と目を上に向けます。両足を操縦系統の近くのペグに配置します。

運転の適切な姿勢を取っていない場合、近距離でも車両を運転しないでください。



通常の運転姿勢

練習の実行

1) エンジンのふかし、エンジンストップスイッチの使用について

エクササイズの目的

- ねじれスロットルの操作に慣れること。
- 様々なRPMのエンジン音に慣れること。これによってエンジン音に応じていつシフトアップおよびシフトダウンすべきなのか把握できます。
- エンジン・ストップ・スイッチの使用に慣れること。

宛先

- 車両をニュートラルに入れ、パーキングブレーキをかけ、右足をブレーキペダルに配置します。多機能ゲージクラスターを確認してニュートラルに入っているか確認してください。1速ギヤに入っている場合は、スロットルを開けると車両が前進し始めます。
- タコメーターを見ながらスロットルを数回加え（手首を下げて回します）、RPMが4000を超えない程度まで上げます。3000 RPM前後を維持するようにスロットルを優しくかつ円滑に開けたり閉じたりする練習をします。トランスミッションがニュートラルに入っている限り、電源は後輪に行き渡りません。
- エンジン・ストップ・スイッチを使って車両のすべての電源を止めます。手をハンドグリップに乗せたまま右手の親指でスイッチを押します。

練習のヒント

- エンジン・ストップ・スイッチを見ないまま押す練習をしましょう。

2) 始動、停止および基本的な取り扱い

エクササイズの目的

- スロットルのコントロールおよび車両の動かし方を学ぶこと。
- 低速での減速およびブレーキに慣れること。

宛先

これらのエクササイズを行う際にコントロールを失っていると感じた場合、加速を止めるためにスロットルを閉じ、必要に応じてブレーキをかけて減速してください。さらにエンジン・ストップ・スイッチを使って電源を完全に切ることもできます。

2a) スロットルを開けた直前に放す宛先

最初は、スロットルを少しの間使用し、放して惰行運転します。

- エンジンを始動し、パーキングポジションレバーブレーキを解除します。
- ブレーキペダルを踏んだ状態で、シフトレバーを押して前進位置が選択されていることを確認します。
- ブレーキを放します。
- 車両が少しずつ前進し始めるまでスロットルをゆっくり開けます。動き始めた直後、スロットルを話して惰行運転し、ブレーキを踏んで停車します。直線コースの終点にたどり着くまで繰り返します。
- 直線コースの終点でUターンするには、停車し、ハンドルを右に完全に切り、スロットルを多少開けて放して、惰行運転でターンします。完全にターンするにはスロットルを一回以上開ける必要がある場合があります。反対方向の直線コースに並んだ時に停止します。
- スロットルを開けて放すのに慣れるまで、エクササイズのこの部分を練習し続けてください。

2b) 12 m (40 ft) 毎にスロットルをホールドし、放して停車する

次はスロットルをより長くホールドし、12 m (40 ft) 毎に停車します (他のすべてのマーカー毎、または四つに一つの線毎に) 。

- この場合も、車両が少しずつ前進し始めるまでスロットルをゆっくり開けます。今回はこの時点までスロットルをホールドします。
- 停止地点が近づいてきたら、スロットルを放してブレーキをかけ停車します。
- 以前と同様に直線コースの終点でUターンしますが、今回はターン時にスロットルを放す必要はありません。ターンする際に安定したスロットルの位置を維持することに焦点を当ててください。反対方向の直線コースに並んだ時に停止します。

2c) スロットルをホールドし、放して終点で停車

次に、直線コース全体を走行し、終了地点でしか停止しないでください。スロットルは適度に開けておきます。

3) 作動中のエンジンストップ

エクササイズの目的

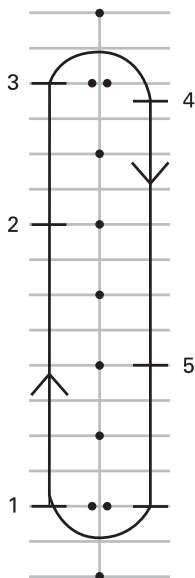
- 走行中にエンジン・ストップ・スイッチを使うことを練習し、後に使う場合に車両がどのように反応するか知っておきましょう。

宛先

- 8 km/h (5 MPH) の速度で直線コースを途中まで走行したとき、エンジンストップスイッチをOFFにして、惰走して停止します。
- エンジンを再起動させ、このエクササイズを繰り返します。エンジンストップスイッチを使う前に (20 km/h (12 MPH)) まで加速してみてください。

注記：

ブレーキペダルが踏まれていないと車両のギヤに入れることができません。



1. 出発
2. エンジン・ストップ・スイッチを押す
3. 直線コースの終わりまで行って停止し、以前と同じようにUターンします
4. 停止
5. エンジン・ストップ・スイッチを押す

エンジンを再起動させ、次のエクササイズに移ります。

4) 基本ターン

エクササイズの目的

- 制御性のあるターンを行うことに慣れましょう。

宛先

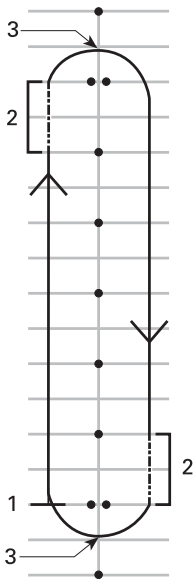
このエクササイズは以前のと似ていますが、今回はターン毎に停車するのではなく、低速度でターンをします。

- 直線を運転します。直線コースの終わりに幅広くターンするため、パイロンから少し離れて運転します。

- カーブに近づいてきた頃に、スロットルを放して必要であればブレーキをかけることで速度を8 km/h (5 MPH) 以下まで落としす。
- 低速度を維持するためにスロットルをホールドします。
- カーブの方向に注目します。
- カーブの方向にハンドルを切り、ハンドグリップの内側を引っ張り、外側を押し出します。この間、スロットルを空けないように気をつけます。
- より簡単にハンドルを切るには、カーブおよび正面に対して体を寄せます。
- ターン後はハンドルを元通りにし、直線コースを進みます。



代表例 — 曲がるときの乗車姿勢



1. 出発
2. 半クラッチ
3. 頂点

注記：

バイク運転経験者への注意 - この車両でのターンやカーブの走行は、バイクの場合のそれとは異なります。車両はターン時に傾かないため、姿勢を保つにはターンの内側に重心を移らせる必要がある可能性があります。モーターサイクルと比べて、ハンドルをより力強く回す必要があります。ただし、モーターサイクルと比べて曲がる時はより簡単に停止できます。

練習のヒント

- 一つの方向へのターンに慣れたら、今度は逆コースを走ります。左に曲がる時は、意図したよりもスロットルを開けないよう注意します。
- ターンの途中で停止してみて、カーブやターン時にブレーキをかける感覚を体験しましょう。

5) 急停止

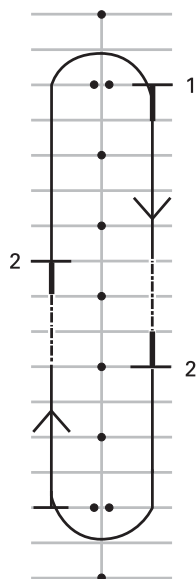
エクササイズの目的

- 車両のブレーキ能力に慣れること。
- ブレーキの最大力を発揮させる方法を学ぶこと。

宛先

この練習は前述のものと同じですが、今回はブレーキをより強く踏み、最終的にはできるだけ強くブレーキを踏める段階に達するまで練習します。アンチロックブレーキシステム (ABS) は最大制動力がかかっている場合に車輪がロックされるのを防ぎ、ステアリングコントロールを維持するのに役立ちます。素早く停車するには、必ずスロットルを完全に放してください。スロットルを開けたまま同時にブレーキをかけた場合、停止距離は長くなります。

- 直線コースの一方の端からスタートし、8 km/h (5 mi/h) まで加速します。直線コースを走行している途中にスロットルを完全に放し、ブレーキを素早く、しっかりかけます。ABSによって車輪ロックが防止されるため、絶対にポンピング・ブレーキを行わないでください。
- 頭と目を上に向け、ハンドルを真直ぐの状態に維持し、完全に停車するまでブレーキを放さないでください。
- これを繰り返します。次はより早く走行し、ブレーキをより強く踏みます。



1. 開始時点
2. 停止

練習のヒント

- ブレーキを強く踏む前にミラーを確認する練習をしましょう。

6) スラローム

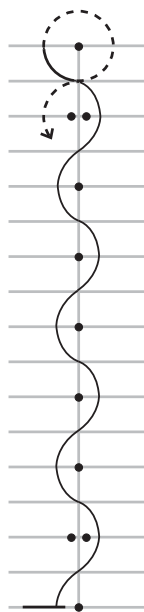
エクササイズの目的

- 車両の扱いおよび姿勢に関する体験をすること。

宛先

6 m (20 ft) スラローム

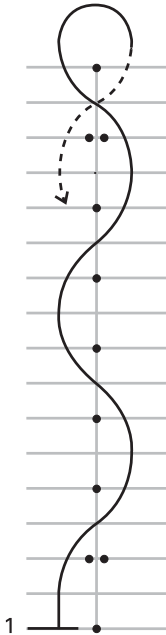
1. 他のすべての駐車位置の各パイロンまたは交差点の間をスラロームします。方向変更に慣れるまで、最初は低速で練習します。
2. ターンをする度に体をターンの方向に傾け、グリップを引っ張ったり押ししたりしながら進みたい方向にハンドルを切ります。



1. 開始時点

12 m (40 ft) スラローム

慣れてきた場合は、他のすべてのパイロンの間、または四つに一つのパーキングスペースの間を通過して12 m (40 ft) のスラロームに挑戦してください。



1. 開始時点

練習のヒント

- 16～19 km/h (10～12 mi/h) のスラローム速度に慣れてきたら、徐々に速度を高めるのもよいですが、終了地点でのUターンの時は速度を落としてください。

7) 変速

走行中は、エンジン速度と車両の速度を一致させるために変速する必要があります。マニュアルの乗用車やトラックと同様に、低速ギアは低速で、高速ギアは高速で使用します。

トランスミッションはエンジンの回転数が1,800 rpm以下になると自動的にシフトダウンします。

エクササイズの目的

- シフトアップおよびシフトダウンを学ぶこと。

宛先

このエクササイズは以前のと似ていますが、今回は直線コースでシフトアップし、コースの終了地点で停止する練習をします。このエクササイズでは、パーキングスペースより駐車場の通路を使うことを推奨します。

7a) 停車時でギヤセレクターの使用を練習する

まず停車状態でリバース、ニュートラルおよび第一ギア間のシングルシフトを練習します。次に、以下の練習を行います。

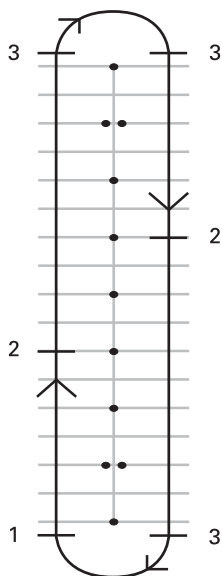
- リバースから第一ギアにダブルシフトする。
- 第一ギアからリバースギアにダブルシフトする。
- 慣れるまで繰り返します。

7b) 1速ギヤから2速ギヤにシフトアップ

- 直線コースでエンジン速度が3,000 RPMに達するまで加速します。
- 第二ギアにシフトするにはギアセレクターを前方に押します。シフト中にスロットルを放す必要はありません。
- 慣れてきてスペースが十分にあれば、スロットルを調整して第二ギアで加速してみることもできます。

直線コースの終了地点に近づいてきたら以下の停車の準備をします。

- スロットルのリリース
- ブレーキをかける
- トランスミッションは速度が落ちると自動的にシフトダウンします。ギアセレクターを手前に引くことで手動でシフトダウンすることもできます。



1. 出発
2. 25 km/h (16 MPH) で2速ギアに変速
3. 停止

7c) 十分なスペースがある場合、走行中に1速ギアにシフトダウンする練習

直線コースで：

- スロットルを放さないでギアセレクターを手前に引っ張ります。
- スロットルなしでシフトダウンするとエンジン・ブレーキの感触がよりリアルに伝わります。

7d) 他のギヤ

スペースが十分である場合、より高いギアにシフトアップしたり、低いギアにシフトダウンしてみることもできます。同じ過程を踏み、ギヤは一つずつシフトアップまたはシフトダウンしてください。

注記：
シフトダウン中にもう少しスロットルを吹き上げて車両速度とエンジン回転数を合わせることで、よりスムーズにシフトダウンすることができます。シフトダウン中にエンジンブレーキによって車両の速度が落ちます。これを利用して減速することもできますが、VSSはエンジンブレーキを制御しないことを考慮してください。高速度であまりにも低いギアに変速してしまう場合は、後輪が滑ってしまうことがあります。特にカーブなどでは車両のコントロールを失い、車両がスピニング、転倒または転がってしまう可能性があります。

8) 急ターン

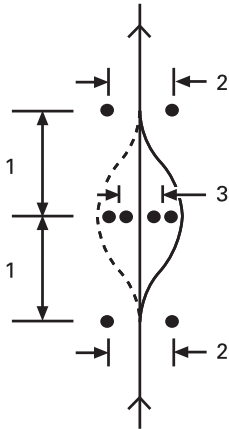
エクササイズの目的

- 極端な操作での車両の扱いに慣れること。
- ブレーキおよび急ターンの様々なバリエーションを試すこと。

宛先

このエクササイズを行うには、コースを再配置する必要があります。以下の図に示されている通りにパイロンを配置します。このエクササイズには、固定された、または固い、重い物を使用しないでください。

- 約8 km/h (5 mi/h) の速度で2つのパイロン間を走行し、その速度を維持します。
- 一連のパイロンの周りを走行してみます。
- 二重パイロンスh 級の第二セットからコースを出ます。
- このエクササイズは数回行い、両方向での急ターンに挑戦してください。



1. 6 m (20 ft)
2. 3 m (10 ft)
3. 2.5 m (8 ft)

練習のヒント

- 開始速度を徐所に上げることもできます (13~19 km/h (8~12 mi/h) 以下の速度に抑え、いくつかのバリエーションを試します)。例えば、コース直前の速度を調整したり、急ターン時にブレーキをかけたなど。
- 助手に手伝ってもらうことで、どの方向にターンするか、またはどこで停車させるかなど指示してもらい、よりダイナミックなエクササイズとなります。助手には安全な距離を取ってもらいます (練習場より多少離れた位置など)。パイロンの第一セットの直前で助手はどの方向にターンするか、または停車すべきかなど、手信号で指示してもらいます。
- 急ターンをする前にミラーや死角を確認する練習をしましょう。

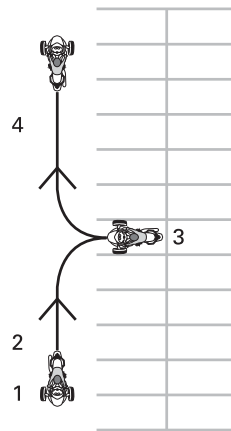
9) リバースでの運転

エクササイズの目的

- リバースでの旋回半径および車両の取り扱いに慣れること。

宛先

- リバースにシフトします。基本手順のリバースでの運転を参照してください。
- 背後に障害物がないか確認します。後退中も背後を見続けます。後退させながら前輪で物に当たらないように注意します。通常の動作と同様に、スロットルを放してブレーキをかけて減速し、停車します。
- 100cmから200cmずつ後退し、間に停止させます。
- 低速度で運転し、長距離を走るのにリバースを使わないこと。
- 後退に慣れたら、以下の図のようにパーキングスペースに後退させてください。



1. 開始時点
2. リバース
3. 停止
4. 前進

高度運転技術の取得

基本運転技術をマスターした後は、より高度な技術の取得を開始することができます。まず、次のセクションに記載の道路上の注意事項を確認してください。次に、リスクが比較的低い場所を見つけて練習を開始します。

以下のようなよりリスクが低い条件で運転し始めます。

- 短距離
- 好天
- 交通が少ない場所
- 昼間
- 低速度
- 同乗者なし。

上達してきたら徐々によりリスクの高い状況で練習してください。

道路上の注意事項

このセクションは道路上のリスクを軽減するための戦略について説明します。これらの多くの戦略はモーターサイクルのものと似ています。

このセクションはMotorcycle Safety Foundation (MSF)からの資料に基づいたモーターサイクル運転者へのガイドです。しかし、3輪トライクの場合は方法が異なることがあるため、熟練したバイク運転経験者でもこのセクションをお読みください。

練習の下準備

練習に出かける前に必ず天候を確認します。いかなる天候に備えるために適切なギアを持ってきます。

自分の技術に見合った経路および運転状況を選択します。

車両には20 l (5.3 gal (liq.,US)) の燃料タンクがあります。燃料低下インジケーター・ライトが点滅し始めたら、燃料タンクの供給をできるだけ早く行ってください。特に人けの少ない場所では、ガソリンスタンドなどの場所を事前に確認します。

安全運転

モーターサイクルと同じく、安全運転は衝突事故を防ぎます。常次警戒する必要があります。背後も含めて、周囲への注意を怠らないでください。必ず潜在的な危険がないか確認し、先読みし、問題を回避するために必要な距離と時間を計算します。他の運転者が常に交通規則を守るだろうと決め付けないでください。

車間距離

最適な運転状況では、前の車両とは2秒間の車間距離を必ず取ってください。これは、道路上の固定物と比較して前の車両の位置に最低でも2秒後に通過することを意味します。

制動距離が長くなる状況、または視認性が悪い場合、より安全な対策を取るためにより長い車間距離を取ってください。例えば、滑りやすい路

面、下丘、または車両の重量がより重たい場合は、制動距離がそれだけ長くなりますし、霧、カーブまたは夜間では視認性が制限されます。

前方を見渡す

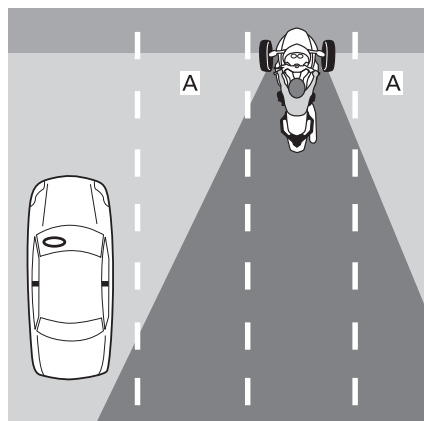
隣の車両と適切な車間距離を保つことに加えて、前方を見渡して通り道を事前に考慮しておきます。

最低でも4秒後の通り道を計算しておきます。道路上にある物体や他の車両など、自分の通り道に危険性がなにか気を配ります。

予想した通り道で潜在的に危険な状況が起こる前にそれを見越すために、12秒先の距離も見通しておきます。例えば、他の車両が現れる可能性のある交差点や、歩行者が横断する可能性のある箇所などを識別します。もし危険な状況に遭遇した場合、瞬時に回避できる準備をしておきます。

背後および両側の確認

すべての方向から他の車両や危険が迫ってきます。周囲を常に見渡し、背後になにかがあるか常にミラーを確認します。さらに死角を監視するために常にヘッドチェック（振り返って確認する）を行います。



1. ドライバーの死角

ブレーキをかける際は後続車両に注意してください。後続車両は、この場合のように素早く停止できない場合があります。

視線を動かす

周囲を把握するには、視線を一つの方向に集中してはいけません。常に視線を動かし、道路、道路標示、機器および他の車両に注意します。すべての方向において、近くと遠くを見ます。

トラブルを予想する

潜在的な危険性に気が付いた時は、速回避方法を検討します。これには、速度や車線での位置を調整したり、車線変更する必要がある場合があります。なにかが通り道に侵入してきた場合は、急ターンやブレーキなどのお回避行動を瞬時に取る準備をします。問題に対応できるように、十分な距離をとり、十分に反応できる時間を常に確保しておきます。

視認性を高める

ドライバーにはモーターサイクルなど小さい車両をあまり注目しない性質があります。そのため、他のドライバーから見やすいようにすることも戦略の一つです。

他のドライバーから見やすいする方法

照明およびリフレクター

車両のヘッドライト、走行用ライトおよびテールライトが適切に作動することを確認してください。使用されている車両のフェンダー、両側および後部にはリフレクターが付いています。すべてのリフレクターが清潔であり、壊れていたり欠損していないことを確認します。

昼と夜の両方で使用可能なときはハイビームを使います。夜に他のドライバーの目をくらますのを避けるために、または霧で光が反射しすぎている場合にロービームを使います。

シグナル

ウィンカーを使って他のドライバーに自らの意図を知らせます。車両には自動キャンセル式の方向指示灯が付いていますが、短いカーブではキャンセルしないことがあります。操作の完了後にウィンカーがOFFになっていることを確認します。完了後にONになっていると他のドライバーを混乱させてしまいます。

できれば、減速する前や交差点にたどり着く前にブレーキライトを点滅させ、背後のドライバーに警告します。

さらにクラクションの使用を試みて、他のドライバーに自らの居場所を伝えることもできます。

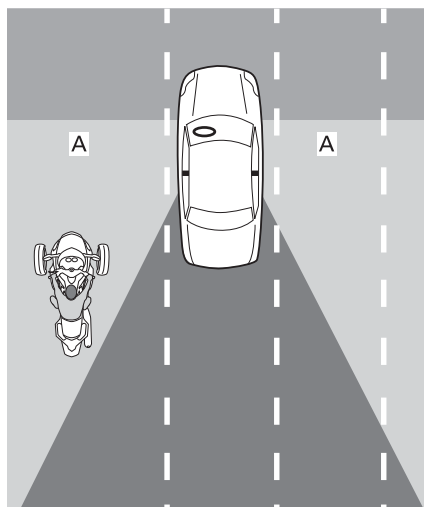
他のドライバーがあなたのライト、シグナルまたはクラクションの音に気づいたと決め付けしないでください。

オーストラリアおよびロシアモデル

必要に応じてハザード警告灯を使用して、他のドライバーから見やすくします。

死角

他の車両の死角に運転するのは避けましょう。前方に走っているドライバーがミラーからあなたを見やすいように自分の位置を設定します。トラックまたはバスを追跡している状況などの特定の場場合は、前方の車両との間の車間距離を多めにとりましょう。



1. 他の車両の死角

時刻と天気

夜、夜明けや夕暮れなどの照明が薄い場合、および雨または霧などの悪候の場合、他のドライバーから見えにくい場合があります。夜明け、夕暮れまたは非常に明るい日光からのまぶしい光によって、他のドライバーから見えにくくなります。

衣服

明るい色または蛍光衣類は視認性を高めます。

他のドライバーから見えていても気をつけましょう

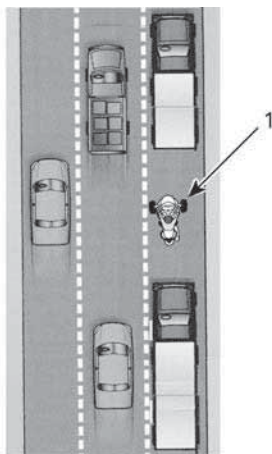
他のドライバーがあなたの存在に気づいていても、衝突のリスクがあります。防衛運転をし、他のドライバーが安全運転をすると決め付けないことです。

車線の位置

通常は、車両を車線の中央に位置付けます。このポジションは前輪を車線内に留めます。これは他の車線にいる車両との車間距離をとり、大型車両からの風の影響を低減し、車線変更した車両から衝突されるリスク

も軽減します。このポジションは車線の中央の滑りやすい箇所から前輪を遠ざけ、ブレーキおよびステアリング能力を維持し、この車両では車両の中心に座っており、見え方が異なることを忘れないでください。

危険を避けるために車線の左側または右側に移動したり、他の車両と力一杯から距離を置きます。さらには良い眺めを得るため、また他のドライバーの視線を得るため、また左側または右側に移動することもできます。車線の中央にいても幅が原因で、車線の端にいても交通が見えづらい場合があります。幅が広い、または背が高い車に對してより多く車間距離を確保する必要があります。車輪の外を把握するのを避けましょう。前方にはドライバーから見えない車間距離を確保するには、あなたと相手のミラーを型車両によって追跡させない場合は、車線の左側にいない可能性があります。



1. 車線の左側にある車両

この車両はバイクよりも幅が広い場合、車線内では限られた位置にしか

動けません。車線の左または右側で走行する場合は、前輪が車線内に留まっていることを確保します。

多車線の道路では、車の流れにのったあなたの速度に見合った車線を選び、視認性を重視し、回避行動用（他の車線または路肩に急ターン）の通り道を考えておきます。

一般的な運転状況

交差点

路地や私道をつなげる小さい交差点など、交差点には横断歩道があるため、更なるリスクがあります。後、前方および左右のすべてに問題がないか必ず監視しておきます。

交差点で停止する場合は、次の角を曲がる場合でも、車線の真ん中で車を止めます。これにより他の車線から見えやすくなり、あなたの周囲を運転しようとする行いを妨げます。背後から迫る車両に気づいてください。追ってくる車両に對してブレーキライトを点滅させる必要であれば、衝突を避ける回避準備をしておきます。

車線変更および追い越し

この車両はバイクよりも幅が広いので、他の車両を追い越すには車線を変更してください。この車両は考慮して見てください。この車両は余裕を持ってインカーをつけ、ミラーをおよび死角を確認することが特に重要です。線変更後にウィンカーをOFFにしないようにします。車線変更ではハンドルが十分に切られず、シグナルが自動的にキャンセルされません。

2車線（スプリットレーン）の間の線の上を絶対に走行しないでください。車両の幅が広すぎます。

路肩に沿って他の車両を絶対に追い越そうとしないでください。車輪が

一つでも道路からはみ出た場合、コントロールを失いかねません。

ターン

ターンの時は減速し、周りをよく見てきちんとステアリングを制御することを忘れずに。

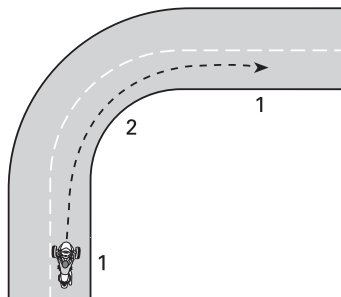
- **減速**：ターンする前に、必要に応じてスロットルを放したりブレーキをかけたりして速度を落します。維持できる範囲の速度でターンを開始します。この車両は、バイクよりもターンの時のブレーキ効率が優れていません。しかし、ターンしたりカーブを曲がっているときにブレーキをかけるのではなく、その前に減速することが重要です。ブレーキとターンの両方には駆動伝達が必要です。ブレーキに駆動伝達を使えば使うほど、同時にターンするだけの駆動伝達が無くなります。ターンやカーブの曲がり方が早すぎると、前輪の内側が舗装から浮き上がり、VSSがエンジンの場合を制御し始める音が聞こえる場合があります。VSSはコントロールの維持に役立ちますが、ターンが早すぎるとスピンしたり転がり落ちてしまう可能性があります。
- **周りをよく見る**：ターンの全過程において周囲に注目し、視線を動かし続けます。カーブ全体（表面特性、カーブの度合い、全体の交通状況）をできるだけ早く把握します。こうすることで、速度や姿勢について判断する時間が確保できます。時には、ターンの方向に頭を傾けることで全体の把握がより可能となります。
- **ステアリング**：ハンドルを切ってターンの方向に車両を操縦します。この車両はバイクとは異なるため、カウンスターステアができません。車両を傾けさせることはできません。ターンによる横力を経験するため、この間に姿勢を保つにはターンの内側に重心を移行させる必要がある可能性があります。モーターサイクルと比べて、ハン

ドルをより力強く回す必要があります。

カーブ

この車両は乗用車より幅が小さいため、カーブでの通り道を正すためにも車線内を左右に動き回ることもできます。ただ、この車両はモーターサイクルより幅が大きいいため、左右の動きは限られます。前輪が車線からはみ出ないことが重要です。

通常のカーブでは、アウト、イン、アウトの通り道がベストです。



通常のカーブの通り道

1. アウト
2. イン(内側)

坂

停車は、どのギヤに入っているかに関係なく動き出す可能性があります。車両が停車しているときはクラッチが常時解除されているため、トランスミッションだけで車両を所定位置に留めておくことはできません。傾斜上で停車している状態では、ブレーキペダルを押し続けます。傾斜上で始動するには、スロットル開度を増加しながらブレーキペダルを踏み続けます。クラッチが合ったと感じたところでブレーキペダルを放してください。

夜中の運転

他のドライバーからの注目を引くためにライトやシグナルを使う他にも、夜中の視認性も考慮してください。適切な時にハイビームを使用します。ヘッドライトを切らないで

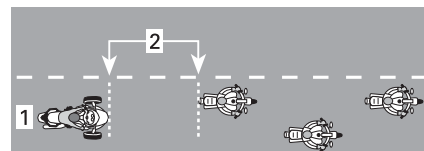
ください(そのような状態で高速で走行すると、停止距離が確認できなくなります)。他の車両のヘッドライトを利用して前方を見渡すこともできます。

夜中には着色のバイザーまたはレンズを使用せず、バイザーに傷や汚れがなように特に気をつけます。

グループでの走行

グループでの走行は単縦列でのみ行ってください。モーターサイクルとも車線を絶対に共用しないこと。

モーターサイクルと走っている際は、前方のモーターサイクルが同じ車線の隅にいる場合でも、適切な車間距離をとります。カーブでは、モーターサイクルの通り道を辿らないでください。モーターサイクルは、カーブの際に車線の端の方寄せることができます。この車両でモーターサイクルに追従すると、前輪が車線から出てしまいます。モーターサイクルはこの車両よりも速くカーブを曲がるすることができます。モーターサイクルの速度に合わせないでください。



グループ走行のポジション

1. 車線の中央
2. 2秒後の距離

特にカーブが多い場合は、ライダーはモーターサイクル運転者よりも早く疲れる場合があります。モーターサイクルに追いつこうとして体力の限界を超えようとしてしないでください。疲れたら停車して休んでください。

道路状況および危険性

氷、雪および泥

凍結した道路、雪道、または泥の上では走らないでください。VSSを維持するだけでは、これらの上を滑りやすい表面ではコントロールを維持する駆動伝達がありません。この車両は、滑りやすい路面では自動車よりもスピニングしやすく、制御不能になる場合があります。

砂利、土および砂

砂利、土または砂で覆われた道路では、余分に注意し、特にカーブでは速度を落します。これらの表面は舗装道路のような駆動伝達がないため、VSSを用いてもコントロールを失ってしまいます。

湿潤路面および水溜り

通常は、舗装上に水溜りがない限り（水が流れているなど）、湿ったり濡れた舗装ではコントロールを維持できるだけの駆動伝達がありません。他の車両と同じように、この車両でも道路上の水溜りの上を、高速で通過するとハイドロプレーン現象が発生しますが、他の乗用車や低速でこの現象が発生しませんが、ハイドロプレーンはより深い水溜りの上では起こりやすいです。深さを確認するには、他の車両が通った時の水の動きに注意してください。

ハイドロプレーンが起きた場合は、一つ以上の車両が水上に浮き上がり、道路との接触を失います。これが後輪に起きた場合は、後輪が横にずれているように感じるかもしれません。ハイドロプレーンした車両は、車両をコントロールするために必要な駆動伝達を提供しません。コントロールを失ってスピニングアウトしてしまい、VSSでもコントロールを維持することはできません。

大きな水溜りや水流を避け、大雨の場合は速度を落すか路肩に停車してください。水溜りの上を走行する必

要がある場合、水溜りに到達する前にできるだけ速度を避けます。

水の上を通った後は、ブレーキの動作を確認します。必要であればブレーキを数回かけ、摩擦によりブレーキパッドを乾燥させます。

適切にメンテナンスされたタイヤはハイドロプレーンのリスクを抑えます。必ず以下の推奨されるタイヤの空気圧を維持してください。

メンテナンスの手順のセクションのタイヤ空気圧を参照してください。

注記：

左右のタイヤの圧力差が3.4 kPa (0.5 lbf/in²) を超えないようにしてください。

ハイドロプレーンのリスクを最小限に抑えるために、最後のトレッドウェアインジケータが見える場合は、タイヤをすぐに交換してください。

雨が降り出した最初の数分間は油や汚れが水と結合するため、車線の中央は特に滑りやすくなります。雨水が多い場合は、磨耗した舗装に蓄積されることがあります。これらの駆動伝達が少ない箇所は避け、できれば前輪を駆動伝達が一番良い箇所に留めておきます。

オフロードでの使用

オフロードではこの車両を使用しないでください。車両はオフロードの駆動伝達が少ない、でこぼこの粗面には耐えられません。簡単に動けなくなったり、コントロールを失ったり、あるいは転倒してしまいます。さらに、特定の地域ではオフロードで使用する場合は違法である場合があります。

障害物、穴やでこぼこ面

できれば障害物、穴やでこぼこ面上を走らないでください。もし避けられない場合は、そこに到達するま

えにできるだけ減速し、ブレーキを放しながら進みます。

より幅広い障害物やでこぼこ面に對しては、できればストレートにアプローチし、両方の前輪が同時に直進するようにします。両方の前輪で進行する場合は、乗手は穴の上を走らさず、立ち上がり、足を使って衝撃を避けようとする姿勢をとります。障害物にぶつかるかもしれないと想定して準備しておきます。

より幅が狭い障害物、でこぼこ面や穴に対しては、後輪で乗り上げる方がよいです。前輪で乗り上げる場合は、ハンドルをしっかりと握り、スロットルを誤って開けてしまわないようにし、必要であれば軌跡を調整する準備を整えておきます。

かなり大規模の障害物、でこぼこ面または穴に直面してしまった場合、衝撃によって車両が跳ね上がったとき、乗手は乗手部分があたり、乗手が車両から放り出されたり、コントロールを失ったり、スピンや転倒してしまう場合があります。

車両を回避するために完全に停止できない場合は、急ターンして回避してください。必要であれば急ターンとブレーキを同時に行うこともできます。

鹿などの大型動物が道路上にいる場合は、その箇所に到達する前に停車し、動物がいなくなるまで待ちます。

犬が追いかけてきた場合は、犬が近づくと減速し、犬と直前を直前に加速して回避することが推奨されます。

道路上での緊急事態

走行中に車両の異常や予期しない出来事が起こりえます。よくメンテナンスされた車両は異常のリスクを軽減させますが、その緊急事態に備えておくことが推奨されます。

- オペレーターズガイドを必ず車両の中に入れておいてください。
- 道路の上で停車する場合は、次の注意事項に従ってください。
 - 道路に舗装された路肩がある場合は、高速から降りるシグナルをだし、交通速度に近い速度で車線からでて、完全に停車するまで減速します。
 - 路肩が舗装されていない場合は、方向指示灯を出して走り、方向指示灯の意図を示し、安全速度まで減速してから舗装路を離れ、車両を停止します。
 - 視認性を高めるため、方向指示灯は作動させたままにします。
 - ハザード警告灯を装備しているモデルでは、視認性を高めるためにハザード警告灯を作動させます。
- 携帯やその他の通信機器を持っている場合、長距離の旅にでる前に完全に充電させてください。
- 事故に巻き込まれた場合、BRPは、運転を再開する前に車両を最寄りのCan-Am On-Roadディーラーまで移動させて（車両の移送を参照）、安全点検を依頼するよう強く推奨します。

タイヤの故障

タイヤが故障したり急にパンクした場合は、ハンドルをしっかりと握り、徐々に低速し、安全な場所に慎重に進み、停車します。急ブレーキをかけたり、シフトダウンや急なハンドルの扱いは避けてください。前輪が故障した場合、車両は故障したタイヤの方向に引っ張られる可能性が高いため、車両のコントロールを維持するにはハンドルをしっかりと握る必要があります。タイヤ修理の指示については、道路側での修理のセクションを参照してください。

同乗者または積荷を乗せた運転

重量制限

乗り手および積荷の重量制限を超えないでください。

重量制限		
車両積載重量制限 (ドライバー、同乗者、カゴおよび追加されたアクセサリーも含みます)	リミットモデル	209 kg (460.8 lb)
	その他の全モデル	199 kg (438 lb)
フロントストレージコンパートメント		
サドルバッグ (1つ当たり)		6.8 kg (15 lb)
上部ストレージコンパートメント		

超過重量は：

- 加速、ブレーキおよびターンの効率を妨げます。
- VSSの効率を妨げます。
- 重すぎたり、重量が後部に集中している場合、反転のリスクが高まります。
- 地上高を減少させ、高さが低い障害物やでこぼこ面に直撃するリスクが高まります。
- タイヤの故障のリスクを高めます。

超過重量で運転する場合

同乗者や重い荷物を乗せることは、車両がより重くなってしまい、重量配分が不均一になってしまうため、車両の動きが左右されてしまいます。

1. より素早く加速できなくなってしまう。他の車両を追い越す場合はより時間と車間距離を必要とします。

2. より素早く停止できなくなってしまう。前方車両との間の車間距離を最低でも3秒間まで引き伸ばします。理想的な運転状況でない場合は (視界不良、コンディションの悪い路面など)、より長い車間距離をとります。
3. よりシャープなターンや、高速でのターンを行うことはできなくなります。ターンの前は通常異常に低速し、急ターンを避けます。
4. 車両はより不安定になる場合があります。後部に片寄った重量配分 (同乗者の乗せた場合など) で極端な操縦をした場合は、転倒や転がり落ちるリスクが高まります。

注記：

最大許容荷重を超えた状態で運転すると、VSSの効果が低下します。

同乗者を乗せた運転

このセクションは、STDおよびSモデルを含むすべてのF3モデルに適用します (BRPの同乗者用キット一式が取り付けられている場合)。

この車両はドライバーの後ろに同乗者が一人乗れるように設計されています。複数の同乗者を絶対に乗せないでください。

あらゆる場面で一人で走行し、車両を適切に操縦できるまで、同乗者を乗せないでください。

同乗者は酔いが完全に醒め、集中できる状態にあり、適切にフットレストや取っ手を使い、バランスを保ち、極端な操縦時にしっかりとつかまり、ドライバーの気をそらさないことが必要です。

警告

同乗者ハンドルが車両に取り付けられていない場合は、決して同乗者を乗せないでください。

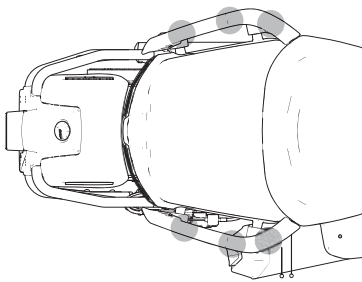
同乗者も適切な保護具を着用している必要があります。同乗者は特にヘルメットなど、ドライバーに推奨さ

れるすべての保護具を着用する必要があります。フルフェイスヘルメットの使用を推奨します。これは、急停車時に、同乗者の顔がドライバーのヘルメットの後部に当たる恐れがあるためです。

同乗者の姿勢が整われるまで、ブレーキをかけておき、トランスミッションをニュートラルに入れておきます。

運転し始める前に同乗者に乗り方を教えます。同乗者に次のルールに従ってもらいます。

1. 適切な姿勢を保つこと。アクセサリーの背もたれがある場合でも、必ず同乗者用ハンドルにつかまわり、同乗者フットレストに足を乗せてください。同乗者がオペレーターにつかまってしまうと、過度の横力にドライバーが耐えられない可能性があるため、避けてください。特定の操作に対して同乗者用ハンドルの握り方を変えてみるとより効果的な場合があります。（ターンでは片手を取っ手の正面に、もう一方の片手を反対側の取っ手の裏面を握ったり、その他の状況においては両手をさらに前方または後方に位置付けるなど）



取っ手の様々な握り方

注意

同乗者用ハンドルは、絶対に車両を縛ったり吊り上げたり輸送したりするのに使用しないでください。

2. エキゾースト・パイプ、後輪およびドライブ・ベルトに近づかないでください。
3. ターンの際にバランスを保つ時以外は、後ろに振り向いたり傾いたりしないでください。予期しない操作の時は、通常の姿勢をとっていきないう同乗者は転がり落ちてしまう確率がより高くなります。
4. 先方をしっかり把握し、今後の道路状況に対応します。遠心力に抵抗するために必要に応じてカーブの方向に体を傾けます。障害物、穴またはでこぼこ面の上を走る場合は、肘をロックしないまま席から多少立ち上がります。

特に経験のない同乗者を乗せている場合、急な加速、ブレーキおよびターンは避けてください。予期しない急な操作は同乗者が転がり落ちてしまう要因となります。

荷物を乗せる場所

フロントストレージコンパートメント、グローブボックス、トップストレージコンパートメント、およびリアサドルバッグに荷物を載せることができます。車両にBRPの承認されたアクセサリーが搭載されている場合を除いて、他の箇所に荷物を乗せないでください。

警告

PRS（後部座席スイッチ）を押してしまうので、決して同乗者シートに荷物を縛りつけないでください。これにより事実上VSS較正から2-up較正に変更されますので、運転者1人だけで同乗者シートには積荷があるだけの場合に、VSS介入は予想より影響のある強いものになってしまう恐れがあります。

ストレージコンパートメント

フロントストレージコンパートメントとリアサドルバッグは、軽いものを収納するためのものです。入るものであっても、6.8 kg (15 lb) を超え

るものをストレージコンパートメントに入れないでください。フロントストレージコンパートメントに燃料などの可燃性のものを絶対に積まないでください。

運転する前に、フロントストレージコンパートメントのラッチおよびサドルバッグカバーが固定されていることを確認してください。

トレーラーの牽引

重要事項

Tおよびリミテッドモデルだけが、トレーラーの牽引に対応しています。

この車両の車両安定システム(VSS)は、適切な車両安定コントロールを維持しながらBRPトレーラーが牽引できるようにプログラムされています。

この車両用に特別に設計されたBRPのトレーラー、またはBRPにより承認されている同等品だけを使用してください。これは、通常操作時に車両とトレーラーの安定を確保し、車両安定システムに支障がでないようにするために重要なことです。

注意

推奨されない配線ハーネスの使用は車両電気システムの故障につながる恐れがあります。

警告

その他のトレーラーの使用は車両の損傷、または車両安定システムの適切な操作に支障がでてしまいます。トレーラーを牽引している際にクルーズ・コントロールを使用することは推奨されません。トレーラーの牽引は、重量が増えて荷重分布も異なるため、車両のハンドリング方法に影響します。

- 他の車両を追い越す場合はより時間と車間距離を必要とします。
- ブレーキに対してより長い距離をとってください。
- 前方車両との間により長い車間距離をとってください。
- ターンの前は減速し、通常異常に低速し、急ターンを避けま
- 過度の操縦では、転倒や転がり落ちるリスクが高まります。

他の車両に追い越されたり横切られた時に発生する横風と乱気流によってステアリングが影響され、トレーラーが揺れることがあります。この効果を最小限に抑えるために、一定の速度で運転し、急に曲がったりブレーキを調整したりしないでください。

カーブを曲がる前に減速します。

コーナリングの時は、より大きな半径をとってターンしてください。トレーラーを付けてターンする場合は、より大きなスペースを必要とします。

トレーラーを付けたまま後退しなくてはならない状況を防ぐために、先読みしながら運転します。

後退する時は、必ずゆっくり後退して
 ます。できるだけ他の人に指示し
 てもらいます。まず最初に空地で練習
 してください。必要とされる運転技
 術および実践演習を参照してくださ
 い。

できれば、急ターン、捻じ曲がり、
 ターンや急ブレーキを避けてくださ
 い。これはトレーラーが折り曲がり
 たり、転倒してしまう恐れがありま
 ます。空のトレーラーはよ簡単にバ
 ランスが崩れます。加速する場合た
 は、過度のエンジン負荷を避けるこ
 とにより高いRPMでシフトするこ
 とは一般的な操作です。



1. 18 kg (40 lb)
2. 182 kg (400 lb)

トレーラーに荷物が積み込まれた場
 合、接合部に負荷がかかり、ま
 ず、車両に接合部の重量を測定す
 る必要があります。また、積荷の重
 量を再配分し、接合部の重量が過
 剰にならないように注意してください。
 トレーラーの後部には、積荷の重
 量を再配分し、接合部の重量が過
 剰にならないように注意してください。
 トレーラーの後部には、積荷の重
 量を再配分し、接合部の重量が過
 剰にならないように注意してください。

注意

後輪をスピンすることは避けてく
 ださい。石や砂利がトレーラーに
 かかってしまい、損傷させてしま
 う恐れがあります。

積載重量制限

警告

転倒のリスクが高まるため、ト
 レーラー・カバーに荷物を絶対に
 乗せないでください。すべての荷
 物はトレーラー内に保管します。

積載重量制限は適切な牽引機器で確
 認する必要があります。

牽引仕様	
トレーラーの接合部へ の最大重量	18 kg (40 lb)
最大牽引重量(トレー ラーおよびカーゴ)	182 kg (400 lb)

注記：
 トレーラーの最大積載量について
 は、Can-am Freedomトレーラーオペ
 レーターズガイドを参照してくださ
 い。

警告

最大牽引重量を超えてしまうと、
 車両のハンドリングおよび効率に
 深刻な影響を及ぼします。トレー
 ラーの牽引により、車両のハンド
 リング、安定性、加速および制動
 距離が影響されます。正しい積載
 および重量配分が重要です。絶対
 に不適切に過負荷、牽引または荷
 物を積んだりしないでください。
 車両を操作する前に荷物がトレ
 ーラーに適切に配布され、安全に
 固定されていることを必ず確認し
 てください。より高い重心からの影
 響を低減させるために、できる限
 り積荷を必ず固定します。ここ
 に記載されている推奨事項に従わ
 ないと、車両のハンドリングが影
 響され、車両のコントロールを失
 いかねません。

注意

最大牽引重量を超えてしまうと車両またはトレーラーを損傷しかねません。車両を損傷しかねない、鋭角の重い部品を運ぶのは避けてください。トレーラーが牽引されている際に荷物が動かないように配置してください。

ヒッチ

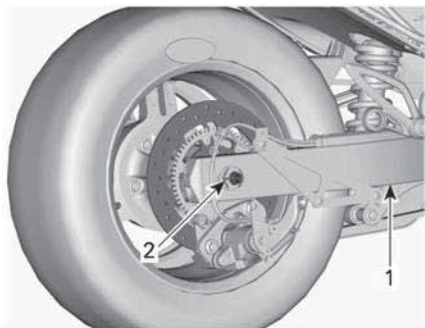
BRP製のヒッチまたはBRPに承認された同等品のみ使用してください。BRPヒッチは車両のスイングアームに適切に適合し、車軸にしっかりボルトで固定します。

注意

推奨されていないヒッチを使うと、リアスイングアームの故障につながりかねません。

警告

車両からヒッチを取り外した後は、必ず車軸ナットを固定するために新しいコッターピンを取り付けます。



代表例 - わかりやすくするため、ホイールアックスキャップとマフラーは表示されていません

1. スイングアーム
2. 新しいコッターピンはここに取り付けます

安全ケーブル

トレーラーを牽引する場合は必ず安全ケーブルを使用します。トレーラーおよびヒッチに固定し、接合部の下を通るようにします。トレーラーがコーナーを曲がれるようにケーブルがある程度たるむようにします。トレーラーと車両が直線で結ばれている時は、チェーンが地面に接触しないようにします。

知識セルフテスト

以下の質問は、本ガイドで習った情報の復習です。これにはすべての情報は含まれませんが、車両および操作に関する一般的な理解を得ているか知ることができます。

質問ページの次のページの 解答 (102ページ) 答えを参照してください。

質問

- 急停止する場合は、ブレーキとパーキングブレーキを作動させる。
正しい 間違いである
- 走行前の点検は一週間に一回は行うべきだ。
正しい 間違いである
- VSSはどの天候でも車両を使用できるようにする。
正しい 間違いである
- タイヤを交換する場合は、認定Can-Am On-Roadディーラーから入手したBRP認定のタイヤのみ使用するべきだ。
正しい 間違いである
- 同乗者が集中でき、完全に酔いが醒めている状態であることが重要だ。
正しい 間違いである
- 傷害の危険を低減させる保護具を六つ挙げてください。
1) _____
2) _____
3) _____
4) _____
5) _____
6) _____
- 保護具は、傷害を防ぎ軽減させ、快適さを保ち、気象要素からみを守るために欠かせません。
正しい 間違いである

8. 以下のなかで車両をコントロールしないものを挙げてください。
- a. ハンドル
 - b. ねじれスロットル
 - c. フロント・ブレーキ・レバー
9. 視認性を高めるために昼間でもロービームのライトをONにし続けるべきだ。
- 正しい 間違いである
10. 通常は、車両を車線の中央に位置付けるべきだ。
- 正しい 間違いである
11. 通常のモーターサイクルとは異なり、ブレーキをかけながらターンすることを習慣にするべきだ。
- 正しい 間違いである
12. 通常の場合では、車間距離は最低_____であるべきだ。
- a. 1秒
 - b. 2秒
 - c. 3秒
13. 承認された容器に入っているにもかかわらず、ガソリンなどの引火性液体を車両上に載せたりストレージコンパートメントに入れたりして運んではならない。
- 正しい 間違いである
14. 他のドライバーから注目を得る5つの方法を挙げてください。
- 1) _____
 - 2) _____
 - 3) _____
 - 4) _____
 - 5) _____

15. 駆動伝達が良好ではない道路面でブレーキをかける場合は、車両のコントロールを維持するためにポンピング・ブレーキを行うべきだ。
- 正しい 間違いである
16. 車両の最大積載量には、ドライバー、同乗者、荷物およびすべてのアクセサリが含まれる。
- 正しい 間違いである
17. この車両はトレーラーを安全に牽引できる。
- 正しい 間違いである
18. 車両構成によって可能な場合、同乗者はドライバーにしっかりつかまった方がよい。
- 正しい 間違いである
19. 3輪トライクの運転は乗用車の運転と同じくらい安全だ。
- 正しい 間違いである
20. ABSは車輪をロックさせないでブレーキペダルを強く踏めるようにさせます。
- 正しい 間違いである

解答

1. 間違いである

急停止するには、ブレーキペダルのみ踏みます。車両が動いている間は決してパーキングブレーキを使用しないでください。

2. 間違いである

乗る前に必ず走行前の点検を行うべきです。

3. 間違いである

ハイドロプレーニング現象を起こすほど氷、雪、泥または水が道路を覆っている場合、VSSを用いても操作を維持することができません。低温が原因でタイヤの接地性が低下していたり、未舗装路を走行するときは、VSSの性能も低下する場合があります。

4. 正しい

5. 正しい

6. 1) ヘルメット

2) 目および顔の保護

3) 長袖のジャケット

4) グローブ

5) 長いパンツ

6) できれば丈が長い、つま先を覆ってるフットウェア

7. 正しい

8. c. フロント・ブレーキ・レバー

車両にはフロント・ブレーキ・レバーはありません。

9. 間違いである

昼間中はハイビームを使用するべきです。

10. 正しい

11. 間違いである

必要であればブレーキとターンを同時に行うこともできますが、通常はターンの前にブレーキをかけることが推奨されます。

12. b. 2秒

通常の状況では、車間距離は2秒以上とるべきです。

13. 正しい

14. 1) ライトおよびリフレクターが掃除されてあることを確認します。

2) 可能な限りハイビームを使います。

- 3) ウインカーを使います。
- 4) 減速する前にブレーキライトを点滅させます。
- 5) 必要に応じてハザードランプを使います。
- 6) クラクションを鳴らして他のドライバーに自らの存在を知らせます。
- 7) 死角の中で運転するのは避けます。
- 8) 明るい色および蛍光衣類を着用します。

15. 間違いである

ポンピング・ブレーキではなく、ブレーキ・ペダルを踏み続けるべきです。車両には、車輪のロックを防ぐABSが搭載されています。

16. 正しい

17. 間違いである

18. 間違いである

同乗者は必ず取っ手につかまるべきです。

19. 間違いである

乗用車およびトラックでは、車の構造が身を守ります。さらに、同乗者はシートベルトを着用することでさらに身を守ることができます。3輪トライクの運転は、乗用車の運転よりもはるかに危険であると考えべきです。負傷するリスクはバイクの場合と同じです。

20. 正しい

車両の安全情報

この車両には、重要な安全情報が記載されている下げ札およびラベルが付いています。

この車両に乗る人は必ずこの情報をよく読み理解した上で乗ってください。

注記：

このガイドおよび車体にいかなる不一致がある場合、車体の安全性ラベルはこのガイドのラベルより優先されます。

下げ札

⚠ 警告。 運転、整備、同乗者の擁護を行うなかで、本車両は米国カリフォルニア州政府が規制する、発がん性や先天性障害または生殖毒性を引き起こすことが知られている排気ガスに含まれる化学物質に運転者をさらす危険性があります。

そのような可能性を最小限に抑えるために、必要時以外はエンジンのアイドリングをせず、通気性のよい場所で整備を行い、整備時はグローブを着用するか頻繁に手を洗うようにしてください。

詳細は下記ホームページをご確認ください。

www.P65Warnings.ca.gov/products/passenger-vehicle



704906973

⚠ 警告

この Can-Am On-Road は特殊なタイプの車両です。特別なスキルと知識が必要になります。この製品の特殊性について理解してください。

オペレーターズガイドを読み、QR コードリンクからまたは Can-Am On-Road のウェブサイトにて安全講習ビデオをご覧ください。トレーニングコース（用意されている場合）を受講し、運転の練習を行って習熟したうえで、該当の免許を取得してください。乗車する前に安全カードを参照してください。



必ずヘルメットとライディングギアを着用してください。

このタイプの車両では、ライダーは自動車の運転者より高い道路上のリスクに曝されます。熟練した運転者であっても、他の車両に衝突されたり制御できない状態に陥る場合があります。この車両は、衝突事故において運転者を保護しません。

運転の限界と道路条件

車両の限界を超えた運転が行われた場合、車両安定システム (VSS) は制御不能、転倒、あるいは転落を防止することができません。さまざまな路面状態での車両の限界について理解してください。氷上、雪上、オフロードで運転しないでください。水たまりや水が流れている場所での運転は避けてください。このタイプの車両では、氷上でハイドロプレーニング現象が生じたり、砂利、泥、砂で覆われた路面上でスリップすることがあります。このような路面を走行しなければならぬ場合、速度を落としてください。

このハンタグは、車両の所有者によってのみ取り外すことができます。



704807713

⚠ WARNING

This Can-Am On-Road is a different type of vehicle - it requires special skills and knowledge. Learn how this product is different.

Read the operator's guide and watch the safety video using the QR code link or visit Can-Am On-Road web site.

Complete a training course (if available), **practice**, become proficient with the controls, and get a proper licence. **Refer** to the Safety Card before riding.



Always wear a helmet and riding gear.

With this type of vehicle, riders are exposed to more road risks than in a car. Even skilled operators can be struck by other vehicles or lose control. This vehicle will not protect you in a crash.

Handling limits and road conditions

The Vehicle Stability System (VSS) cannot stop you from losing control, flipping over, or falling off if you exceed this vehicle's limits. Know the limits for different road conditions. Do not ride on ice, snow, or off road. Avoid puddles and running water. This type of vehicle can hydroplane on water and slip on gravel, dirt and sand covered roads. If you must go through these road conditions, slow down.

This hangtag may only be removed by the customer.

安全カード

安全カードは左側の横サービスカバーの下にあります。運転する前に、左側の横サービスカバーを取り外し、サービスカバーが元の位置に固定されていることを確かめてください。

重要情報を確認するために、そして新しいドライバーや同乗者に車両の乗り方を教える時に安全カードをご参照ください。これには頻繁に参照される情報も記載されています。



1. 安全カード

警告

このCan-Am On-Roadは特殊なタイプの車両です。
特別なスキルと知識が必要になります。

この製品の特殊性について理解してください。オペレーターズガイドを読み、QRコードリンクからまたはCan-Am On-Roadのウェブサイトにて安全講習ビデオをご覧ください。トレーニングコース（用意されている場合）を受講し、運転の練習を行って習熟したうえで、該当の免許を取得してください。

車両の限界を超えた運転が行われた場合、車両安定システム（VSS）は制御不能、転倒、あるいは転落を防止することはできません。
氷上、雪上、オフロードで運転しないで下さい。
水たまりや水が流れている場所での運転は避けてください。このタイプの車両では、水上でハイドロプレーニング現象が生じたり、砂利、泥、砂で覆われた路面上でスリップすることがあります。このような路面を走行しなければならない場合、速度を落とすしてください。

ヘルメットとライディングギアを着用してください。
このタイプの車両では、ライダーは自動車の運転者より高い道路上のリスクに曝されます。熟練した運転者であっても、他の車両に衝突されたり制御できない状態に陥る場合があります。この車両は、衝突事故において運転者を保護しません。

同乗者にお伝えください。

- 必ずグリップを持ち、足をベグの上の置いてください。
- 道路を注意して見てください。カーブの方向に体を傾け、道路の隆起部ではしっかりつかまってください。

常に以下のことを心がけてください。

- フットペダルを離れてブレーキをかけてください。
- 曲がる方向にハンドルを切ってください（逆ハンドルを切らないでください）。
- すべての車輪を車線内に維持して必ず1つの車線内を走行してください。
- 車列の間をすり抜けて走行しないでください
- 走行前点検を行ってください。
- スターターを有効にするにはモードボタンを押してください。

704907545_JA

特許情報 : www.brp.com/en/about-brp/patents.html

安全ラベル

これらのラベルは、オペレーター、同乗者（2つまで）または周囲の人々の安全性のために船体に貼付されています。

以下のラベルは車両に付いており、車両の一部として扱ってください。ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに交換してください。認定 Can-Am On-Roadディーラーまでお問い合わせください。

注記：

このガイドおよび車体にいかなる不一致がある場合、車体の安全性ラベルはこのガイドのラベルより優先されます。

タイヤ圧力と最大荷重

フロントストレージコンパートメント内に配置

リミテッド
モデル



タイヤと積載量の情報 / TIRE AND LOADING INFORMATION



乗車定員 / SEATING CAPACITY	合計	2	フロント FRONT	1	リア REAR	1
----------------------------	----	---	---------------	---	------------	---

乗員と荷物を足し合わせた重量が209 kgを超えないようにしてください
The combined weight of occupants and cargo should never exceed 209 kg

タイヤ / TIRE	サイズ / SIZE	冷間時のタイヤ空気圧 / COLD TIRE PRESSURE	リムサイズ / RIM SIZE
フロント / FRONT	MC165/55R15 55H	103 kPa	15 x 5 in
リア / REAR	MC225/50R15 76H	193 kPa	15 x 7 in
スペア / SPARE	なし / NONE	なし / NONE	なし / NONE



F3-LTD-8734_JA

その他の全
モデル



TIRE AND LOADING INFORMATION / タイヤと積載量の情報

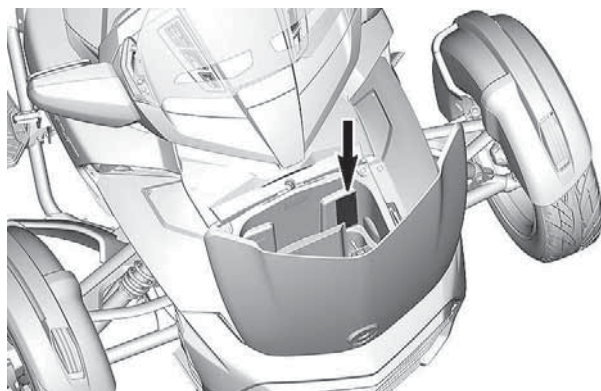
SEATING CAPACITY / 乗車定員	TOTAL 合計	2	FRONT フロント	1	REAR リア	1
----------------------------	-------------	---	---------------	---	------------	---

The combined weight of occupants and cargo should never exceed 199 kg or 438 lb
乗員と荷物を足し合わせた重量が次の重量を超えないようにしてください。199 kg または 438 lb

TIRE / タイヤ	SIZE / サイズ	COLD TIRE PRESSURE / 冷間時のタイヤ空気圧	RIM SIZE / リムサイズ
FRONT/フロント	MC165/55R15 55H	103 kPa / 15 psi	15 x 5 in
REAR/リア	MC225/50R15 76H	193 kPa / 28 psi	15 x 7 in
SPARE / スペア	NONE / なし	NONE / なし	NONE / なし



F3-8592_JA



同乗者の運搬

同乗者シートの下 - 図はリミテッドモデルを示す

警告

重傷事故や死亡事故の危険性を低減するため、

- 車両に水平ハンドグリップが取り付けられていない場合は同乗者を乗せないでください。
- 走行中、同乗者は必ずこの同乗者用グリップにつかまってください。

6121



エンジンオイルレベルの点検

右側横サービスカバーの下に配置

注意

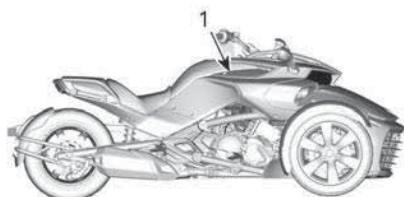
エンジンルーム内のエンジンオイル、および一部の部品が高温になっている場合があります。
直接触れると皮膚に火傷を負う可能性があります。

エンジンオイルレベルのチェック：

- エンジンが動作温度であることを確認します。
- 手順については、オペレータズガイドを参照してください。
- 15 km (9マイル) 以上走行します。
- その後、Can-Am Spyderを水平面上に駐車してください。
- 10分間ほどアイドリングさせます。
- エンジンを止めます。
- エンジン停止後2分以内に測定してください。
- オイルレベルを確認する前に、オイルゲージを完全にねじ込んでください。
- XPS 4ストローク5W40合成ブレンドオイルまたは同等のモーターサイクル用オイルを使用してください。



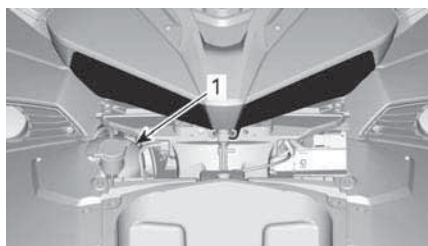
8335_JA



1. エンジンオイルレベル点検のラベル位置

クーラント高温 - 開けないでください

フロントサービスカバー下に配置



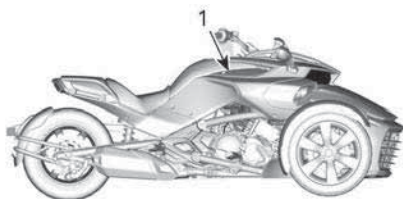
1. クーラント・リザーバ・キャップ

ブレーキオイル - 清掃と充填

右側横サービスカバーの下に配置

警告

除去する前に、燃料タンクキャップを
きれいにしてください。
密閉容器に入っている DOT4 の
ブレーキ液のみを
使用してください。 704903119



1. ブレーキオイルのラベル位置

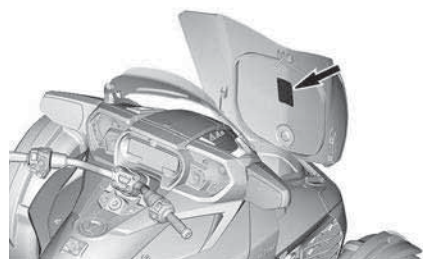
車両クリーニング

フロントサービスコンパートメントカバーの裏側内部に配置

通知

- マット仕上げ塗料が、その外観を維持するために特別な注意が必要です。オペレーターズガイドをご参照下さい。
- クロームホイールは水と中性洗剤で洗ってください。クロームホイールは、磨いたり、酸性または研磨剤を含むクロームクリーナーを使用しないでください。
- フロントガラスの損傷を防ぐには、フロントガラスをアルカリまたは酸洗剤、ガンリンまたは溶剤で清掃しないでください。オペレーターズガイドをご参照下さい。

704904936_JA



上部ストレージコンパートメントの積載量

トップストレージコンパートメントカバーの裏側内部に配置

警告

積載重量制限を超えないでください:

トップラックなし
最大ケース積載量9 kg

トップラックあり
最大ケース + トップラック積載量6.8 kg

5964_JA



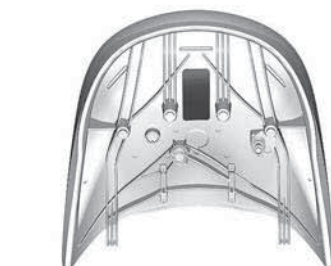
リアサスペンション圧力

同乗者シートの下に配置 - Tおよびリミテッドモデル

警告

最低圧力 70 kPa / 10 Psi / 0.7 bar
推奨圧力 70 kPa / 10 Psi / 0.70 bar を超えないようにしてください。

積載量	(同乗者 + 貨物) Kg				5966
	0	45	70	90	
Kg					
70	105/15/1.05	240/35/2.40	380/55/3.80	415/60/4.15	515/75/5.15
90	205/30/2.05	345/50/3.45	415/60/4.15	480/70/4.80	
115	275/40/2.75	415/60/4.15	480/70/4.80		



サイドストレージコンパートメントの積載量

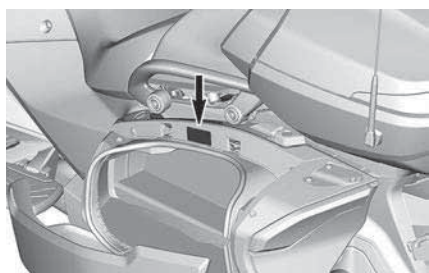
各サイドコンパートメントカバー内に配置

警告

積載重量制限を超えないでください

6,8 kg
積載重量制限

5122A_JA



フロントストレージコンパートメントの積載量

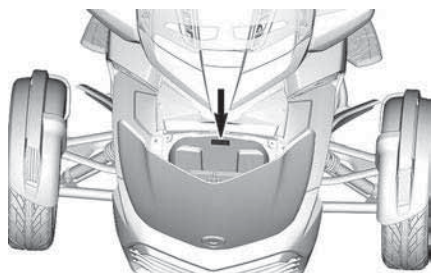
フロントストレージコンパートメント内に配置

警告

積載重量制限を超えないでください

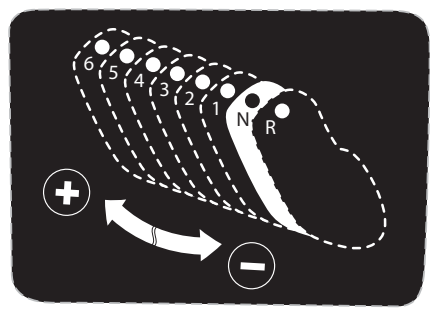
6,8 kg
積載重量制限

5122A_JA



シフトパターン (日本向けモデル)

このラベルはディーラーが取り付けます。



安全面での欠陥の報告

あなたの安全はBombardier Recreational Products Inc. (BRP)にとって非常に重要です。質問がありましたら、即時にBRPの顧客サービスまでお問い合わせください。

衝突、傷害または死亡を招きかねない車両の欠陥を発見した場合は、Bombardier Recreational Products Inc.に加え下記の機関にご連絡ください。

- 米国の場合：米国運輸省道路交通安全局（NHTSA）
- カナダの場合：カナダ運輸省
- その他の国：関係機関

これらのいずれかの機関が、ドライバーから同様の苦情を受理した場合、調査を開始する場合があります。特定の車両に安全面における欠陥を見つけた場合は、製品回収と是正キャンペーンを実施する場合があります。

ただし、これらの機関はお客様と、お客様のディーラーまたはBombardier Recreational Products Inc.の間に生じた個人的な問題に関わることはできません。

NHTSAの連絡先:



888-327-4236



1 800-424-9153



米国運輸省道路交通安全局
1200 New Jersey Avenue, SE
Washington, DC 20590



www.safercar.gov

カナダ運輸省窓口：



819-994-3328 (ガティノー-オタワ地域または国際電話)
無料電話：1 800-333-0510 (カナダ)



Transport Canada - ASFAD
330 Sparks Street
Ottawa, ON
K1A 0N5



<https://www.tc.gc.ca/recalls>

空白ページ

走行前点検

走行前のチェックリスト

車両の「12ヶ月安全点検」を受けていただくことをお勧めします。詳細については最寄りのディーラーまでご連絡ください。可能な限り、BRP On-Road正規ディーラーでシーズン前点検を受けていただくようお願いいたします。BRP正規ディーラーで定期的に保守を受けていただければ、保証キャンペーンなどをいち早くお伝えすることができます。安全に関するサービスキャンペーンのお知らせが届いた場合は、できるだけ早くBRP On-Road正規ディーラーにお問い合わせいただくようお願いいたします。

必ず横サービスカバーを元の位置にロックします。

⚠ 警告

毎回乗車前に、操作中に発生する可能性がある問題を検出するために乗車前の点検を実施します。乗車前の点検により、問題になる前に磨耗や劣化を監視できます。発見した問題に対処して、故障または事故のリスクを低減します。必要に応じて認定Can-Am On-Roadディーラーまでお問い合わせください。

車両始動前の点検内容

項目	手順	✓
タイヤ	損傷がないか点検。タイヤの空気圧およびトレッドの消耗を点検。メンテナンスの手順を参照してください。	
車輪およびラグナット	損傷がないか点検。手動で各前輪のラグナットをひねって緩くないか確認します。後輪車軸ナットが適切な場所にあるか確認します。	
駆動ベルト	ほつれ、切り傷、刺し傷および歯が失われていない確認。アラインメントを確認。詳細については、メンテナンスの手順を参照してください。	
漏れ:	車両の下に漏れがないか確認。	
全ストレージコンパートメントカバー	引っ張って、掛け金がしっかりかかっているか確認します。	
ミラー	清掃および調整：(装備のセクションのミラーを参照してください。)	
ブレーキペダル	押してしっかり抵抗力があるか確認します。リリースするとペダルが完全に戻らなければなりません。	
スロットルハンドル	数回ひねります。自由に動き、リリース後にアイドルリング・ポジションに戻ることを確認。	
ギアシフト・セレクター	ギアシフトセレクターが両方向に対して正常に操作でき、リリース後に中央に戻るか確認します。	

項目	手順	✓
重量	車両総重量（ドライバー、同乗者、荷物および付属のアクセサリーを含む）がタイヤ圧と最大荷重のセクションに示されている推奨荷重を超えていないことを確認します。	
空圧式サスペンション（Tモデル）	空気圧を点検します。基本手順を参照してください。	

イグニッション・キーをONのポジションに入れます：

項目	手順	✓
多機能ゲージ	ゲージ、インジケーター、メッセージおよび燃料レベルを確認します。	
ライト	ヘッドライト、テールライト、ブレーキライト、ウインカーおよびハザード警告ライトの操作を確認します。	
Horn（ホーン）	作動を点検。	
ステアリング	エンジンをスタートし、ステアリングが自由に動くか確認します。	
エンジンストップスイッチ	エンジン・ストップ・スイッチが正常であるか確認します。	
パーキングブレーキ	エンジンをスタートし、パーキングブレーキをリリースし、多機能ゲージでブレーキ・インジケーター・ランプがオフになっていることを確認します。	
ブレーキ	ゆっくり近距離を運転し、ブレーキをかけてテストします。	

空白ページ

メンテナンス

メンテナンスのスケジュール

車両を安全な作動状態に保つために、メンテナンスが非常に重要です。

適切なメンテナンスを行うことは、オーナーの責任です。オーナーによる不適切なメンテナンスや使用が原因で問題が起こった場合などは、保証請求が拒否されることもあります。

定期的な点検を実施し、メンテナンスのスケジュールを守ってください。スケジュールどおりにメンテナンスを行っていても、**始業点検は必要です。**

最初のメンテナンスの手順として故障コードを確認することは良い習慣であり、強く推奨します。

⚠ 警告

メンテナンスのスケジュールや手順に従って適切に車両を維持しないと、安全な作動を損ねます。

EPA規制 - カナダおよび米国向け車両

修理工場、または所有者任意の個人が、排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理を実施できます。これらの手順には、BRPまたは認定Can-Am On-Roadディーラーによるサービスやコンポーネントは必要ありません。

認定Can-Am On-Roadディーラーは、車両のサービスに関する高度な知識とツールを有していますが、排出ガス関連保証は、認定Can-Am On-RoadディーラーまたはBRPと取引のある工場の使用を条件としていません。

適切なメンテナンスを行うことは、オーナーの責任です。オーナーによる不適切なメンテナンスや使用が原因で問題が起こった場合などは、保証請求が拒否されることもあります。

排出ガス関連保証の請求では、BRPは排出ガス関連部品の診断と修理を認定Can-Am On-Roadディーラーに制限しています。詳細は、保証のセクションに記載された米国EPA排出ガス性能保証を参照してください。

本書の給油セクションに記載されている燃料に関する要件の指示に従ってください。エタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンが広く販売されている場合でも、米国EPAはエタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンの使用を禁止しています。これは、この車両にも適用されています。このエンジンに、エタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンを使用すると、排出ガス制御システムを損傷する恐れがあります。

初期点検 - 5,000 km (3,000 mi)

走行前の点検に記載されているすべての項目を実施してください。

エンジンオイルおよびオイルフィルターを交換します。

ブレーキ液のレベルを点検。

リバース機構の作動を確認します。

エンジンクーラントレベルを点検します。

コントロールスイッチの機能を点検します。

ドライブベルトの状態および張力を点検します。(認定Can-Am On-Roadディーラーが行います)

後輪車軸ナットの締め付けトルクを点検します。(認定Can-Am On-Roadディーラーが行います)

ブレーキパッドおよびディスクの状態を目視により点検します。

同乗者の取っ手の緩みを確認します。

フットレストの緩みを確認します。

車体パネルの緩みを点検します。

ストレージコンパートメントのラッチ、ヒンジおよびキーバレルの機能を点検します。必要に応じて清掃および潤滑を行います。

フロントグリルを取り外し、ラジエーターのエアダクトから異物を除去します。

1 500 km (1,000 mi) 走行ごと

オイルレベルを点検します。

15,000 km (9,300 mi) 走行ごと、または1年ごと (いずれか早い方)

走行前の点検に記載されているすべての項目を実施してください。

エンジンオイルおよびオイルフィルターを交換します。

ブレーキ液のレベルを点検。2年毎に交換します。

ブレーキ・ホースを確認します。

リバース機構の作動を確認します。

ラジエーター、ホースおよびウォーターポンプを点検します。

エンジンクーラントレベルを点検します。

冷却システムの圧力テストを行います。

コントロールのスイッチおよび同乗者用のスイッチの動作を確認します。

燃料ホース、燃料気化線およびキャニスターの状態を確認します。

15,000 km (9,300 mi) 走行ごと、または1年ごと (いずれか早い方)

バッテリー接続の締め具合を点検します。

ドライブベルトの状態とその張力を点検します (認定Can-Am On-Roadディーラーが行います)

エキゾーストパイプ、締め付けリング、つなぎ目およびガスケットの状態を確認し、締め付けます。

異常がないか、ステアリングを点検します。

タイロッドの状態を点検。

漏れやその他の損傷がないか緩衝器を点検します。

後輪車軸ナットの締め付けトルクを点検します。 (認定Can-Am On-Roadディーラーが行います)

ボールジョイント状態を点検します。

前輪および後輪のベアリング状態を点検します。

ブレーキパッドおよびディスクの状態を点検します。

同乗者の取っ手の緩みを確認します。

フットレストの緩みを確認します。

車体パネルの緩みを点検します。

ストレージコンパートメントのラッチ、ヒンジおよびキーバレルの動作を点検します。

フロントグリルを取り外し、ラジエータのエアダクトから異物を除去します。

すべてのキーバレルを2滴のXPSストレージオイルで潤滑します。

30 000 km (19,000 mi) 走行ごと

エアフィルターおよびエアフィルターハウジングを取り換えます。

45 000 km (28,000 mi) 走行ごと

燃料フィルターを交換します(または5年ごとに)。

油圧制御モジュール (HCM) のオイルフィルターを取り替えます。

キャニスターの前置フィルターを交換します。

エンジン・クーラントを交換します(または5年ごとに)。

スパークプラグを交換します。

フロント・サスペンション・アームのラバースシュを確認します。

最初の点検

最初の5,000 km (3,000 mi) 走行後に、認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店または担当整備士による車両の点検を受けるよう推奨します。このメンテナンスは非常に重要であり、怠ってはなりません。

注記：

この初期点検は車両のオーナーの費用負担で行われるものです。

初期点検を行った認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、または担当整備士に署名してもらうことを推奨します。

点検日

認定Can-Am On-Roadディーラー、
修理店、または担当整備士の署名

認定Can-Am On-Roadディーラー、
修理店、または担当整備士の名前

メンテナンスの手順

このセクションでは、基本的なメンテナンスの手順を説明します。

メンテナンス手順には複雑なものもあるため、優れた機械技術が必要になります。

いくつかの手順は、認定 Can-Am On-Road デイラー、修理店または担当整備士が実施しなければなりません。

機械技術に自信がない場合は、認定 Can-Am On-Road デイラー、修理店または担当整備士に遠慮なくご相談ください。

警告

メンテナンスを行う場合は、まずエンジンを止めて、以下のメンテナンス手順に従ってください。適切なメンテナンス手順を守らないと、高温の部品、稼動部分、電気的、化学的あるいはその他の危険により負傷する恐れがあります。

エンジンオイル

推奨エンジンオイル

同等のオイルがエンジン、ギヤボックス、クラッチおよび油圧制御モジュール (HCM) に使用されています。

Rotax® エンジンは、XPS™ オイルを使用して開発と検証が行われました。

BRP では、XPS エンジンオイルまたは同等の使用を常に推奨しています。

注意

推奨エンジンオイルには何も添加しないでください。

エンジンに適していないオイルの使用や添加剤を加えたことを原因とする損傷については、BRP の限定保証の対象にならない場合があります。

XPS 推奨エンジンオイル

4T 5W40 合成ブレンドオイル

推奨の XPS 製品が入手できない場合

次の潤滑油業界仕様を満足するかそれを超える 5W40 4 ストローク用 SAE 合成エンジンオイルを使用します：
API サービス分類 SJ、SL、SM、または SN
オイルの容器に貼付されている API サービスラベルの分類を必ず確認し、上記のいずれかの分類が含まれていることを確認します。

エンジンオイルレベルの確認

注意

オイルレベルが不適切なまま使用を続けると、エンジンに重大な損傷を与える可能性があります。この手順に従って、エンジンオイルレベルを正確に読み取ってください。

エンジンオイルのレベルを検証するには、エンジンは通常の運転温度でなければなりません。

注意

冷たいエンジンでオイルのレベルを調整すると過剰に補給してしまいます。

1. 15 km (9 mi) 以上運転します。
2. 車両を平面に駐車して、パーキングブレーキをかけます。
3. エンジンを 10 分ほどアイドリングさせます。

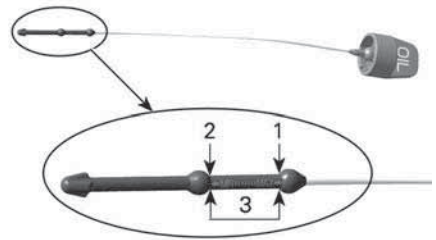
警告

排気ガスには、密閉された場所または換気の悪いエリアで迅速に充填する有毒な一酸化炭素が含まれています。排気ガスを吸い込むと、重大な怪我や死亡の原因になることがあります。密封されていない、換気の良い場所でのみエンジンを始動してください。

注意

冷たいエンジンでオイルのレベルを調整すると過剰に補給してしまいます。

レベルが、上側のマークまたはその付近まで達していなければなりません。



1. 最大
2. 最小
3. 動作範囲、500 ml (17 fl oz(US))

下部マーク (MIN) と上部マーク (MAX) の間のオイルレベル :

1. オイルを追加しない。
2. オイルレベルゲージを適切に挿入して締め付けます。
3. 右側の横サービスカバーを取り付けます。

MIN マークより下のオイルレベルの調整 :

1. 推奨オイルを約 500 ml (17 fl oz (US)) 追加します。

注記 :

オイルレベルが MIN マークと MAX マークの間の際のオイル量は 500 ml (17 fl oz (US)) です。

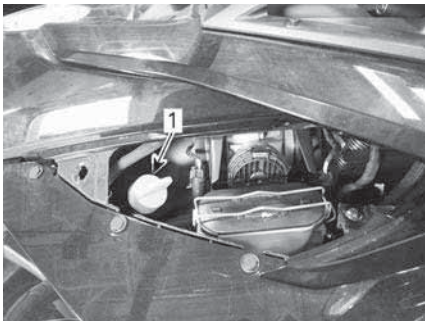
2. エンジンを再始動し、10分ほどアイドルさせます。

4. エンジンを止めます。

注記 :

エンジンオイルのレベルの検証は、エンジンを停止してから2分以内に行ってください。

5. 右側の横サービスカバーを取り外します。ボディパネルを参照してください。
6. オイルレベルゲージを取り外して引き抜きます。



代表的な例

1. オイルレベルゲージ
7. レベルゲージを拭き取ります。
8. オイルレベルゲージを再度挿入し、完全にねじ込みます。
9. オイルレベルゲージを再度緩めて取り外します。
10. オイルレベルゲージでエンジンオイルレベルを確認します。オイル

警告

排気ガスには、密閉された場所または換気の悪い工場で迅速に充填する有毒な一酸化炭素が含まれています。排気ガスを吸い込むと、重大な怪我や死亡事故の原因になることがあります。密封されていない、換気の良い場所でのみエンジンを始動してください。

注意

冷たいエンジンでオイルのレベルを調整すると過剰に補給してしまいます。

3. エンジンを停止させてください。
4. オイルのレベルを再点検します。

注記：
エンジンオイルのレベルの検証は、エンジンを停止してから2分以内に行ってください。

5. 上記ステップを繰り返して、オイルレベルがディップスティックの下部マークと上部マークの間に来るようにします。燃料を入れすぎはいけません。
6. オイルレベルゲージを適切に挿入して締め付けます。
7. 右側の横サービスカバーを取り付けます。

エンジンオイルとフィルターの交換

1. エンジン交換の前に、車両が平面上にあることを確認します。

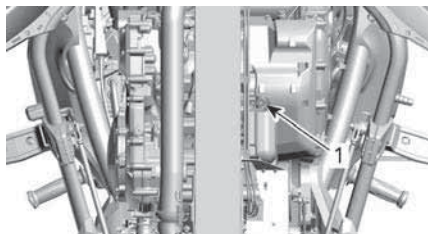
注意

エンジンオイルおよびエンジンオイルフィルターは同時に取り換えなければなりません。オイル交換はエンジンが温まっている状態で行う必要があります。

警告

エンジンオイルはとても熱くなります。

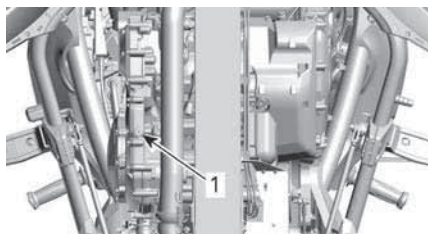
2. 次の右側ボディパネルを取り外し、ボディを参照してください。
 - 横サービスカバー
 - サイドパネル
3. オイルサンプカバー下のドレンプラグの周辺を清掃します。
4. オイルサンプカバー下に適切なドレインパンを配置します。
5. ドレンプラグを取り外し、シーリングワッシャーとO-リングを処分します。



代表的な例

1. ドレンプラグ

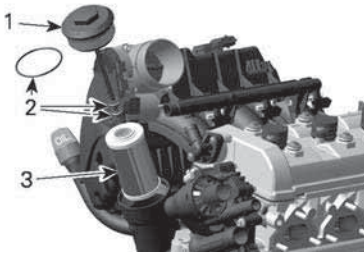
6. レベルゲージを取り外してください。
7. オイルが完全に排出されるまで待ちます。
8. クラッチカバーの磁気ドレンプラグの周辺を清掃します。
9. クラッチカバー下に適切なドレインパンを配置します。
10. 磁気オイルドレンプラグを取り外し、シーリングリングを処分します。



代表的な例

1. 磁気ドレンプラグ

11. オイルフィルターカバーを取り外し、そのO-リングを廃棄します。
12. オイルフィルターを取り外し、廃棄します。



1. オイルフィルターのカバー
 2. Oリング
 3. オイルフィルター
13. クラッチカバーからオイルが完全にドレインされるまで待ちます。
 14. オイルフィルターキャビティに汚れや汚染物がないか点検し、清掃します。
 15. ドレインプラグのマグネットを清掃します。
 16. 新しいシーリングワッシャおよびOリングを使い、両方のドレインプラグを取り付けます。

注意

ドレインプラグのシーリングワッシャおよびOリングは絶対に再使用しないでください。必ず新しいものと交換します。

17. 仕様通りにドレインプラグを締め付ける。

締め付けトルク

ドレインプラグ (オイルサンプカバー)	28 ± 2 Nm (21 ± 1 lbf-ft)
---------------------	--------------------------------

締め付けトルク

磁石付きドレインプラグ (クラッチカバー)	20 ± 2 Nm (15 ± 1 lbf-ft)
-----------------------	--------------------------------

18. 新しいエンジンオイルフィルターを挿入します。

19. 新品のOリングをオイルフィルターカバーに取り付けます。
20. オイルフィルターカバーを取り付け、規定通りに締め付けます。

締め付けトルク

オイルフィルターのカバー	25 ± 3 Nm (18 ± 2 lbf-ft)
--------------	--------------------------------

21. 推奨されているエンジンオイルをエンジンに適量注ぎます。
22. オイルレベルゲージを再度挿入し、完全にねじ込みます。
23. エンジンオイルのレベルを点検します。このセクションのエンジンオイルレベルの確認を参照してください。

注意

エンジン始動から5秒以内に油圧警告灯が消えることを確認してください。油圧警告灯が5秒以上にわたって点灯する場合、エンジンを停止してオイルレベルを再点検してください。

24. エンジンオイルフィルターカバー、磁石付きドレインプラグ (クラッチカバー) およびドレインプラグ (オイルサンプカバー) が漏れていないか確認します。
25. 取り外したすべてのボディパネルを再度取り付けます。
26. 現地の環境規制の基づいて使用済みオイルを処分してください。

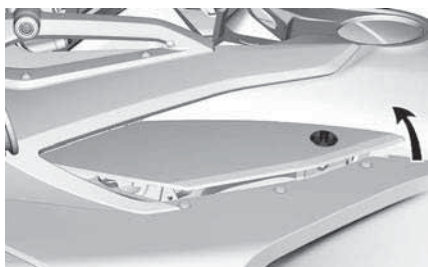
エアフィルター

エアフィルターの取り外し

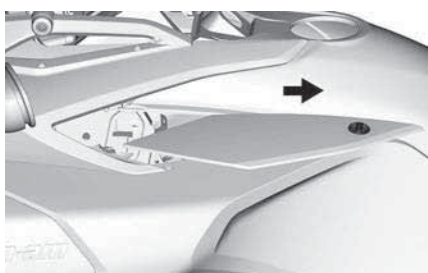
左サービスカバーを取り外します。必要に応じて、ボディパネル (43ページ) 機器の装備 (35ページ) ボディパネルを参照してください。



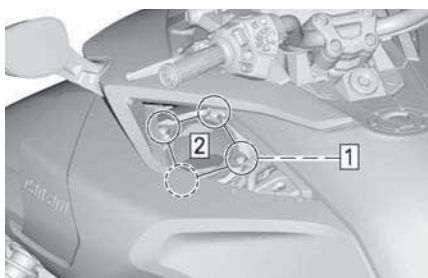
ロックを解除する



カバー後部を持ち上げます。

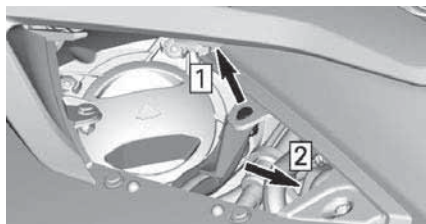


カバーを後方にスライドさせます



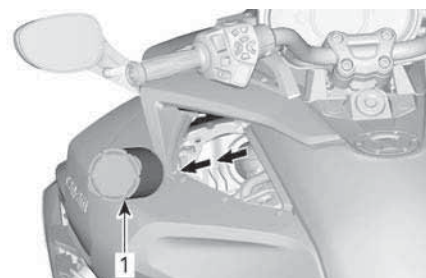
代表的な例

1. 4つのスクリューをすべて取り外します。
2. エアフィルターカバーを取り外します。



Tおよびリミテッドモデル

1. プラスチックリベットを取り外します
2. 電気ハーネスを外します



代表例 - エアインテークサイレンサーからの
エアフィルターの取り外し

1. エアフィルター

注意

エアインテークサイレンサーの清潔な部分に埃や異物が落ちないように、ゆっくりとエアフィルターを取り外してください。

エアフィルターの点検

エアフィルターの清潔さおよび損傷を確認します。

注意

ペーパーフィルターに圧縮エアを吹きつけることは推奨されていません。これは紙繊維を傷つけ、ほこりの多い環境ではろ過能力が低下してしまいます。

注意

ペーパーフィルターを洗浄液で洗浄しないでください。

注意

エアインテークサイレンサーを点検し、エンジンエアインレット（エアフィルターの奥）のきれいな側に吹き込まれたり落ちたりしないように気をつけながら、埃や異物を取り除きます。

注意

エアインテークサイレンサーのきれいな側の内側に落ちた、または移動した埃や異物を取り除いてください。埃を中に押し入れるのではなく引き出すように、清掃します。

メンテナンススケジュールと個々の使用状況（特に埃っぽい環境など）により、必要な場合はエアフィルターを交換します。

エアフィルターの取り付け

取り付けは取り外しと逆の順序で行います。しかし、次の点に注意を払ってください。

エアフィルターを取り付ける前に、エアフィルターを取り付けるリングの位置が正しいことを確認してください。

エアフィルターが正しく位置づけられたか確認します。

注記：

フィルターには、新しいフィルターを取り付けた日付と走行距離数を記録する場所があります。

エアフィルターカバーをエアインテークサイレンサー上にセットします。

対角線順にねじを締め付けます。

締め付けトルク

エアフィルターカバー取り付けスクリュー	3 ± 0.5 Nm (27 ± 4 lbf-in)
---------------------	-------------------------------

エンジン・クーラント

推奨エンジン冷却液

注意

内燃アルミニウムエンジン専用の腐食防止剤入りエチレングリコール不凍液を必ず使用してください。

不凍液の劣化を防ぐため、いつも同じブランドおよびグレードの不凍液を使ってください。冷却システムを完全に洗浄して入れ替える場合を除いて、ブランドまたはグレードの異なる不凍液を混ぜないでください。

XPS推奨クーラント

ロングライフプレミッククーラント

推奨のXPS製品が入手できない場合

内燃アルミニウムエンジン専用の低ケイ酸塩タイプのロングライフエチレングリコールプリミッククーラント（50%-50%）を使用してください。

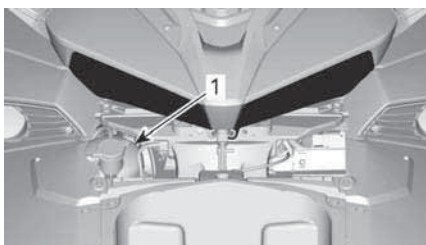
エンジン冷却液レベルの検証

エンジンが冷たい状態で、次のようにクーラントのレベルを確認します。

1. 車両をしっかりした平面上に停車します。
2. フロントストレージコンパートメントを開けます。
3. フロントサービスカバーを取り外します。ボディのセクションを参照してください。
4. 右側のクーラントレベルを確認します。クーラントはCOLDレベルのマーキングより多少上にある必要があります。

注記：

エンジンが熱い場合は、クーラントはHOTレベルのマーキングより下にある必要があります。

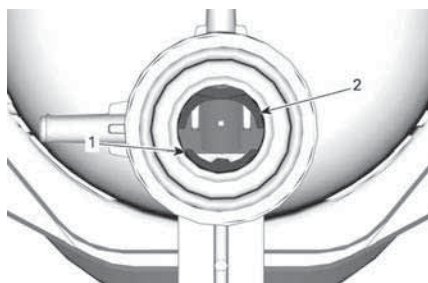


1. クーラント・リザーバ・キャップ

5. 必要であれば、リザーバ内のCOLDレベルのマーキングより少し上になるまでクーラントを継ぎ足します。こぼさないように、じょうごを使ってください。

燃料を入れすぎてはいけません。

6. クーラントがチューブに現れ始めたら、クーラントの継ぎ足しを止めます。



1. COLDクーラントレベルの基準線
2. HOTクーラントレベルの基準線

7. サービスカバーを再度取り付けます。

注記：

頻繁にクーラントの補充が必要な場合は、クーラント・システムが漏れているか、エンジンに問題があることを示しています。認定 Can-Am On-Road デイラーまでお問い合わせください。

ラジエーターファン

1. グリルに蓄積された破片を取り除きます。

注意

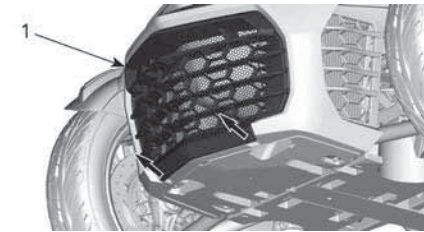
高圧洗浄器はラジエーター・フィンを損傷してしまいかねないため、使用しないでください。後方からの圧縮空気（後部から前部に向けて空気を吹き付け）のみで清掃してください。

2. ラジエーターにアクセスするには、フロントグリルを固定しているねじを取り外します。



フロントグリルのねじ

3. フロントグリルを引いて取り外します。

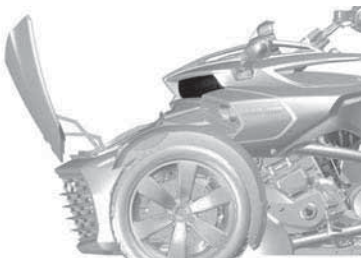


1. フロントグリル

バッテリー

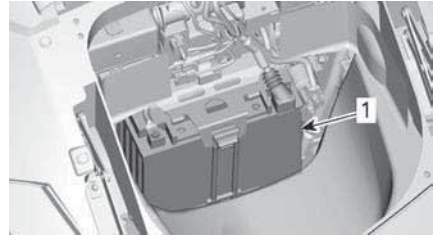
バッテリーの位置

バッテリーはフロントストレージコンパートメント内にあります。バッテリーにアクセスするには、フロントストレージ・コンパートメントを開けます。



代表例 - フロントストレージコンパートメントが開いた状態

バスケットを取り外します。



1. バッテリー

バッテリーの充電

車両には完全に密封されている、メンテナンス・フリーのバッテリーが搭載されています。電解液のレベルを調整するために水を足す必要はありません。車両が一ヶ月以上乗っていない場合は、バッテリーを充電する必要がある可能性があります。

バッテリーを交換する場合は、必ず Can-Am On-Road のディーラーにご相談ください。

⚠ 警告

従来の鉛蓄電池型電池は使用しないでください。従来の鉛蓄電池型電池では、バッテリー出口から酸が漏れ出す可能性があります。バッテリーのケースが割れたり損傷していたりすると、重傷の火傷を引き起こしかねない酸が漏れ出すことがあります。

バッテリーは車両に取り付けられたまま充電することもできます。

標準のバッテリーチャージャーを使用することもできます。推奨される充電率は2Aです。バッテリーが上がってしまった場合は、車のバッテリーでジャンプスタートさせることができます（道路脇での修理のセクションを参照してください）。

自宅で充電するときは、「細流」充電器を使ってバッテリーをより遅く充電することも可能です。この種類のチャージャーはバッテリーを損傷させないで長時間接続させることができます。チャージャーの説明書に

推奨されている充電時間に必ず従ってください。

注意

バッテリー・チャージャーに付随された指示に従ってください。不適切な充電はバッテリーを損傷してしまう恐れがあります。

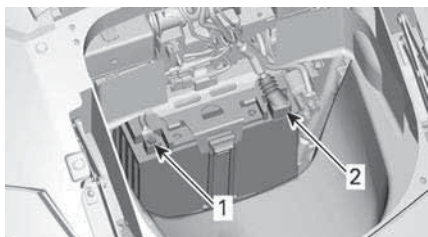
バッテリーを充電するには、以下の手順を踏んでください。

1. フロントストレージコンパートメントを開けます。
2. バスケットを取り外します。ポディパネルを参照してください。
3. まず、赤色 (+) ケーブルを該当する端子に接続します。

注意

車両の電気系統の損傷を防ぐために、必ず赤色 (+) ケーブルを最初に接続します。

4. 黒色 (-) ケーブルを該当する端子に接続します。



1. 黒色 (+) 端子
2. 赤色 (+) 端子

5. バッテリー・チャージャーを始動させます。充電時間は充電率によります。

バッテリーが充電されたら：

6. 最初に黒色 (-) ケーブルを外します。

注意

車両の電気系統の損傷を防ぐために、必ず黒色 (-) ケーブルを最初に外します。

7. そして赤色 (+) ケーブルを外します。
8. バスケットを戻し、フロントストレージコンパートメントを閉めます。

駆動ベルト

毎回乗る前にベルトのアラインメントおよび状態を目視点検してください。

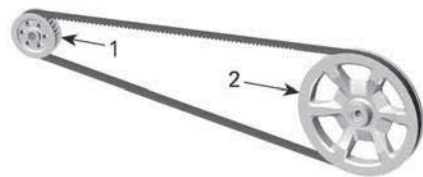
ベルトのアラインメントおよび偏向調整は、必ずメンテナンススケジュールに従って認定 Can-Am On-Road ディーラーにご依頼ください。

駆動ベルトのアラインメント

ベルトがスプロケットの外側をはみ出している場合は、できるだけ早く認定 Can-Am On-Road ディーラーにベルト位置を正しく直してもらってください。

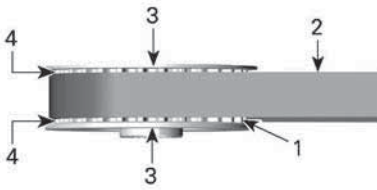
注記：

ベルトはフロントスプロケットのフランジに接触しないこと。



代表的な例

1. フロントスプロケット
2. リアスプロケット

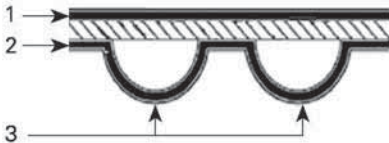


代表例 - フロント・スプロケット

1. フロント・スプロケットの歯
2. ベルト
3. スプロケットフランジ
4. フランジとベルト間の隙間

駆動ベルトの磨耗

車両をニュートラルにいい、エンジンOFFの状態、スペースが十分にある平らな表面で駆動ベルトを点検します。ベルトの全長を確認するには車両を前後に転がす必要があります。



駆動ベルトの表面

1. 外面
2. 歯側表面
3. 歯

次の状態がないか点検します。

磨耗状態	必要な対策
<p>良い状態</p>	なし
<p>細長い割れ目</p>	状態を監視する
<p>軽い切れ端</p>	状態を監視する

磨耗状態	必要な対策
<p>開かれた割れ目</p>	ベルトを交換する
<p>フックの磨耗</p>	ベルトを交換する
<p>歯が欠けている</p>	ベルトを交換する
<p>ベルトの織物が擦り切れていて、内部のコンポーネントを露出している</p>	ベルトを交換する
<p>石からの損傷</p>	ベルトを交換する

注記：

非常に細かい亀裂があってもすぐにベルトの交換を必要とするわけではありませんが、継続的に確認することを推奨します。後で亀裂が開いたり、歯の欠損を招いてベルトの交換をしなければならなくなる場合があります。ベルト中央の損傷はやがてベルトの交換を必要としますが、割れ目がベルトの端まで行き渡ってしまった場合、ベルト不良は差し迫ります。

駆動ベルトを交換する場合、スプロケットも交換し、新しい駆動ベルトの寿命を延ばします。

駆動ベルトの張力

走行中、ベルトから振動を感じたり音が聞こえたり、またはベルトのスプロケット歯が飛んでいる場合は、

認定 Can-Am On-Road デイラーにできるだけ早くベルトの張力を調整してもらってください。慣らし期間（最初の 1,000 km (600 mi)）は、特に注意してください。

車輪およびタイヤ

⚠ 警告

推奨されていない種類のタイヤ、損傷したり磨り減っているタイヤ、最低トレッドウエアインジケータより幅が低いタイヤ、または適切に膨らまされていないタイヤの使用は、コントロールを失う恐れがあります。新しいタイヤは、慣らし運転が完了しないと最大効率が発揮されません。ブレーキ、ステアリングおよび VSS の効率が低減される場合があるため、注意を余分に払ってください。タイヤを慣らすには、頻繁にブレーキを使用して約 300 km (200 mi) の走行が必要です。ブレーキをそれほど使わない場合、タイヤの慣らし時間を多めに見積もってください。

タイヤはこの車両のために特別に設計されています。認定 Can-Am On-Road デイラーのみで販売されている BRP の推奨ラジアルタイヤだけを使用してください。

リアタイヤを取り外したり交換した後は、次の行動を取ります。

- リア・スプロケット・ベアリングを確認し、掃除します。損傷または破損している場合は、交換します。
- 後輪車軸受を確認し、掃除します。損傷または破損している場合は、交換します。
- 後輪車軸のベアリング・シールを交換して潤滑します。
- 後輪車軸の Oリングを交換して潤滑します。
- 後輪車軸の耐摩耗性スリーブを確認し、掃除します。損傷または破損している場合は、交換します。

後輪を取り外したり交換した後は、次の行動を取ります。

- 後輪のナットを交換します。
- 後輪車軸のベアリング・シールを交換して潤滑します。
- 後輪車軸の Oリングを交換して潤滑します。
- ゴムダンパの状態を確認します。損傷または破損している場合は、交換します。

タイヤ空気圧

タイヤの最適な性能や摩耗特性を得るために、推奨されている冷間時の膨張圧を用いてください。過小または過剰な膨張は、トレッドの不均一な摩耗パターンを生じさせます。

推奨タイヤ圧は、右側サービスカバーの内側にあるタイヤラベルにあります。

天候による温度変化が生じると、膨張圧も変化します。6°C の気温低下は、1 psi の膨張圧低下に相当します。タイヤ圧は頻繁に確認し、適切な圧力になるよう調整してください。

注記：

左右のタイヤの圧力差が 3.4 kPa (0.5 lbf/in²) を超えないようにしてください。

タイヤの損傷

次の損傷がないかすべてのタイヤを点検します。

- タイヤの切り傷、切り込みおよび亀裂。
- タイヤの側面またはトレッドのどこぼこまたは膨らみ。
- タイヤの側面またはトレッドに釘やその他の異物が刺さっている。
- 合わないリム、または不良タイヤバルブによる空気漏れ（シートという音）。

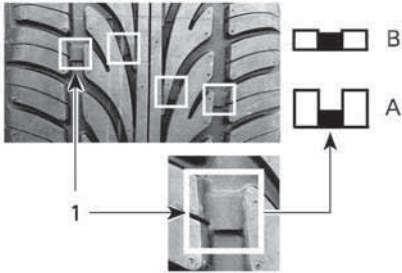
上記のいずれかが発生した場合は、認定 Can-Am On-Road デイラーによってできるだけ早くタイヤを修理または交換してもらってください。

タイヤのトレッドの磨耗

トレッド磨耗インジケーター（以下の図の1に示されている通り、トレッドのベースに成形されている硬いゴムバー）を使ってタイヤ溝の最小深さを確認します。タイヤトレッドの次の3つの位置で点検します。

- 外縁
- 中央
- 内側エッジ。

トレッド磨耗インジケーターは最小タイヤ溝深さに達したトレッドに現れます。トレッドにトレッド磨耗インジケーターが最低でも1つ現れている場合、タイヤをできる限り早く認定 Can-Am On-Road デイラーに交換してもらってください。



タイヤのトレッドの磨耗

1. トレッド磨耗制限インジケーター

1. 適切な溝深さ
2. 最小タイヤ溝深さ。タイヤを交換します。

車両の運転の仕方および道路状況によって、タイヤは一樣でない磨耗をしていることは一般的にあります。車両がスムーズまたは積極的に運転されたかによって、前輪の外縁および内縁、そして後輪の中央スレッドは不規則に磨耗します。

タイヤのローテーション

トレッド溝の深さが 4 mm (5/32 in) になったら、フロントタイヤのローテーションを行ってください。これはタイヤの寿命を最大限に引き伸ばします。

警告

タイヤは一方方向のみ回るために設計されています。左右の前輪を入れ替えないこと。タイヤをローテーションするにはタイヤを車輪から取り外す必要があります。タイヤが間違った側に取り付けられると、静止摩擦が減り、コントロールを失う危険があります。

注意

車輪およびブレーキキャリパーの間に指が挟まれる恐れがあるため、車輪のスピン中は前輪スポークを手で持たないでください。

タイヤ登録用紙

タイヤがリコールされた場合は、氏名と住所を登録されたお客様にしかご連絡をさしあげることができません。車両メーカーとして、BRPは車両識別番号（VIN）（車両の識別を参照）に関連するタイヤ識別番号（TIN）、および現在の所有者の情報の記録を保管しています。

車両のタイヤを交換する場合は、「タイヤ登録用紙」にご記入いただき、タイヤメーカーのお客様サービスグループに提出する必要があります。「タイヤ登録用紙」は認定 Can-Am On-Road デイラーでお求めいただけます。

ブレーキ

警告

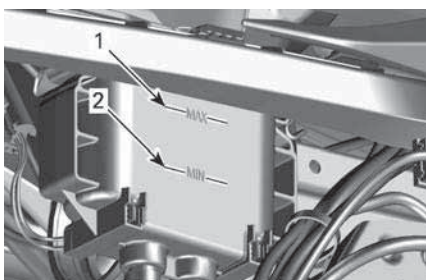
新しいブレーキは、慣らし運転が完了しないと最大効率で作動しません。ブレーキの効率が最適な場合があるため、注意を余分に払ってください。ブレーキを慣らすには、頻繁にブレーキを使用して約 300 km (200 mi) の走行が必要です。ブレーキをそれほど使わない場合、ブレーキの慣らし時間を多めに見積もってください。

ブレーキオイルレベルの確認

密閉容器に入っているDOT 4ブレーキ液のみを使用してください。

次のようにブレーキ液のレベルを点検します。

1. 車両をしっかりと平面上に停車します。
2. 右側の横サービスカバーとサイドパネルを取り外します。ボディパネルを参照してください。
3. リザーバーのブレーキオイルレベルを点検します。両方がMIN.マーク以上のレベルに達している必要があります。



1. ブレーキ液MAX.レベルのマーク
2. ブレーキ液MIN.レベルのマーク

4. 必要に応じて、液を追加してください。ブレーキ液の継ぎ足しを参照してください。

⚠ 注意

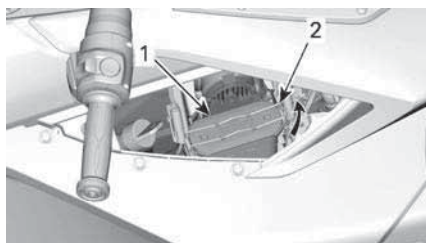
ブレーキ液のレベルが低いことは、漏れやブレーキパッドの磨耗を意味します。認定Can-Am On-Roadディーラーまでお問い合わせください。

ブレーキ液の継ぎ足し

1. フィラーキャップを清掃して取り外します。

⚠ 警告

取り外す前に、フィラーキャップを清掃してください。密閉容器に入っているDOT 4ブレーキ液のみを使用してください。



1. フィラーキャップ
2. フィラーキャップのロック機構

2. 液をMAXレベルまで継ぎ足します。

注記：

ブレーキパッドを取り替えるとブレーキオイルレベルが上昇します。MAXレベルの時に取り替えると、ブレーキオイルがこぼれる恐れがあります。

注意

ブレーキ液は塗面またはプラスチックの部品を損傷させます。こぼれた液は直ちに拭き取ります。

3. フィラーキャップを再び取り付け、ロックします。
4. サイドパネルと横サービスカバーを取り付けます。ボディパネルを参照してください。

ブレーキシステムの確認

前輪および後輪は油圧式ディスクタイプです。これらのブレーキは自己調整し、手動で調整する必要がありません。

ブレーキペダルの調整も必要ありません。

ブレーキの状態を良好に保つには、メンテナンススケジュールにおける次の事項を点検します。

- 液漏れがないかブレーキシステムの全体を点検
- ブレーキペダルのスポンジ感触
- ブレーキ・ディスクの過度の磨耗および表面の状態

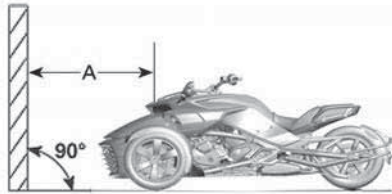
- ブレーキパッドの磨耗、損傷または緩み。

ブレーキシステムに問題がないか確認するには、認定Can-Am On-Roadディーラーにお問い合わせください。

ヘッドライト

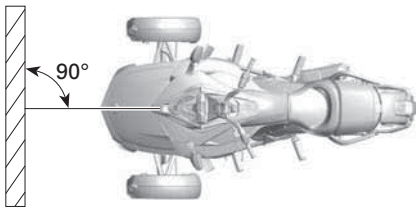
ヘッドライトの光軸の確認

1. タイヤに正しく空気が入っていることを検証してください。タイヤ圧と最大荷重ラベルを参照してください。
2. 図示のように、試験面の前10 m (33 ft) の位置に車両を配置します。車両が平らな地面上に停車していることを確認します。



代表的な例

1. 10 m (33 ft)



代表的な例

北米モデル

1. 以下の通りにテスト面の地面の2本の平行線をたどります:

試験面に描いた線	
A線	地面から644 mm (25-23/64 in)
B線	地面から554 mm (21-13/16 in)

2. ドライバーに運転席に乗ってもらいます。
3. ロービームを選択します。
4. ヘッドライトの反射の最上線がマークの間であれば、ビームの光軸は正しく設定されています。



1. 最上線

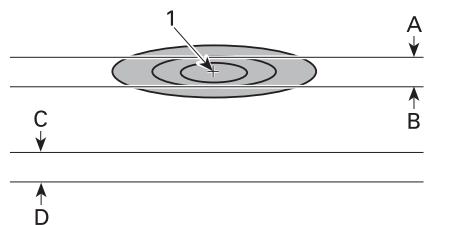
1. 地面から644 mm (25-23/64 in) の位置のマーク
2. 地面から554 mm (21-13/16 in) の位置のマーク

欧州、オーストラリア、および日本向けモデル

1. 以下の通りにテスト面の地面の4本の平行線をたどります:

試験面に描いた線	
A線	688 mm (27-3/32 in)
B線	618 mm (24-21/64 in)
C線	564 mm (22-13/64 in)
D線	514 mm (20-15/64 in)

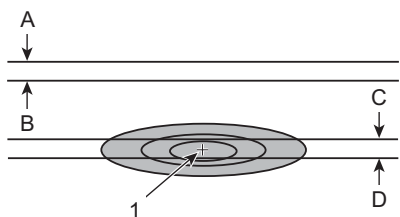
2. ドライバーに運転席に乗ってもらいます。
3. ハイビームを選択します。
4. ヘッドライトの反射のピント (一番明るいスポット) が上部マークの間であれば、ビームの光軸は正しく設定されています。



代表例 - 試験面上のヘッドライトの反射ハイビーム (片方のヘッドランプ)

1. ピント

1. 地面から688 mm (27-3/32 in)
 2. 地面から618 mm (24-21/64 in)
 3. 地面から564 mm (22-13/64 in)
 4. 地面から514 mm (20-15/64 in)
5. ロービームを選択します。
6. ヘッドライトの反射焦点 (一番明るいポイント) が下側のマークの間にある場合、ビームの光軸は正しく設定されています。



1. ピント

1. 地面から688 mm (27-3/32 in)
2. 地面から618 mm (24-21/64 in)
3. 地面から564 mm (22-13/64 in)
4. 地面から514 mm (20-15/64 in)

注記 :

左側走行の国々については、ライトのピークが車両左側になければなりません。

ヘッドライト光軸の調整

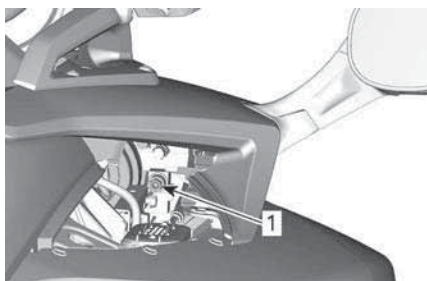
北米モデル

1. 10 mmのレンチを使って、ヘッドライトハウジングにあるヘッドラ

イトアジャスターを回して各ヘッドライトを調節します。ヘッドライトをあげるには右回りに、ヘッドライトを下げるには左回りに回します。両方のヘッドライトを均等に調整します。

注記 :

0.8 Nmのトルクを超えないでください。



代表的な例 - 右側面図

1. ヘッドライトアジャスター

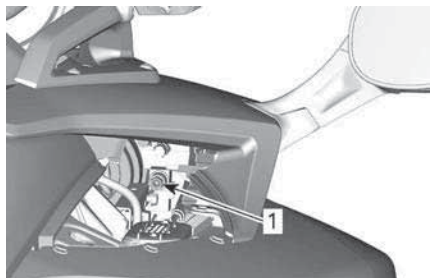
欧州、オーストラリア、および日本向けモデル

ハイビーム

1. 10 mmのレンチを使って、ヘッドライトハウジングにあるヘッドライトアジャスターを回して各ヘッドライトを調節します。ヘッドライトをあげるには右回りに、ヘッドライトを下げるには左回りに回します。両方のヘッドライトを均等に調整します。

注記 :

0.8 Nmのトルクを超えないでください。

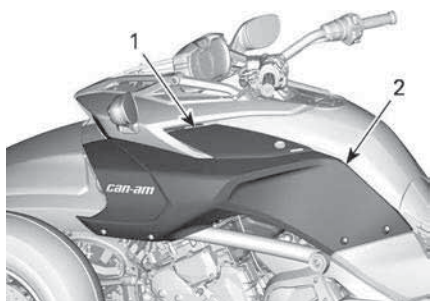


代表的な例 — 右側面図

1. ヘッドライトアジャスター

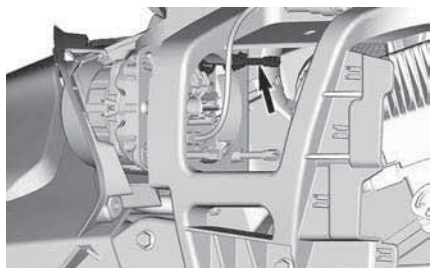
ロービーム

1. ボディパネルのセクションを参照して、以下のものを取り外します。



1. 横サービスカバー
2. サイドパネル。

2. ビームの高さを調整するには調整スクリューを回します。両方のヘッドライトを均等に調整します。



車両のお手入れ

洗車

(洗車場などで使用されている) 高圧洗浄機を使用しないでください。車両の一部を損傷する恐れがあります。

注意

クロームホイールは水と中性洗剤で洗ってください。クロームホイールは、磨いたり、酸性クリーナーまたは研磨剤を使用しないでください。

注意

フロントガラスの損傷を防ぐには、フロントガラスをアルカリまたは酸洗浄剤、ガソリンまたは溶剤で清掃しないでください。

注意

マット仕上げ塗装には、ワックス、噴霧スプレー、またはその他の通常塗装に使用される製品を使用しないでください。研磨剤で洗浄しないでください。機械クリーナーまたはポリッシャーを使用せず、表面をあまり強く擦らないでください。

車両を清掃するには：

1. 汚れを落とすために水でよく洗車してください。
2. 柔らかいきれいな布と、モーターサイクルや自動車に特別に配合された洗剤などの中性洗剤に水を混ぜた溶液で洗車してください。

注記：

ウィンドシールドやフロントパネルに付着した虫を取り除くには、温かい水が効果的です。

3. 洗車中にグリースやオイルが付着しているか確認します。サービス用品または中性の自動車で脱脂洗剤を使用します。製造社の使用上の注意に必ず従ってください。

サービス用製品

XPS Roadster Wash

4. セームや柔らかいタオルで車両から水を拭き取ります。

マット仕上げのある車両

注意

一般的な塗料用に使用されるワックス、ディーテルスプレーなどの製品を使用しないでください。研磨剤で洗浄しないでください。機械クリーナーまたはポリッシャーを使用せず、表面をあまり強く擦らないでください。

マット仕上げの場合、艶消し塗料にとって安全で刺激のない洗剤と柔らかいウオッシュミットを使って手洗います。虫などの異物を取り除くには、柔らかい塗布器およびマイルドの溶剤を使用します。溶剤をかけておき、少し経ったら拭き取ります。軽く擦ります。

この塗装仕上げでは、より頻繁な洗車が必要になる場合があります。

車両の保護

プラスチックの部品には非研磨ワックスを適用します。

注意

マット仕上げの表面(マット塗装仕上げを含む)はワックスしたり、研磨しないでください。

表面	推奨事項
艶出し塗装仕上げ	クリアコート塗料にも安全な研磨剤の入っていないワックスのみ塗布します
マット仕上げ	ワックスを適用しないでください。

注意

フロントガラスをプラスチッククリーナー/研磨剤で研磨しない。

⚠ 警告

表面がつるつるになり、オペレーターまたは同乗者が車両から落ちるかもしれないので、シートにはプラスチックまたはビニル製のプロテクターは付けないでください。

保管およびシーズン前の準備

収納

冬の時など、車両が最低でも4ヶ月間運転されていない場合は、車両を良い状態に保つには適切に保管する必要があります。

BRPは、車両を保管する前に、認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、または担当整備士に保管準備を依頼するよう推奨しています。まずは、ご都合の良い時に、次の基本手順を行ってください。

車両の保管準備

1. 車両を点検し、必要に応じて認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、担当整備士に整備、修理、または交換を依頼してください。

注記：

米国およびカナダのお客様の場合、保証請求の詳細は、保証のセクションにある米国EPA排出ガス性能保証を参照してください。

2. エンジンオイルとフィルターを交換します。認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、担当整備士に整備、修理、または交換を依頼してください。
3. エンジン・クーラント、ブレーキ液およびクラッチ液のレベルを確認します。
4. タンクの錆び、および燃料の悪化を防ぐために、燃料タンクを満タンにし、ガソリン安定化剤を入れ、エンジンをかけて循環させます。燃料安定化剤の容器の指示に厳密に従ってください。
5. すべてのタイヤを推奨される圧力まで空気を入れます。
6. 車両を掃除します。
7. すべてのコントロールケーブル、ならびにすべてのレバーのラッチ、キーバレルおよびピボットポイントを潤滑します。
8. すべてのストレージ・コンパートメントのラッチを閉じます。
9. 車両に透過性カバーをします（防水シートなど）。プラスチックや同等の浸透性のない、コーティン

グされた物質は、空気の流れを遮断し、熱と水分が中に蓄積されてしまうため、使用を避けてください。

10. 車両は直射日光のない、毎日の温度変化があまりない乾いた場所に保管してください。
11. 推奨される2Aでの充電レートで月に1回はバッテリーを低速充電してください。バッテリーを取り外す必要はありません。

シーズン前の準備

保管期間後、運転前に車両を整えて点検する必要があります。以下の手順を行います。

1. 車両を覆ってるシートを外し、掃除します。
2. 必要であればバッテリーを充電します。
3. 走行前の点検を行い、低速度で車両を試乗します。

道路脇での修理

診断の指針

注意

車両を移動させる必要がある場合は、牽引しないでください。牽引により車両は深刻な損傷を受けます。詳細については、このセクションの車両の移送をご参照ください。

シフトがニュートラルに入らない

車両の走行中にギアボックスがニュートラルに入らない場合：

1. エンジン速度は自動的に約1300RPMまで上昇し、またアイドリング速度に戻ります。
2. 最高で3回試行されます。
3. それでも駄目な場合は、シフトアップまたはシフトダウンをまた押してみます。

シフトが動かない

お近くのCan-Am On-Roadのディーラーまで車両を移送してください。

エンジンが始動しない

トラブルシューティング

1. エンジンがまったく回らない

多機能ゲージにスクロールされている安全性メッセージが認められていない。

- 安全性メッセージを読み、MODE ボタンを押します。

エンジン・ストップ・スイッチがOFFの位置にある。

- エンジン・ストップ・スイッチがONの位置にあることを確認してください。

イグニッション・スイッチがOFFの位置にある。

- イグニッションをONの位置に回します。

バッテリーが上がっているか、バッテリーの不良接触です。

- 充電されているか確認してください。必要であれば充電してください(メンテナンス手順を参照してください)。
- フロントストレージコンパートメントのバッテリーの接続を確認してください(メンテナンスの手順を参照)。

ヒューズが切れている。

- ヒューズの状態を確認してください(このセクションのヒューズおよびライトの交換方法を参照)。

トランスミッションがギヤに入っている

- トランスミッションがギヤに入っている場合は、ブレーキペダルを踏みます。

キーが読み取れません。イモビライザーシステムがキーを読み取れなかった場合、エンジンは始動しません。以下の状況により、イモビライザーシステムがキーを読み取れなくなることがあります。

- コンピューターチップの損傷
- キーの近くに大きな金属の物体がある
- キーの近くに電子機器がある
- メインキーの近くに二つ目の電子コードキーがある
- キーの周辺にその他の強い電磁場がある。
- エンジンが始動せず、クラスターにキーエラーのメッセージが表示された場合は、上記のような状況が存在しないことを確認してください。これらの状況が存在しないにも関わらず問題が発生する場合は、Can-Am On-Roadの認定ディーラーにご相談ください。

2. エンジンは回転するが、始動しない

燃料残量が低い。

- 燃料タンクに給油します。基本手順を参照してください。

バッテリーが弱い。

- 充電されているか確認してください。必要であれば充電してください（メンテナンス手順を参照してください）。
- フロントストレージコンパートメントのバッテリーの接続を確認してください（メンテナンスの手順を参照）。





エンジン・マネージメントの問題。






- エンジンの始動中にエンジン異常インジケータランプがONにあるか確認します。認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、担当整備士に整備、修理、または交換を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス性能保証を参照してください。

多機能ゲージのメッセージ

車両状態の重要な情報は多機能ゲージに表示されます。エンジンを始動させる時は必ずインジケータランプや特別なメッセージがゲージに現れているか必ず確認します。

STDおよびSモデル






インジケータランプ	デジタル警告	原因	解決法
 点滅	なし	ギアボックスポジションセンサーの異常	<ul style="list-style-type: none"> 車両を止め、ニュートラルに戻るまで待ちます。 最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を搬入してください。
なし	不良なキー	不正または不良なキー	車両に合ったキーを使用するか、または認定Can-Am On-Roadディーラーにお問い合わせください。
 ON	エンジンの温度が高い	エンジンがオーバーヒートしている	<ul style="list-style-type: none"> エンジンを停止し、冷めるまで待ちます。 漏れがないか確認します。 クーラントのレベルを確認し、調整します(メンテナンスの手順を参照)。
 ON	LO BATT VOLT (電圧低) または HI BATT VOLT (電圧高)	LOW または HIGH BATTERY VOLTAGE(バッテリーの電圧が低い/高い)	<ul style="list-style-type: none"> バッテリーを充電してください(メンテナンスの手順をご参照ください)。 バッテリーの接触を確認します。 最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を搬入してください。
 ON	ABS 異常	ABSの異常。ABSが操作されていない	最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を搬入してください。
 ON	なし	VSSの異常	* 最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を搬入してください。
なし		エア制御サスペンションの不具合	<ul style="list-style-type: none"> 空気ばねの圧力を点検する リアサスペンション位置センサーを点検する 車両を最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに運び、エア制御サスペンションの最小値/最大値の較正を確認します。




インジケータランプ	デジタル警告	原因	解決法
 ON	EBD異常	EBDの故障	最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を搬入してください。
	ブレーキ故障	低ブレーキ液レベル、または故障しているセンサー	<ul style="list-style-type: none"> ブレーキ液の漏れがないか確認してください。 ブレーキオイルのレベルを確認し、調整します（メンテナンスの手順を参照してください）。
 ON状態 + キーがOFFの状態 でビープ音が発生	なし	故障したパーキングブレーキまたはコンポーネントキーがOFF時にパーキングブレーキが起動しない	<ul style="list-style-type: none"> バッテリー電圧が最低でも11Vであることを確認してください。 右ヒューズボックスのヒューズ1を点検します（メンテナンスの手順を参照）。 最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を搬入してください。
	エンジン点検の必要あり (CHECK ENGINE)	エンジンマネージメントコンポーネントの異常	キーを抜いて、20秒待ってキーをまた挿入します。
 ON	DPS点検	ダイナミックパワーステアリングコンポーネントの異常	認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を修理してもらってください。
	トランスミッション点検	トランスミッションコントロールモジュールのコンポーネントの異常	<ul style="list-style-type: none"> キーを抜いて、20秒待ってキーをまた挿入します。 認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を修理してもらってください。
 点滅	応急帰還モード (LIMP HOME MODE)	主要エンジンマネージメントコンポーネントまたはVSSの異常	* 最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を搬入してください。
 ON	なし	油圧の低下	<ul style="list-style-type: none"> オイル漏れがないか確認します。 オイルレベルを確認し、調整します（メンテナンスの手順を参照）。

*LIMP HOMEの警告が現れた場合、BRPは車両を移送することを推奨しています。応急帰還モードの状態では、極端な操作は避け、運転

を再会する前に直ちに最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに搬入し、整備を依頼してください。LIMP HOME状態では、エンジンRPMが制限されるため、車両速度も制限されます。

Tおよびリミテッドモデル

インジケータ	メッセージ / 警告	原因	解決法
	不良なキー	不良キー	認定Can-Am On-Roadディーラーにお問い合わせください。
	WRONG KEY (キー間違い)	キーが間違っています	車両に合ったキーを使用するか、または認定Can-Am On-Roadディーラーにお問い合わせください。
	CHECK KEY (キーの確認)	不良キー	認定Can-Am On-Roadディーラーにお問い合わせください。
	エンジンの温度が高い	エンジンがオーバーヒートしている	<ul style="list-style-type: none"> - エンジンを停止し、冷めるまで待ちます。 - 漏れがないか確認します。 - クーラントのレベルを確認し、調整します (メンテナンスの手順を参照)。
	SUSPENSION FAULT (サスペンション故障)	エア制御サスペンションの不具合	<ul style="list-style-type: none"> - 空気ばねの圧力を点検する - リアサスペンション位置センサーを点検する - 車両を最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに運び、エア制御サスペンションの最小値/最大値の較正を確認します。
	ブレーキ故障	EBDの故障	最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を搬入してください。
	TRANSMISSION SIGNAL FAULT (トランスミッション信号の不具合)	トランスミッション・コントロール・モジュールのコンポーネン	<ul style="list-style-type: none"> - キーを抜いて、20秒待ってキーをまた挿入します。 - 認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を修理してもらってください。
	ブレーキの故障 - ブレーキ液レベルの低下	低ブレーキ液レベル、または故障しているセンサー	<ul style="list-style-type: none"> - ブレーキ液の漏れがないか確認してください。 - ブレーキオイルのレベルを確認し、調整します (メンテナンスの手順を参照してください)。

インジケータ	メッセージ / 警告	原因	解決法
	DPS点検	ダイナミック・パワー・ステアリング・コンポーネント	認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を修理してもらってください。
	応急帰還モード(LIMP HOME MODE)	主要エンジンマネジメントコンポーネントまたはVSSの異常	* 最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を搬入してください。
	低オイル - エンジンを停止	油圧の低下	<ul style="list-style-type: none"> - オイル漏れがないか確認します。 - オイルレベルを確認し、調整します(メンテナンスの手順を参照)。

*LIMP HOMEの警告が現れた場合、BRPは車両を移送することを推奨しています。応急帰還モードの状態では、極端な操作は避け、運転を再開する前に直ちに最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに搬入し、整備を依頼してください。LIMP HOME状態では、エンジンRPMが制限されるため、車両速度も制限されます。

重要情報を示すメッセージはインジケータランプの補助役割を果たすために一時的に表示されることもあります。



代表的な例

デジタル警告が現れる時は、警告は6秒間表示され、次の60秒間は非表示になります。この60秒間に小型デジタル・インジケータランプが点滅します。この過程は3回繰り返され、その後に表示は15分間停止されます。この15分の間は、インジケータランプしか作動されません。

以下の状況に対する解決策

失われたキー

スペアキーを使って認定 Can-Am On-Roadディーラーに合い鍵をもう1つ作ってもらいます。両方のキーを紛失した場合は、イグニッションスイッチ、リアストレージコンパートメントのキーバレル、およびトレーラーのキーバレル (BRP 製トレーラーを使用している場合) を、車両所有者の負担で交換する必要があります。

タイヤのパンク

タイヤのトレッドに深刻な刺し傷や切り傷があり、完全にパンクしている場合は、車両を最寄りの Can-Am On-Roadディーラーに搬入してください。移送指示については、車両の移送を参照してください。

釘や石によりタイヤが軽いパンクを起こしており、完全にパンクしていない場合は、タイヤは一時的に修理することができます。一時的にタイヤを修理するには、自己膨張型タイヤ・シーラーまたはタイヤ・プラグ修理キットを使用します。タイヤシーラーまたは修理キットのメーカーの指示に従い、できるだけ早く Can-Am On-Roadディーラーに修理または交換してもらってください。

タイヤが一時的に修理された後は、低速度で慎重に運転し、交換または完全に修理されるまでタイヤの空気圧を常に確認してください。

上がったバッテリー

バッテリーが上がっていたり、エンジンをかけるには電圧が低い場合

は、ジャンプ・スタートを行います。

⚠ 警告

ジャンプスタートの手順で指定されているように、ジャンパーケーブルを接続します。ジャンパーケーブルが適切に接続されていないと、発火する恐れのある爆発性ガスがバッテリーから漏れることがあります。

バッテリーをジャンプスタートするには、以下の手順を踏んでください。

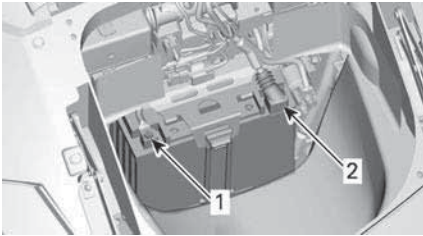
1. ジャンプスタートのために別の車両を使用する場合は、その車両をバッテリーが上がった車両にできるだけ近い位置 (できればバッテリーが上がった車両の前) まで移動します。車両同士が接触していないことを確認します。
2. 車両をニュートラル (N) に入れ、パーキングブレーキをかけます。

注記:

バッテリー電圧が 11 V 未満の場合は、パーキングブレーキがかかりません。

3. もう一方の車両のエンジンおよびすべての電気アクセサリを OFF にします。
4. もう一方のフードを開けます。
5. 車両のフロントコンパートメントを開けます。
6. イグニッションスイッチが OFF になっていることを確認します。
7. バスケットを取り外します。ポディパネルを参照してください。
8. 赤色の (+) ジャンパーケーブルの一方の端を、上がったバッテリーのプラス (+) 端子に接続します。
9. 赤色の (+) ジャンパーケーブルのもう一方の端をブースターバッテリーのプラス (+) 端子に接続します。

10. 黒色の (-) ジャンパーケーブルの一方の端をブースターバッテリーのマイナス (-) 端子に接続します。
11. 黒色の (-) ジャンパーケーブルのもう一方の端を車両のマイナス (-) 端子に接続します。



1. 黒色 (+) 端子
2. 赤色 (+) 端子

12. ブースターバッテリーで車両を起動し、エンジンを数分間アイドルで稼働させます。
13. 車両の右側に立ち、ブレーキをかけてエンジンを始動します。エンジンは回旋しないか、ゆっくり回旋する場合は、ジャンパーケーブルを揺すって接触が良好であるか確認し、再度試します。それでも始動しない場合は、始動システムに問題がある可能性があります。お近くの Can-Am On-Road のディーラーに移送し (このセクションの車両の移送を参照)、修理してもらってください。
14. エンジンが始動した後は、取り付けとは逆の手順で両方のジャンパーケーブルを取り外します。最初は車両に接続された黒色 (-) ケーブルから始めます。
15. できるだけ早くバッテリーチャージャーを使用するか、(メンテナンスの手順を参照) または資格のある修理屋によって完全に充電してもらってください。

じゅんぷスタートの直後、またはジャンパーケーブルを取り外した後にエンジンが停止してしまう場合は、充電システムに問題がある可能性があります。お近くの

Can-Am On-Roadのディーラーに移送し(車両の移送を参照)、修理してもらってください。

バッテリーを充電した後、車両を認定Can-Am On-Roadディーラーに点検してもらってください。

バルブの交換方法

ライト

車両のライトが作動しなくなった場合は、欠陥のあるライトの電球を交換します。

ライトが故障した場合は、車両を Can-Am On-Road の認定ディーラーに点検してもらってください。

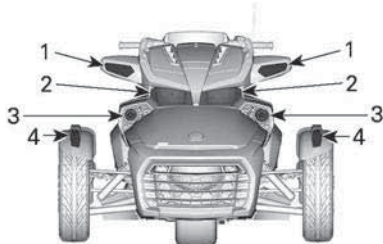
⚠ 注意

電気ショックを回避するには、電球を取り替える前にイグニッション・スイッチを必ずOFFの状態にします。

取り換え後に必ずライトの動作を確認します。

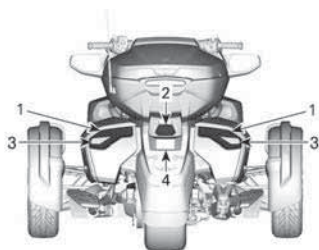
ライトの位置

F3 - オーストラリアモデル



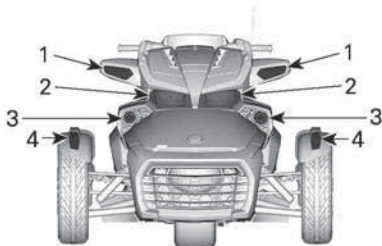
リミテッドモデル - フロント

1. ウィンカーライト
2. ヘッドライト - ハイビーム
3. ヘッドライト - ロービーム
4. ポジションライト



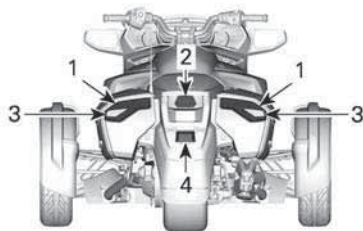
リミテッドモデル - リア

1. テールライト/ブレーキライト
2. バックアップ・ライト
3. ウィンカーライト
4. ライセンスプレートライト



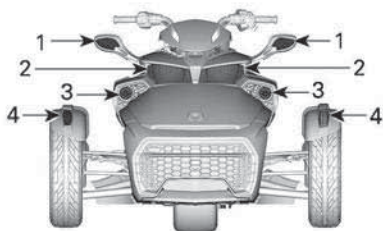
Tモデル - フロント

1. ウィンカーライト
2. ヘッドライト - ハイビーム
3. ヘッドライト - ロービーム
4. ポジションライト

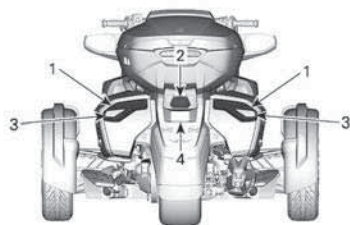


Tモデル - リア

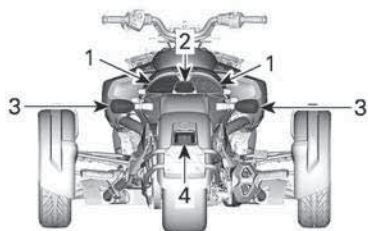
1. テールライト/ブレーキライト
2. バックアップ・ライト
3. ウィンカーライト
4. ライセンスプレートライト

**Sモデル - フロント**

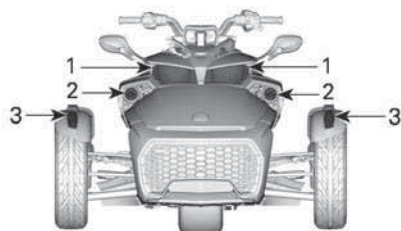
1. ウィンカーライト
2. ヘッドライト - ハイビーム
3. ヘッドライト - ロービーム
4. ポジションライト

**リミテッドモデル - リア**

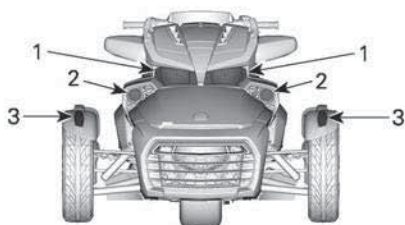
1. テールライト/ブレーキライト
2. バックアップ・ライト
3. ウィンカーライト
4. ライセンスプレートライト

**Sモデル - リア**

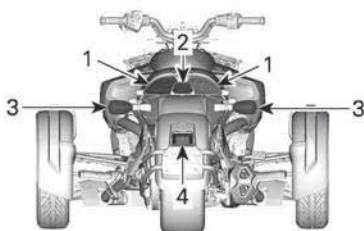
1. テールライト/ブレーキライト
2. バックアップ・ライト
3. ウィンカーライト
4. ライセンスプレートライト

**STDおよびSモデル - フロント**

1. ヘッドライト - ハイビーム
2. ヘッドライト - ロービーム
3. 方向指示灯/ポジションライト

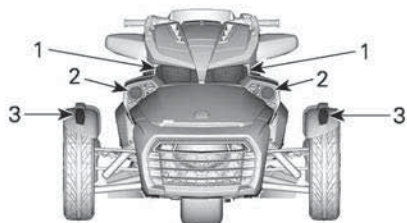
F3 - 欧州モデル**リミテッドモデル - フロント**

1. ヘッドライト - ハイビーム
2. ヘッドライト - ロービーム
3. 方向指示灯/ポジションライト

**STDおよびSモデル - リア**

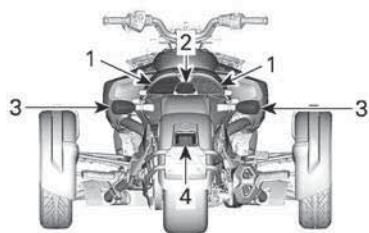
1. テールライト/ブレーキライト
2. バックアップ・ライト
3. ウィンカーライト
4. ライセンスプレートライト

F3 - 日本向けモデル



リミテッドモデル - フロント

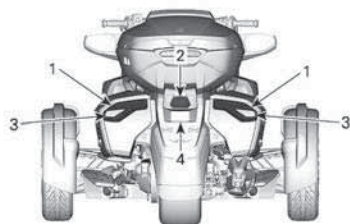
1. ヘッドライト - ハイビーム
2. ヘッドライト - ロービーム
3. 方向指示灯/ポジションライト



Sモデル - リア

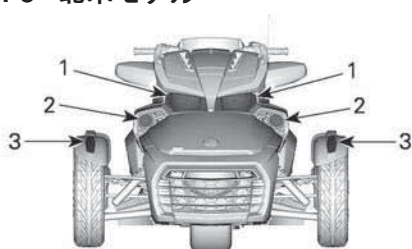
1. テールライト/ブレーキライト
2. バックアップ・ライト
3. ウィンカーライト
4. ライセンスプレートライト

F3 - 北米モデル



リミテッドモデル - リア

1. テールライト/ブレーキライト
2. バックアップ・ライト
3. ウィンカーライト
4. ライセンスプレートライト



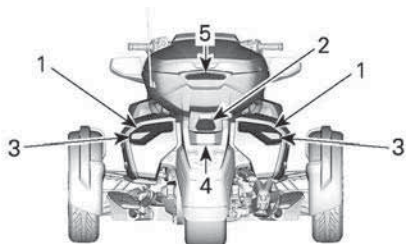
リミテッドモデル - フロント

1. ヘッドライト
2. フォグライト - オプション
3. 方向指示灯/ポジションライト



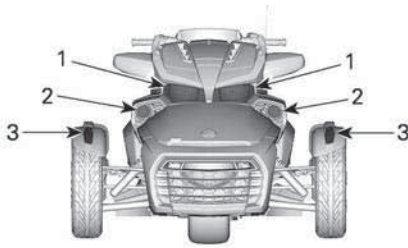
Sモデル - フロント

1. ヘッドライト - ハイビーム
2. ヘッドライト - ロービーム
3. 方向指示灯/ポジションライト

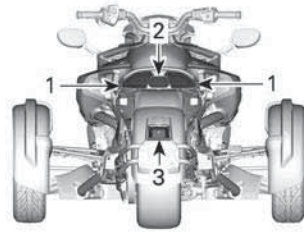


リミテッドモデル - リア

1. テールライト/ブレーキライト
2. バックアップ・ライト
3. ウィンカーライト
4. ライセンスプレートライト
5. シグネチャーライト

**Tモデル - フロント**

1. ヘッドライト
2. フォグライト - オプション
3. 方向指示灯/ポジションライト

**Tモデル - リア**

1. テールライト/ブレーキライト/方向指示灯
2. バックアップ・ライト
3. ライセンスプレートライト

ヘッドライトバルブの交換**ヘッドライト - ロービーム
北米以外のモデル**

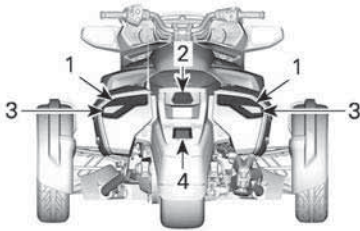
ロービームライトはLED（発光ダイオード）で構成されています。LEDは信頼性の高い技術です。万が一作動しない場合は、認定 Can-Am On-Roadディーラーに点検を依頼してください。

北米モデル

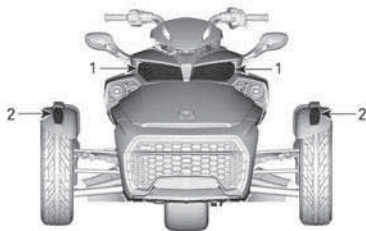
ロービームとハイビームには同じバルブが使用されています。指示に従ってハイビームバルブを交換してください。

ヘッドライト - ハイビーム (F3 STD)

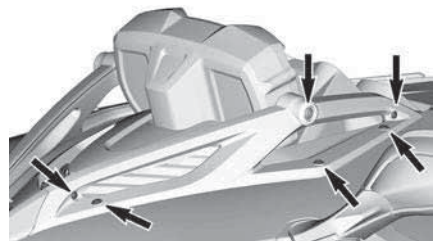
1. トップレールをトップレールに固定しているボルトを取り外します。

**Tモデル - リア**

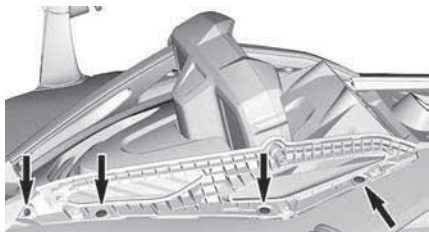
1. テールライト/ブレーキライト
2. バックアップ・ライト
3. ウィンカーライト
4. ライセンスプレートライト

**STDおよびSモデル - フロント**

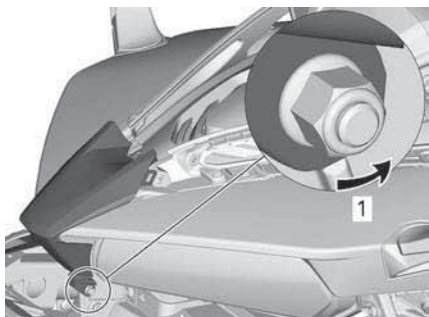
1. ヘッドライト
2. 方向指示灯/ポジションライト



2. アイレットを車両に固定している取り付けスクリーを取り外します。

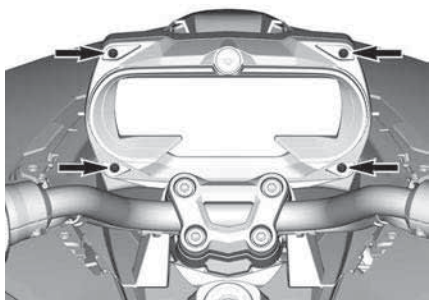


3. コンソールノー図の下部取り付けスクリーンを緩めます。
4. ノーズの上部のクリップを外し、前に回転させます。

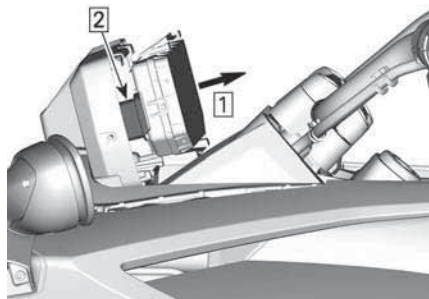
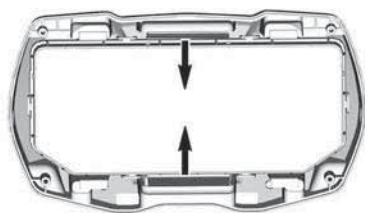


代表的な例

1. 取り付けスクリーンを緩めます。
5. 取り付けスクリーンを取り外してから、ゲージトリムを取り外します。

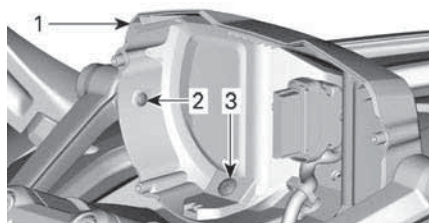


6. 固定タブをつまんでゲージを取り外し、コネクターの接続を切り離します。



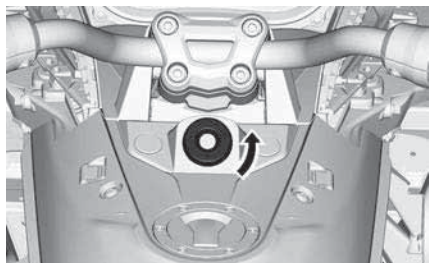
1. ゲージを取り外す
2. 取り外す

7. 両側のゲージサポートの中の取り付けスクリーンを取り外します。

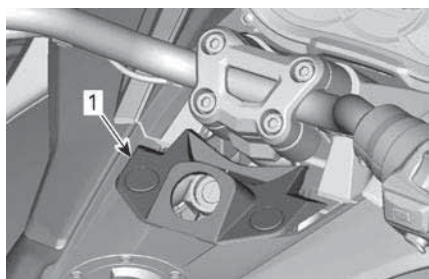


代表的な例

1. ゲージサポート
2. トップレールに取り付けられている取り付けスクリーン
3. コンソールパネルに取り付けられている取り付けスクリーン
8. キースイッチカバーを取り外します。

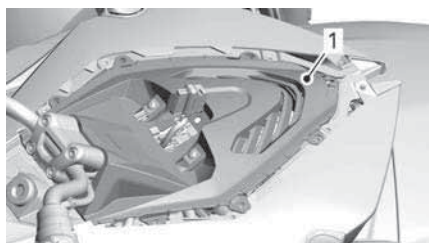


9. スイッチベゼルを取り外します。



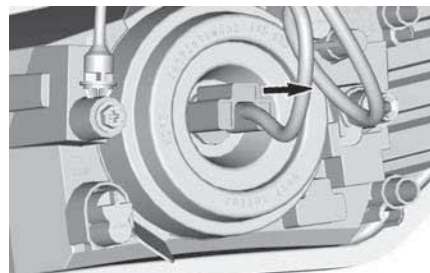
1. スイッチベゼル

10. コンソールパネルを取り外します。

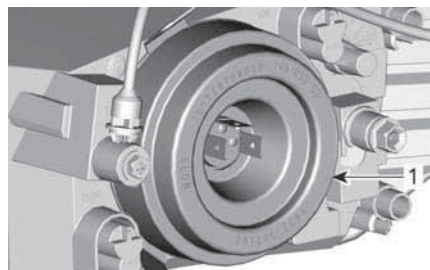


1. コンソールパネル

11. ヘッドランプコネクターの接続を外します。

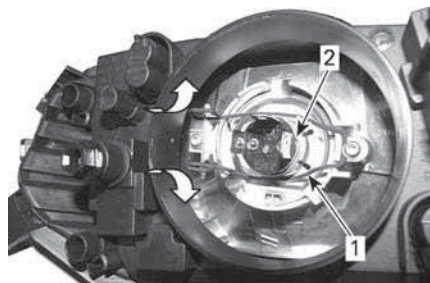


12.ハウジングキャップを引っ張り出します。

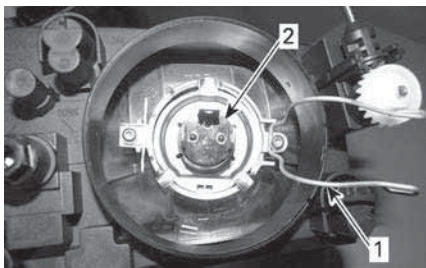


1. ハウジングキャップ

13. ライトバルブの固定スプリングを取り外します。



1. バルブの固定スプリング
2. バルブハウジング



1. バルブの固定スプリング
2. バルブハウジング

14. 新しいバルブを取り付け、固定スプリングで固定します。

⚠ 警告

不適切なバルブの取り付けは、ヘッドライトハウジングからの脱落の原因となります場合があります。こうした状況では、この部分にあるヘッドライトハウジング、レンズなどの部品とバルブが接触し、部品の溶解や火災などの危険を引き起こす場合があります。

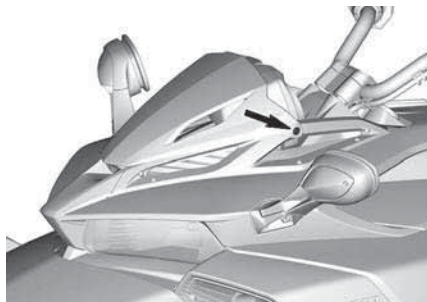
注意

寿命が短くなるので、ハロゲン電球のガラス部分を決して素手で触らないでください。ガラス部分を触ってしまった場合、イソプロピルアルコールで拭き取れば、バルブの表面に膜を残さなくても大丈夫です。

15. ハウジングキャップを再度取り付けします。
16. ライトバルブにコネクタを取り付けます。
17. 取り外した順序の逆で部品を適切に再度取り付けます。

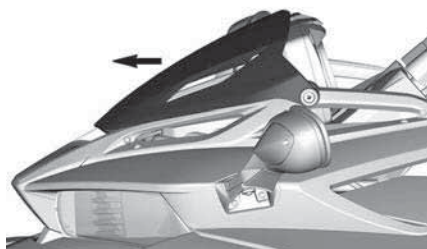
ヘッドライト - ハイビーム (F3 S)

1. ゲージスポイラーを車両に固定しているボルトを取り外します。

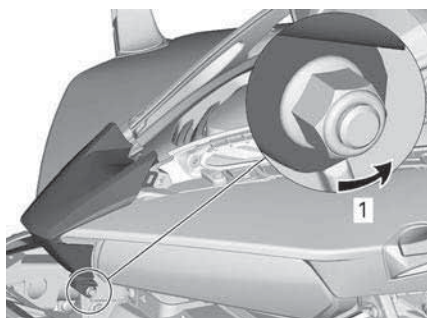


代表的な例

2. ゲージスポイラーを前方にスライドさせて取り外します。



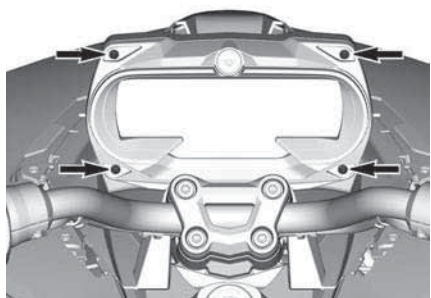
3. コンソールノー図の下部取り付けスクリューを緩めます。
4. ノーズの上部のクリップを外し、前に旋回させます。



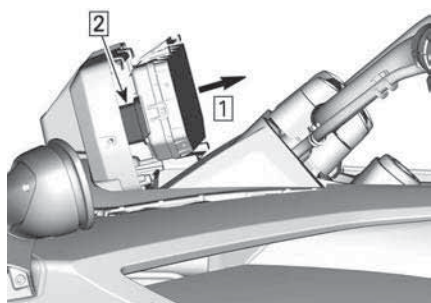
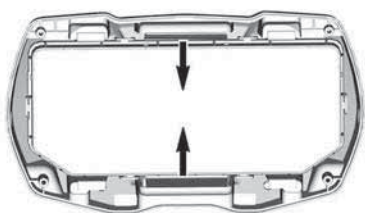
代表的な例

1. 取り付けスクリューを緩めます。

5. 取り付けスクリューを取り外してから、ゲージトリムを取り外します。

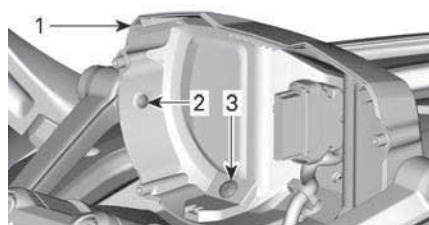


6. 固定タブをつまんでゲージを取り外し、コネクターの接続を切り離します。



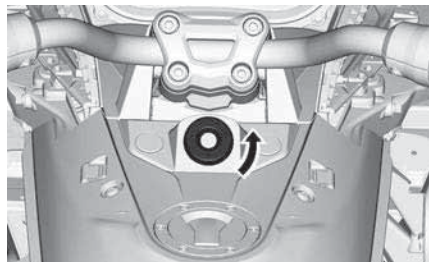
1. ゲージを取り外す
2. 取り外す

7. 両側のゲージサポートの中に取り付けスクリューを取り外します。

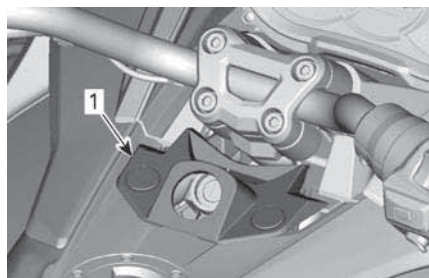


代表的な例

1. ゲージサポート
 2. トップレールに取り付けられている取り付けスクリュー
 3. コンソールパネルに取り付けられている取り付けスクリュー
8. キースイッチカバーを取り外します。

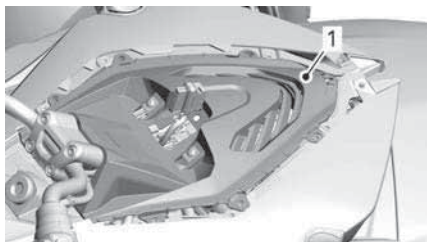


9. スイッチベゼルを取り外します。



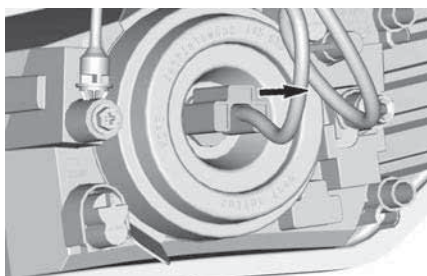
1. スイッチベゼル

10. コンソールパネルを取り外します。

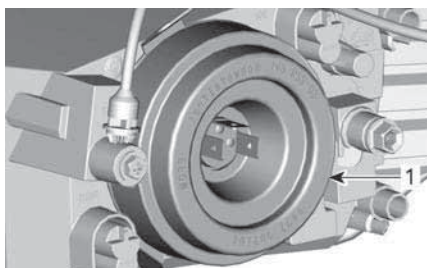


1. コンソールパネル

11. ヘッドランプコネクターの接続を外します。

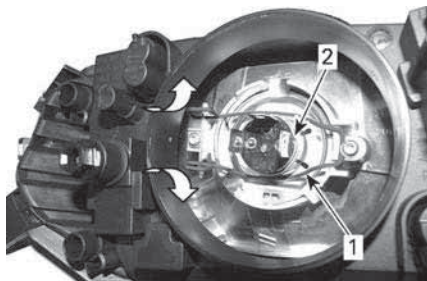


12.ハウジングキャップを引っ張り出します。

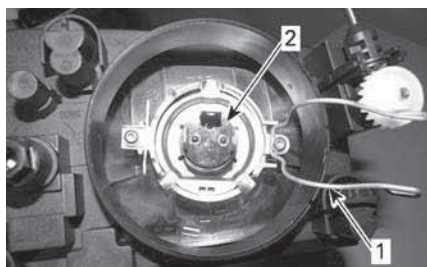


1. ハウジングキャップ

13. ライトバルブの固定スプリングを取り外します。



1. バルブの固定スプリング
2. バルブハウジング



1. バルブの固定スプリング
2. バルブハウジング

14. 新しいバルブを取り付け、固定スプリングで固定します。

⚠ 警告

不適切なバルブの取り付けは、ヘッドライトハウジングからの脱落の原因となる場合があります。こうした状況では、この部分にあるヘッドライトハウジング、レンズなどの部品とバルブが接触し、部品の溶解や火災などの危険を引き起こす場合があります。

注意

寿命が短くなるので、ハロゲン電球のガラス部分を決して素手で触らないでください。ガラス部分を触ってしまった場合、イソプロピルアルコールで拭き取れば、バルブの表面に膜を残さないので大丈夫です。

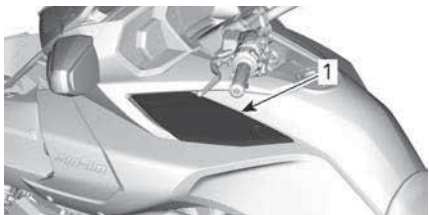
- 15.ハウジングキャップを再度取り付けします。
- 16.ライトバルブにコネクタを取り付けます。
- 17.取り外した順序の逆で部品を適切に再度取り付けます。

ヘッドライト - ハイビーム (F3 TおよびF3リミテッド)

1. フロントサービスカバーを取り外します。



2. 横サービスカバーを取り外します。

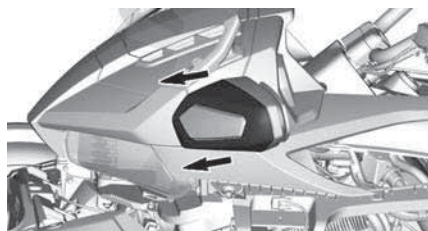


1. 横サービスカバー

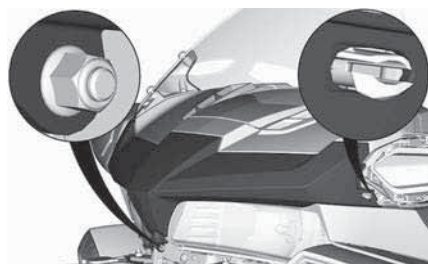
3. 横サイドパネルを取り外します。



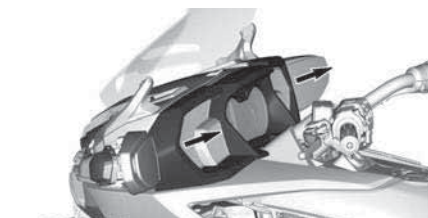
4. ミラートリムを取り外します。



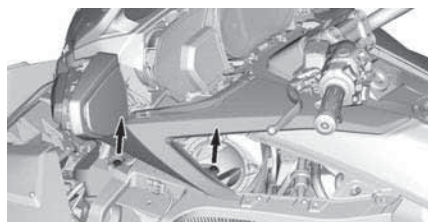
5. コンソールノーズを取り外します。



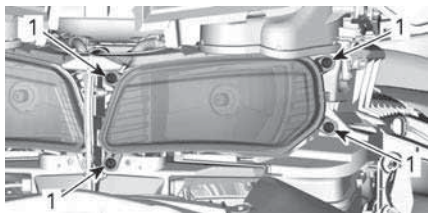
6. スピーカートリムを取り外します。



7. 横コンソールパネルを取り外します。

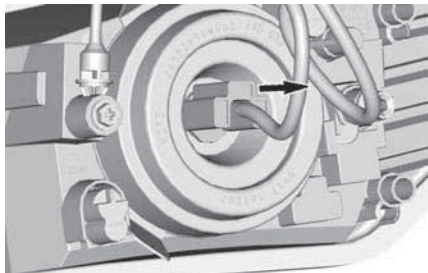


8. ヘッドライトを取り外します。

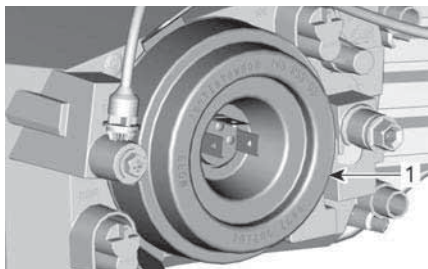


1. ヘッドライト固定スクリュー

9. ヘッドランプコネクターの接続を外します。

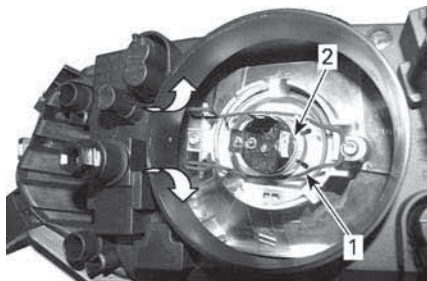


10. ラバーハウジングキャップを引き抜きます。

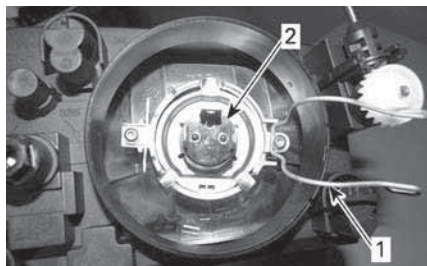


1. ハウジングキャップ

11. ライトバルブの固定スプリングを取り外します。



1. バルブの固定スプリング
2. バルブハウジング



1. バルブの固定スプリング
2. バルブハウジング

12. 新しいバルブを取り付け、固定スプリングで固定します。

⚠ 警告

不適切なバルブの取り付けは、ヘッドライトハウジングからの脱落の原因となる場合があります。こうした状況では、この部分にあるヘッドライトハウジング、レンズなどの部品とバルブが接触し、部品の溶解や火災などの危険を引き起こす場合があります。

注意

寿命が短くなるので、ハロゲン電球のガラス部分を決して素手で触らないでください。ガラス部分を触ってしまった場合、イソプロピルアルコールで拭き取れば、バルブの表面に膜を残さないので大丈夫です。

- 13.ハウジングキャップを再度取り付けします。
- 14.ライトバルブにコネクタを取り付けます。
- 15.取り外した順序の逆で部品を適切に再度取り付けます。

フロント方向指示灯バルブの交換

オーストラリア向け以外の全モデル方向指示灯は、LED（発光ダイオード）で構成されています。LEDは信頼性の高い技術です。万が一作動しない場合は、認定Can-Am On-Roadディーラーに点検を依頼してください。

オーストラリアモデル

Tおよびリミテッドモデルの方向指示灯は、LED（発光ダイオード）で構成されています。LEDは信頼性の高い技術です。万が一作動しない場合は、認定Can-Am On-Roadディーラーに点検を依頼してください。

その他のモデルについては、下記の手順に従ってください。

1. レンズを取り外します。



代表的な例

1. フロント方向指示灯レンズスクリュー
2. 以下のようにコネクタを左回りに回して、レンズを取り外します。



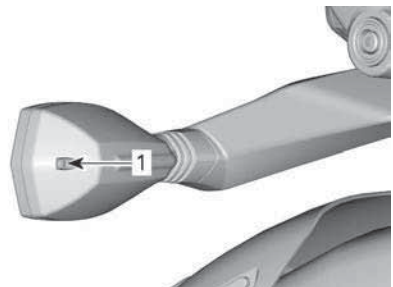
代表的な例

1. フロント方向指示灯コネクタ
3. バルブを押し入れて左に回し、バルブを取り外します。
4. 新しいバルブを押し入れて右に回して取り付けます。
5. 取り外した順序の逆で部品を適切に再度取り付けます。

リア方向指示灯バルブの交換

STDおよびSモデル

1. レンズを取り外します。



1. リア方向指示灯レンズスクリュー
2. バルブを押し入れて左に回し、バルブを取り外します。
3. 新しいバルブを押し入れて右に回して取り付けます。
4. レンズを再度取り付けます。

注意

取り付け時、スクリューを指で締めるだけにとどめます。

Tおよびリミテッドモデル

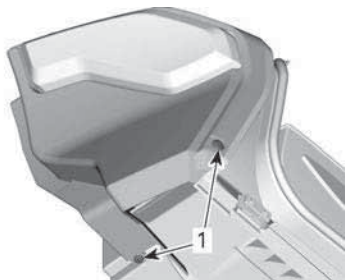
1. 車両からサドルバックを取り外します。サドルバックのセクションを参照してください。

2. テールライトサポートをサドルバッグに固定している上側の留めねじを取り外します。



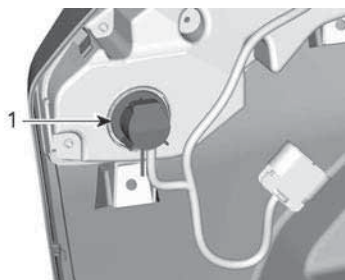
1. 上部留めネジ

3. テールライトサポートをサドルバッグに固定している下側の留めねじを取り外して、テールライトサポートをサドルバッグから取り外します。



1. 下部の留めネジ

4. バルブホルダーをテールライトサポートから取り外します。



1. バルブホルダーを時計方向に回して外します。

5. バルブを押し入れて左に回し、バルブを取り外します。
6. 取り付けは取り外しと逆の順序で行います。

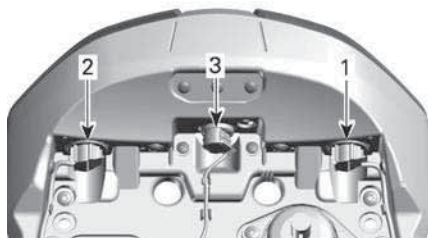
テールライト/ブレーキライトバルブの交換

STDおよびSモデル

1. 同乗者シートを取り外します。装備のセクションのシートを開くを参照してください。
2. バルブソケットを回して車両から取り外します。

注記：

中央と左のバルブソケットを左に回します。右のバルブソケットを右に回します。



1. 左側テールライト/ブレーキライト
2. 右側テールライト/ブレーキライト
3. バックアップライト

3. バルブを押し入れて左に回し、バルブを取り外します。
4. 新しいバルブを押し入れて右に回して取り付けます。
5. シートの取り付け

Tおよびリミテッドモデル

ポジションライトはLED（発光ダイオード）で構成されています。LEDは信頼性の高い技術です。万が一作動しない場合は、認定 Can-Am On-Roadディーラーに点検を依頼してください。

ポジション・ライト

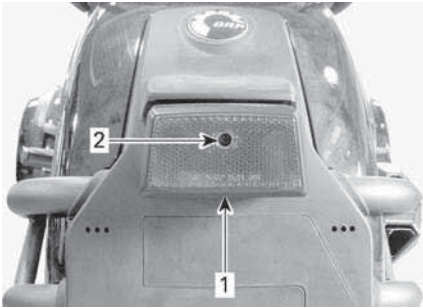
ポジションライトはLED（発光ダイオード）で構成されています。LED

は信頼性の高い技術です。万が一作動しない場合は、認定 Can-Am On-Roadディーラーに点検を依頼してください。

ライセンスプレートライトバルブの交換

STDおよびSモデル

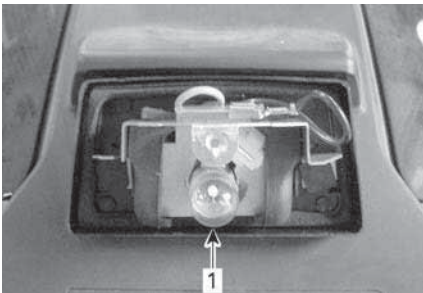
1. ライトカバーを取り外す。



代表的な例

1. ライセンスプレートライト
2. カバースクリュー

2. バルブを押し入れて左に回し、バルブを取り外します。



1. ライトバルブ

3. 新しいバルブを押し入れて右に回して取り付けます。
4. ライトの動作を確認します。
5. ライトカバーを再度取り付けます。

Tおよびリミテッドモデル

ポジションライトはLED（発光ダイオード）で構成されています。LED

は信頼性の高い技術です。万が一作動しない場合は、認定 Can-Am On-Roadディーラーに点検を依頼してください。

バックアップライト STDおよびSモデル

テールライト/ブレーキライトバルブの交換の手順を参照してください。

Tおよびリミテッドモデル

バックアップライトは、LED（発光ダイオード）で構成されています。LEDは信頼性の高い技術です。万が一作動しない場合は、認定 Can-Am On-Roadディーラーに点検を依頼してください。

ヒューズの交換方法

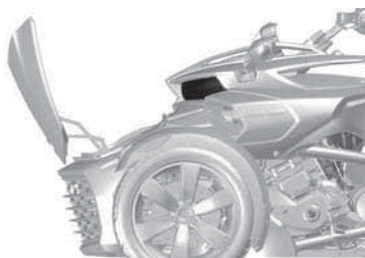
車両の電気用品が作動しなくなった場合は、飛んだヒューズを確認し、必要であれば交換します。

電気システムの故障が発生した場合は、認定Can-Am On-Roadディーラーに整備を依頼してください。

ヒューズの位置

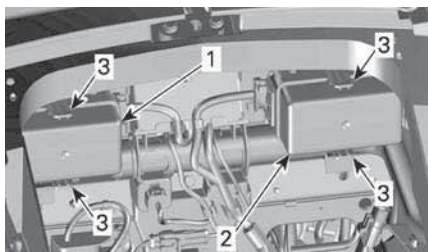
ヒューズはフロントストレージコンパートメント内にあります。

ヒューズボックスにアクセスするには、フロントストレージコンパートメントを開けます。



車両からバスケットを取り外します。ボディパネルのセクションを参照してください。

タブを押し下げ、慎重にヒューズボックスのカバーを取り外します。



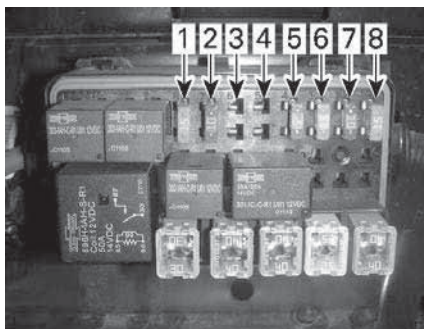
フロントストレージコンパートメントの中

1. 右側ヒューズサービスカバー
2. 左側ヒューズサービスカバー
3. タブ

ヒューズの説明

正しく識別するには、両方のヒューズボックス間にあるデカールを参照します。

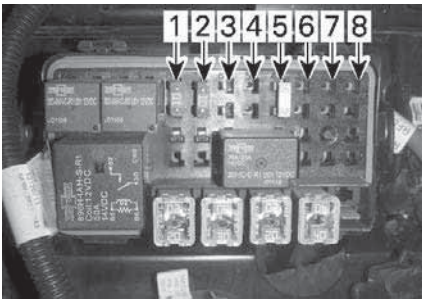
左ヒューズボックス



ヒューズ-左ヒューズボックス

ヒューズ番号	説明	定格
1	クラスター / DLC	15 A
2	ウェイクアップ ECM / VCM / MSRおよび D.E.S.S./ SAS / YAS / PRS	10 A
3	オルタネータ	10 A
4	PBM	20 A
5	ECM	5 A
6	インジェクター / コイル	15 A
7	ウェイクアップ TCM, DPS / クラ スター	10 A
8	H02S / CAPS / 燃 料ポンプ / EVAP / CSV	15 A

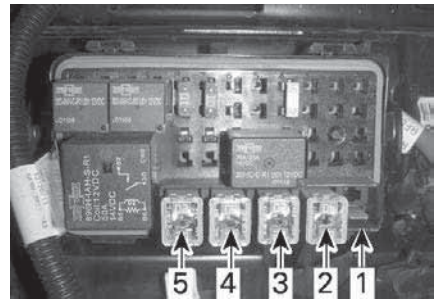
右ヒューズボックス



ヒューズ - 右ヒューズボックス

ヒューズ番号	説明	定格
1	デイライト/ パーキングランプ/ プレートライト	15 A
2	ブレーキライト、 ハザード	10 A
3	アンプリファイア (装備されている場合)	15 A
4	未使用	
5	負荷制限リレー- acc.	25 A
6	顧客アクセサリ 回路	10 A
7	未使用	
8	未使用	

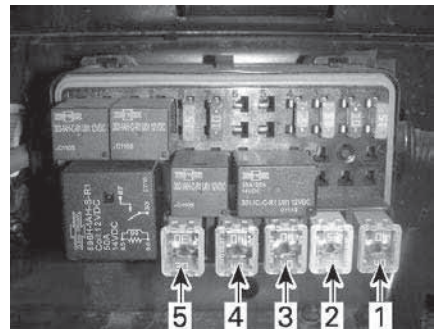
左Jケース・ヒューズボックス



Jケース・ヒューズ - 右ヒューズボックス

ヒューズ番号	説明	定格
1	メインコントロール	40 A
2	DPS	25 A
3	VCMポンプ	40 A
4	VCMポンプ	40 A
5	未使用	

右Jケース・ヒューズボックス

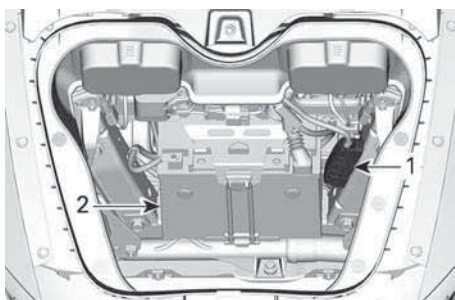


Jケース・ヒューズ - 左ヒューズボックス

ヒューズ番号	説明	定格
1	冷却ファン	30 A
2	アクセサリ	40 A
3	TCMソレノイド	20 A
4	LOヘッドランプ	30 A
5	HIヘッドランプ	20 A

オルタネーター回路用ヒューズ

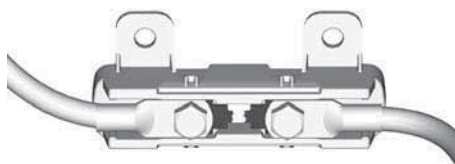
ヒューズホルダーはバッテリーの左にあります。



1. ヒューズホルダー
2. バッテリー

ヒューズが飛んでいるか確認するために、ヒューズホルダーカバーを取り外します。2つのターミナル間の金属部分が溶けているまたは破損している場合は、ヒューズが飛んでいます。

オルタネータ	80 A (認定 On-Roadディーラーのみが交換を行ってください)
--------	-------------------------------------

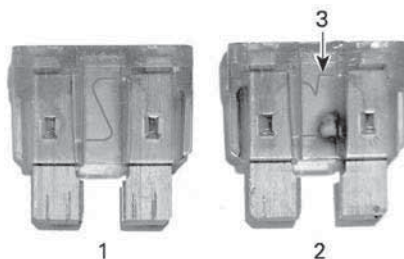


注意

飛んだヒューズを交換しないでください。車両を最寄りの認定 Can-Am On-Roadディーラーまで移動して、修理店または担当整備士に交換を依頼してください。

ヒューズの交換

1. イグニッションスイッチをOFFにします。
2. ヒューズを取り出します。
3. フィラメントが溶けていないか確認します。



ヒューズ

1. 良好のヒューズ
2. 飛んでいるヒューズ
3. 熔融フィラメント
4. ヒューズを同じ定格のものと交換します。スペアヒューズはヒューズボックスカバーにあります。

注意

より高定格のヒューズを使用すると、深刻な損傷を招き、火災の原因になります。

5. ヒューズボックスのカバーを閉じるには、カバーをヒューズにかぶせるように位置付け、カチッとなるまで慎重に押し下げます。
6. ヒューズのサービスカバーを閉じるには、カバーをヒューズボックスにかぶせるように位置付け、ヒューズのサービスカバーが閉まるまで慎重に押し下げます。
7. バスケットを取り付け、フロントストレージコンパートメントを閉めます。

車両の移送

車両を移送する必要がある場合は、適切なサイズと容量の長物トレーラーで移送してください。

⚠ 注意

車両を押す必要がある場合は、ブレーキペダルをいつでも踏めるように右側から押します。車両を後方に引っ張る場合は、足元が前輪によってひかれないように注意します。

注意

この車両は牽引しないでください。牽引すると車両の駆動システムに深刻な損傷を与える恐れがあります。

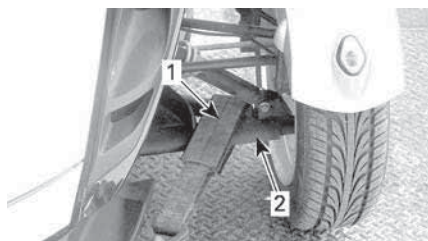
牽引または移送サービスにお問い合わせ合わせする場合は、車両を安全に持ち上げ、ストラップを縛り付けるために長物トレーラー、導板またはパワーランプがあるか尋ねてください。本セクションで記載の通りに車両を適切に移送してください。

注意

車両を縛り付けるのにチェーンの使用は避けてください。表面の仕上げやプラスチックのコンポーネントを損傷させる恐れがあります。

車両を移送するために積み込む時は、以下の手順を踏んでください。

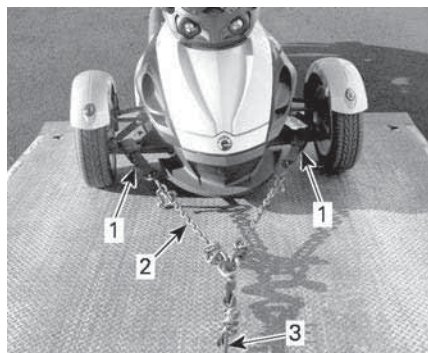
1. 車両をニュートラル (N) に入れます。
2. イグニッションスイッチからキーを取り外します。
3. 各フロント・サスペンションの下部アームの周りをストラップで固定します。



代表的な例

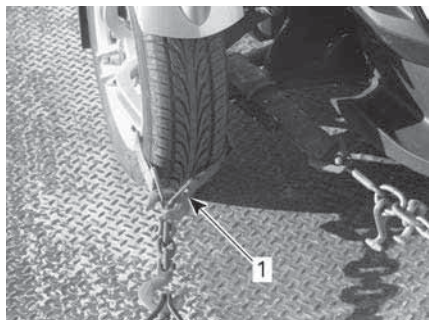
1. ストラップ
2. 下部サスペンションアーム

4. ストラップをウィンチ・ケーブルに取り付けます。バンパー・カバーの損傷を防ぐために以下の図のようにできればチェーンまたは追加ストラップを使ってストラップをウィンチ・ケーブルに取り付けます。



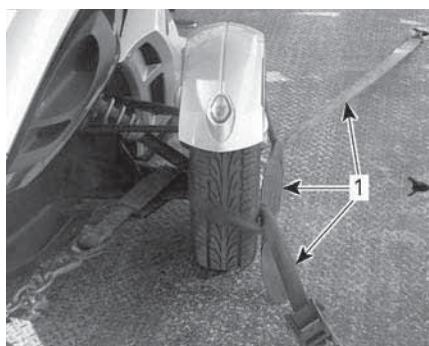
代表的な例

1. フロント・サスペンションの下部アームの周りにストラップを巻きつけます。
2. バンパー・カバーの損傷を防ぐためのチェーン
3. ウィンチ・ケーブル
5. パーキングブレーキが解除されていることを確認します。
6. ウィンチを使って車両を長物トレーラーに引っ張りこみます。
7. パーキングブレーキをかけます。
8. 車両のギヤがニュートラル (N) に入っていることを確認します。
9. 次のいずれかの方法でフロントタイヤにストラップをつけます。



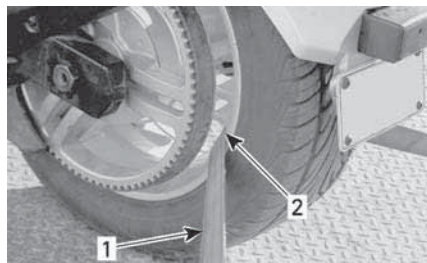
前輪の固定 — 代表例方法1

1. 各前輪のリムの周りにストラップを巻きつけ、ストラップをトレーラーの前部に固定します。



前輪の固定 — 代表例方法2

1. 各車輪にストラップを巻き付け、トレーラーの前部および後部に固定します。
10. 縛りつけ用のストラップは後輪のリム内側のみを通してください。縛りつけ用のストラップを絶対にリア・スプロケットの内側を通さないでください。



後輪の固定方法 - 代表例

1. 縛りつけ用ストラップ
2. 後輪のリムの内側のみ

11. 後輪の縛りつけ用ストラップを、歯止めを使ってトレーラーの後部にしっかり固定させます。
12. 前輪および後輪の両方がトレーラーにしっかり固定されていることを確認します。



代表例 - 牽引の前方を向いている車両

1. トレーラーにしっかり固定された前輪および後輪

注意

リア・スプロケットの内側に縛りつけ用のストラップを通すと駆動システムに深刻な損傷を与えます。

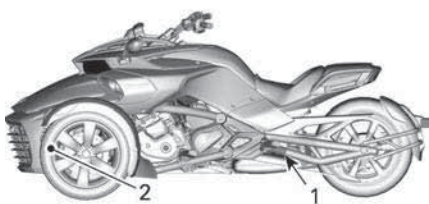
空白ページ

技術情報

車両の識別

車両の主要な構成要素（エンジンとフレーム）は、それぞれ異なる製造番号で識別されます。保証を受けるときや、無くなった車両を探すときなどに、これらの番号を確認する必要があります。これらの番号は、認定 Can-Am On-Road ディーラーが正しく保証請求を行うときに必要です。車両のすべてのシリアル番号を記録し、保険会社に提出すること強く推奨します。

車両識別番号



代表例：VINの位置

1. スイングアーム (VIN ラベル)
2. フレーム (VINは右側にスタンプされている)

オーストラリア



1. VIN (車両識別番号)
2. モデル番号

日本



1. VIN (車両識別番号)
2. モデル番号

カナダおよび米国



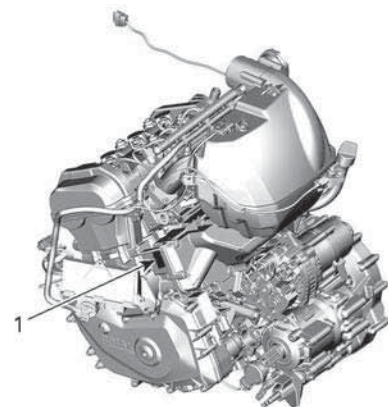
1. VIN (車両識別番号)
2. モデル番号

その他のすべての国



1. VIN (車両識別番号)
2. モデル番号

エンジン識別番号



代表的な例

1. EIN (エンジン識別番号)の位置

車両コンプライアンスラベル

EPA適合ラベル

北米モデル



位置：燃料キャップ付近

車両排ガス規制情報

BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.

この車両は、年式の新型モーターサイクルに適用される米国EPAおよびカリフォルニア州の規制に適合しており、HC+NOx排出基準（g/km）を満たしています。

メンテナンスの仕様に関しては「オペレーターズガイド」を参照してください

VEHICLE EMISSION CONTROL INFORMATION

BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.

THIS VEHICLE CONFORMS TO U.S. EPA AND CALIFORNIA REGULATIONS APPLICABLE TO MODEL YEAR NEW MOTORCYCLES AND IS CERTIFIED TO AN HC+NOx EMISSION STANDARD OF GRAM/KILOMETER.

See operator's guide for maintenance specifications



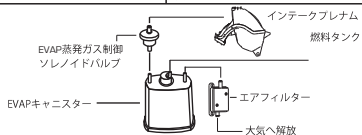
エンジン排気量	Engine Displacement
エンジンファミリー	Engine Family
透過ガス	Permeation Family
蒸発ガス	Evaporation Family
排気ガス制御システム	Exhaust Emission Control System
アイドリングスピード	Idle Speed
燃料	Fuel

704907626 JA

バキュームホース配管

エンジンシリーズ：

蒸発ガス：



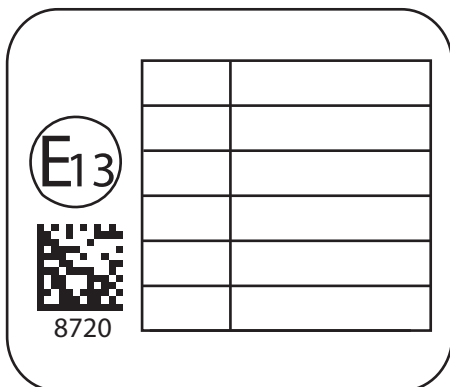
自動三輪車騒音排出規制に関する情報

このモーターサイクル、は、米国騒音排出規制（rpm 当たり db(A)、連邦試験手順による）に適合しています。騒音規制値を超えるような本自動三輪車の改造は、連邦法によって禁止されています。オペレーターズガイドを参照してください。

代表例 - フロントストレージコンパートメント内部

欧州適合ラベル

このラベルは運転席の下にあります。



代替燃料インフラコンプライアンスラベルの導入

北米以外のモデル

騒音工ミッションコントロールシステム規制

騒音制御システムを改ざんすることは禁止されています。

米国連邦法およびカナダ州法によって、以下の行動またはそれに起因するものが禁止される場合があります。

1. 新しい車両に騒音コントロールを目的として最終購入者への販売または納入以前または使用中に組み込まれた、機器またはデザイン要素を、いかなる人物によっても整備、修理、交換以外を目的として取り外す、または作動不能にすること、または
2. これらの機器またはデザイン要素を、いかなる人物によっても取り外し、または作動不能にした後に、車両を使用すること。

これらの行動の中で、改ざんとみなされるものは、以下のリストに掲載されている行動です。

1. マフラーまたはエンジン排気ガスの排出を処理するいかなるエンジン部品の取り外し、改造または穴あけ。
2. 吸気システムのいかなる部分の取り外し、改造または穴あけ。
3. 車両の稼働部品、または排気または吸気システムの部品を、非準拠部品と交換すること。
4. 適切な整備をしないこと。

無線周波数デジタルコード化されたセキュリティシステム (無線周波数D.E.S.S.キー)

この装置は、FCC (米国連邦通信委員会) 第15部およびIndustry Canada (カナダ産業省) ライセンス免除RSS基準に準拠しています。操作は、下記の2つが前提条件となります。(1)この装置は干渉を発生させません。また、(2)この装置は、装置に望ましくない動作を発生させる恐れのある干渉を含めて、あらゆる干渉に順応する必要があります。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes: (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

コンプライアンス責任者によって明白に承認されていない変更や改良がされた場合、ユーザーが機器を操縦する権限が無効になる場合があります。

IC: 11538A-246416

FCC ID: 2ABBF-246416

多機能ゲージの法規制に関する情報 (大型パノラマ 7.8インチワイドLCDディスプレイ)

技術情報

トランスミッター :

- BT動作周波数範囲 : 2,402 ~ 2,480 MHz
- BTバージョン : 4.2 (BTLEなし)
- BT出力 : 8.5 dBm未満

レシーバー :

- FM動作範囲 : 76 ~ 108 MHz

メーカーおよび住所

メーカー :

- Robert Bosch LLC

住所 :

- 38000 Hills Tech Drive,
Farmington Hills, MI 48331,
USA

車両のデジタルディスプレイに規制に関する情報を表示するには : ホーム画面からメインメニューにアクセスして、ジョイスティックを10秒以上押し続けます。

米国およびカナダ

この装置は、FCC (米国連邦通信委員会) 第15部およびIndustry Canada (カナダ産業省) ライセンス免除RSS基準に準拠しています。この装置の使用は、

- (1) この装置が有害な干渉を引き起こさないこと、および
- (2) この装置は好ましくない動作の原因となる干渉をはじめとする、あらゆる干渉に順応しなければならない、という2つの条件を前提としています。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique

subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

コンプライアンス責任者によって明示的に承認されていない変更や改良が行われた場合、機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。

IC: 22868 - VDIBRHS01

FCC ID: 2AMJS - VDIBRHS01

RF曝露 :

1. この機器は制御の及ばない環境に対して設定されたFCC RF曝露限度を順守しています。
2. この機器はすべての人から20 cm以上離れてインストールおよび操作される必要があります。
3. このトランスミッターのために使用されるアンテナは位置の共用またはその他のアンテナまたはトランスミッターと共に使用されてはいけません。

メキシコ

IFETEL

Marca: Robert Bosch LLC

Modelo(s): VIPHI2BT

Número: RCPBOVI18-0967

NOM-121-SCT1-2009

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

- (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

ブラジル



03473-18-04473

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.

日本

この装置は、電波法（電波法）および電気通信事業法（電気通信事業法）の下で使用が許可されています。この装置を改造しないでください（改造した場合、認証は無効となります）。

ヨーロッパ

適合宣言書

無線機器指令2014/53/EUに関する適合宣言書（簡易版）



DE

Hiermit erklärt Robert Bosch LLC, dass der Funkanlagentyp VIPHI2BT der Richtlinie 2014/53/EU entspricht. Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter der folgenden Internetadresse verfügbar: eu-doc.bosch.com

FR

Le soussigné, Robert Bosch LLC, déclare que l'équipement radioélectrique du type VIPHI2BT est conforme à la directive 2014/53/UE.

Le texte complet de la déclaration UE de conformité est disponible à l'adresse internet suivante: eu-doc.bosch.com

BG

С настоящото Robert Bosch LLC декларира, че този тип радиосъоръжение VIPHI2BT е в съответствие с Директива 2014/53/ЕС.

Цялостният текст на ЕС декларацията за съответствие може да се намери на следния интернет адрес: eu-doc.bosch.com

EL

Με την παρούσα ο/η Robert Bosch LLC, δηλώνει ότι ο ραδιοεξοπλισμός VIPHI2BT πληροί την οδηγία 2014/53/ΕΕ. Το πλήρες κείμενο της δήλωσης συμμόρφωσης ΕΕ διατίθεται στην ακόλουθη ιστοσελίδα στο διαδίκτυο: eu-doc.bosch.com

CS

Tímto Robert Bosch LLC prohlašuje, že typ rádiového zařízení VIPHI2BT je v souladu se směrnicí 2014/53/EU. Úplné znění EU prohlášení o shodě je k dispozici na této internetové adrese: eu-doc.bosch.com

DA

Hermed erklærer Robert Bosch LLC, at radioudstyrstypen VIPHI2BT er i overensstemmelse med direktiv 2014/53/EU.

EU-overensstemmelseserklæringens fulde tekst kan findes på følgende internetadresse: eu-doc.bosch.com

ET

Käesolevaga deklareerib Robert Bosch LLC, et käesolev raadioseadme tüüp VIPHI2BT vastab direktiivi 2014/53/EL nõuetele.

ELi vastavusdeklaratsiooni täielik tekst on kättesaadav järgmisel internetiaadressil: eu-doc.bosch.com

ES

Por la presente, Robert Bosch LLC declara que el tipo de equipo radioeléctrico VIPHI2BT es conforme con la Directiva 2014/53/UE.

El texto completo de la declaración UE de conformidad está disponible en la dirección Internet siguiente: eu-doc.bosch.com

FI

Robert Bosch LLC vakuuttaa, että radiolaitetyyppi VIPHI2BT on direktiivin 2014/53/EU mukainen.

EU-vaatimustenmukaisuusvakuutuksen täysimittainen teksti on saatavilla seuraavassa internetosoitteessa: eu-doc.bosch.com

EN

Hereby, Robert Bosch LLC declares that the radio equipment type VIPHI2BT is in compliance with Directive 2014/53/EU.

The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address: eu-doc.bosch.com

HR

Robert Bosch LLC ovime izjavljuje da je radijska oprema tipa VIPHI2BT u skladu s Direktivom 2014/53/EU.

Cjeloviti tekst EU izjave o sukladnosti dostupan je na sljedećoj internetskoj adresi: eu-doc.bosch.com

HU

Robert Bosch LLC igazolja, hogy a VIPHI2BT típusú rádióberendezés megfelel a 2014/53/EU irányelvnek.

Az EU-megfelelőségi nyilatkozat teljes szövege elérhető a következő internetes címen: eu-doc.bosch.com

IT

Il fabbricante, Robert Bosch LLC, dichiara che il tipo di apparecchiatura radio VIPHI2BT è conforme alla direttiva 2014/53/UE.

Il testo completo della dichiarazione di conformità UE è disponibile al seguente indirizzo Internet: eu-doc.bosch.com

LT

Aš, Robert Bosch LLC, patvirtinu, kad radijo įrenginių tipas VIPHI2BT atitinka Direktyvą 2014/53/ES.

Visas ES atitikties deklaracijos tekstas prieinamas šiuo interneto adresu: eu-doc.bosch.com

LV

Ar šo Robert Bosch LLC deklarē, ka radioiekārta VIPHI2BT atbilst Direktīvai 2014/53/ES.

Pilns ES atbilstības deklarācijas teksts ir pieejams šādā interneta vietnē: eu-doc.bosch.com

MT

B'dan, Robert Bosch LLC, niddikjara li dan it-tip ta' tagħmir tar-radju VIPHI2BT huwa konformi mad-Direttiva

2014/53/UE.

It-test kollu tad-dikjarazzjoni ta' konformità tal-UE huwa disponibbli f'dan l-indirizz tal-Internet li ġej: eu-doc.

bosch.com

NL

Hierbij verklaar ik, Robert Bosch LLC, dat het type radioapparatuur VIPHI2BT conform is met Richtlijn

2014/53/UE.

De volledige tekst van de EU-conformiteitsverklaring kan worden geraadpleegd op het volgende internetadres: eu-doc.

bosch.com

PL

Robert Bosch LLC niniejszym oświadcza, że typ urządzenia radiowego VIPHI2BT jest zgodny z dyrektywą

2014/53/UE.

Pełny tekst deklaracji zgodności UE jest dostępny pod następującym adresem internetowym: eu-doc.bosch.com

PT

O(a) abaixo assinado(a) Robert Bosch LLC declara que o presente tipo de equipamento de rádio VIPHI2BT está

em conformidade com a Diretiva 2014/53/UE.

O texto integral da declaração de conformidade está disponível no seguinte endereço de Internet: eu-doc.

bosch.com

RO

Prin prezenta, Robert Bosch LLC declară că tipul de echipamente radio VIPHI2BT este în conformitate cu

Directiva 2014/53/UE.

Textul integral al declarației UE de conformitate este disponibil la următoarea adresă internet: eu-doc.bosch.com

SV

Härmed försäkrar Robert Bosch LLC att denna typ av radioutrustning VIPHI2BT överensstämmer med direktiv

2014/53/EU.

Den fullständiga texten till EU-försäkran om överensstämmelse finns på följande webbadress: eu-doc.bosch.com

SL

Robert Bosch LLC potrjuje, da je tip radijske opreme VIPHI2BT skladen z Direktivo 2014/53/EU.

Celotno besedilo izjave EU o skladnosti je na voljo na naslednjem spletnem naslovu: eu-doc.bosch.com

SK

Robert Bosch LLC týmto vyhlasuje, že rádiové zariadenie typu VIPHI2BT je v súlade so smernicou 2014/53/EÚ.

Úplné EÚ vyhlásenie o zhode je k dispozícii na tejto internetovej adrese: eu-doc.bosch.com

IS

Robert Bosch LLC lýsir því hér með yfir að þráðlausi fjarskiptabúnaðurinn VIPHI2BT er í samræmi við tilskipun

2014/53/ESB.

Óstytta texta ESB-samræmisfyrirlysingarinnar er að finna á veffanginu: eu-doc.bosch.com

Liechtenstein

Hiermit erklärt Robert Bosch LLC, dass der Funkanagentyp VIPHI2BT der Richtlinie 2014/53/EU entspricht.

Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter der folgenden Internetadresse verfügbar: eu-doc.

bosch.com

NO

Hermed erklærer Robert Bosch LLC at radioutstyrstypen VIPHI2BT er i samsvar med direktiv 2014/53/EU.

Hele teksten i EU-samsvarserklæringen finnes på følgende internettadresse: eu-doc.bosch.com

RU

Компания Robert Bosch LLC настоящим заявляет, что радиотехническое оборудование

категории VIPHI2BT отвечает требованиям Директивы 2014/53/EU.

Полный текст декларации соответствия ЕС доступен на сайте eu-doc.bosch.com.

空白ページ

技術仕様

技術仕様

製品の品質と技術革新への継続的なコミットメントを果すために、BRPは以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、その製品の設計や仕様の変更、追加、または改良をいつでも行う権利を留保します。

エンジン			
エンジンタイプ		ROTAX® 1330 ACE、4 ストローク、デュアルオーバーヘッドカムシャフト (DOHC)、水冷	
シリンダーの数		3	
バルブの数		12	
ボア		84 mm (3.31 in)	
ストローク		80 mm (3.15 in)	
排気量		1,330 cm ³ (81.16 in ³)	
圧縮比		12:1	
潤滑	タイプ	別個のオイルタンクおよびオイルクーラー付きのドライサンプ	
	エンジンオイルフィルター	BRP Rotax製のマイクロガラス繊維タイプ、交換式	
	トランスミッション/HCMオイルフィルター	BRP Rotax製の多層表面フィルター、交換可能	
	エンジンオイル容量	オイル交換および新しいエンジン・フィルターの取り付け	4.7 L (5 qt (liq.,US))
		新しいエンジンおよびHCMフィルターにおけるオイル交換	4.9 L (5.2 qt (liq.,US))
推奨されるエンジンオイル	このガイドのメンテナンス手順のセクションに記載の推奨エンジンオイルを参照してください。		
クラッチ	タイプ	油圧クラッチ + TCMによって自動的にコントロールされているウェットマルチプレートクラッチ	
	起動時	1100 RPM	
エキゾーストシステム		3-1マニホールド、触媒コンバータ付きプライマリマフラー、セカンダリマフラー	
エアフィルター		紙要素	

ギアボックス			
タイプ		6速シーケンシャルマニュアル (SM6) + 遠隔電子リバースイ ンターロック	
冷却システム			
タイプ		液冷, クーリングファン付きのダ ブル・ラジエーター	
クーラン ト	タイプ	このガイドのメンテナンス手 順のセクションに記載の推奨エ ンジンクーラントを参照してく ださい。	
	定員	4.2 L (1.1 gal(liq.,US))	
電気システム			
イグニッションシステム形式		デュアル出力コイル付きの電子 イグニッション	
イグニッションタイミング		調整不可	
スパーク プラグ	量	3	
	メーカーと型式	NGK MR7BI-8 (イリジウム) ま たは相当品	
	ギャップ	0.7 ~ 0.8 mm (0.028 ~ 0.031 in)	
エンジン 回転リミ ッターの 設定	前進	8100 RPM (ドライブトレイン 駆 動時)	
		7500 RPM (クラッチが切れてい る状態がニュートラル時)	
バッテリ ー	タイプ	メンテナンスフリー	
	電圧	12ボルト	
	公称定格	21 A・h	
	推奨される充電速度	2 A	
ヘッドライト ハイ/ロー		北米モデ ル	ハロゲン 2 x 55/60 W (タイプ HB2)
		他のモデ ル	ハイビーム: ハロゲン 2 x 60 W (タイプ HB2) ロービーム: ハロゲン 2 x 55 W (タイプ H7)
テールライト/ブレーキライト		日本、T お よびリミ テッドモ	2 x 5/21 W

電気システム			
		デル以外の全モデル	
		Tモデル	2X 0.26 W/2.4W
		リミテッドモデル - 北米	2X 0,26W/2,4W + 0.14W/2.6W
		全リミテッドモデル (北米以外)	2X 0,26W/2,4W + 2.6W
		Sモデル - 日本	2 x 21 W + LED 3.1 W
ターンシグナルライト	フロント	STD S	2 x 21 W
		Tリミテッド	2 x 3.2 W
	リア	S - 欧州モデル	2 x 21 W
		その他の全モデル	2 x 10 W
ポジションライト	フロント		LED 2 x 1 W
	リア	S - 日本向けモデル	LED 0.6 W
		Tリミテッド	2 x 0.26 W
		その他の全モデル	2 x 5 W
ライセンスプレートライト		STD S	10 W
		Tリミテッド	5 W
バックアップ・ライト			21 W
ヒューズ			ヒューズの交換方法のヒューズを参照してください。

燃料システム		
燃料供給	タイプ	マルチポイントエレクトリック フューエルインジェクション (EFI)、ETC付き (エレクトリック スロットルコントロール)、 シングルスロットルボディ (54 mm)、アクチュエーター付き
燃料ポン プ	タイプ	エレクトリカルモジュール (燃料 タンク内)
アイドルスピード		900 RPM (電子制御タイプ、調整不可)
燃料	タイプ	無鉛プレミアム ガソリン
	最小オクタン価	87 AKI (RON+MON)/2
		92 RON
	推奨されるオクタン濃度	91 AKI (RON+MON)/2
95 RON		
燃料タンク容量		27 L (7.1 gal(liq.,US))

駆動システム		
終駆動機の形式		カーボン強化されたドライブベ ルト
ファイナル・ドライ ブ比	北米	89/28
	その他のすべての国	79/28

ステアリング	
タイプ	ダイナミックパワーステアリン グ

フロントサスペンション	
サスペンションタイプ	スタビライザーバー付きのダブ ルサスペンションアーム
サスペンショントラベル	129 mm (5.1 in)

フロントサスペンション			
ショック アブソー バ	数量		2
	タイプ	Sモデル	カヤバ、ガス式
		その他の 全モデル	SACHS「Big Bore」
スプリングプリロード調節		STDモデル 以外の 全モデル	ネジ山付きリング

リアサスペンション			
サスペンションタイプ	Tモデル	手動プレッシャー調整付きエア ライド モノショック付きスイングア ーム	
	リミテッ ドモデル	自動セルフレベルリング調整付き エアコントロール式サスペンシ ョン モノショック付きスイングア ーム	
	他のモデ ル	モノショック付きスウィングア ーム	
サスペンショントラベル			132 mm (5.2 in)
ショック アブソー バ	数量		1
	タイプ		SACHS ツインチューブコイルカ バー
スプリングプリロード調節	Tモデル		空気圧調整式: 105 ~ 515 kPa (15 ~ 75 lbf/in ²)
	その他の 全モデル		調節不可

ブレーキ	
タイプ	ABSおよびEBD付きの、足踏式 完全統合油圧3輪ブレーキシステ ム
フロントブレーキ	デュアル270 mm (11 in) リジッドディスク 4ピストンキャリパー、2パッ ド、ラジアルマウント型Brembo Monobloc
リアブレーキ	シングル270 mm (11 in) ディスク

ブレーキ		
		パーキングブレーキ付きの1ピストンフローティングキャリパー
ブレーキ液	定員	480 ml (16.2 fl oz(US))
	タイプ	DOT 4
パーキングブレーキ		機械式、リアキャリパーを電子的に作動。
最小ブレーキディスク厚		1 mm (0.04 in)
最小ブレーキパッド厚		6.4 mm (0.252 in)
ブレーキディスクのねじれ最大		0.100 mm (0.004 in)

タイヤ		
タイプ (BRP が推奨するラジアルタイヤのみ使用してください)	フロント	Kenda KR31 MC165/55R15 55H
	リア	Kenda KR21A MC225/50R15 76H
圧力		必ずタイヤ圧と最大荷重ラベルを参照してください。 注：フロントタイヤ同士の圧力差が3.4 kPa (0.5 lbf/in ²) を超えないようにしてください
タイヤ溝の最小深さ	フロント	2.5 mm (3/32 in)
	リア	4.0 mm (5/32 in)

ホイール		
サイズ (直径 × 幅)	フロント	381 x 127 mm (15 x 5 in)
	リア	381 x 178 mm (15 x 7 in)
前輪ナットへのトルク		109 ± 4 Nm (80 ± 3 lbf-ft)
リア車軸ナットへのトルク		225 ± 15 Nm (166 ± 11 lbf-ft)

寸法		
全長	STDモデル Sモデル	2,642 mm (104 in)

寸法		
	Tモデル	2,596 mm (102.2 in)
	制限	2,820 mm (111 in)
全幅		1,497 mm (58.9 in)
全長	STDモデル Sモデル	1,099 mm (43.3 in)
	Tモデル リミテッドモデル	1,241 mm (48.9 in)
シートの高さ (上部)		675 mm (26.6 in)
車両ベース		1,709 mm (67.3 in)
前輪トラック		1,308 mm (51.5 in)
最低地上高 (エンジンの前部および下部)		115 mm (4.5 in)

重量および積載量		
乾燥重量	STDモデル Sモデル	408 kg (899 lb)
	Tモデル	430 kg (948 lb)
	リミテッドモデル	448 kg (988 lb)
フロントストレージコンパートメント	定員	24.4 L (6.45 gal(liq.,US))
	最大積載量	6.8 kg (15 lb)
サドルバッグ (装備されている場合)	右サドルバッグ容量	26 L (6.87 gal(liq.,US))
	左サドルバッグ容量	24 L (6.34 gal(liq.,US))
	最大積載量	6.8 kg (15 lb)
上部ストレージコンパートメント (装備されている場合)	定員	43 L (11.36 gal(liq.,US))
	最大積載量	9 kg (20 lb)
許容される合計車両積載量 (ドライバー、その他すべての積載、追加されたアクセサリも含みます)	リミテッドモデル	209 kg (460.8 lb)
	その他の全モデル	199 kg (439 lb)

重量および積載量			
車両総重量車両総重量 (GVWR)		STDモデル Sモデル	627 kg (1,382 lb)
		Tモデル	648 kg (1,429 lb)
		リミテッドモデル	677 kg (1,493 lb)
車軸総重量 (GVWR)	フロント	STDモデル Sモデル	336 kg (741 lb)
		Tモデル リミテッドモデル	340 kg (750 lb)
	リア	STDモデル Sモデル	291 kg (642 lb)
		Tモデル	310 kg (683 lb)
		リミテッドモデル	341 kg (752 lb)
	トレーラーの接合部への最大重量		
最大牽引重量 (トレーラーおよびカーゴ)			182 kg (400 lb)

空白ページ

保証

BRP限定保証 – 米国およびカナダ：2022 CAN-AM® SPYDER® シリーズ

1. 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」)は、米国およびカナダの認定Can-Am On-Roadディーラー(以下「ディーラー」)によって販売された2022年型のCan-Am Spyder(以下「製品」)について、指定の期間の間、下記の条件のもとで素材または製造上の欠陥がないことを保証します。以下の場合は、この限定保証は無効になります：(1)製品を、以前の所有者による行為である場合も含めて、一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合、または(2)オドメーターを取り外したり、改ざんした場合。(3)製品をオフロードで使用した場合。(4)製品の動作、性能または耐久性に悪影響を与えるような方法で改造、修正した場合、または、意図された仕様を変えるような改造、修正した場合。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリを保証しません。該当する部品およびアクセサリの限定保証に関する文章を参照してください。

2. 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められていないため、それらはあなたには適用されない可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

ディストリビューター、ディーラー、そしていかなる個人は、この限定保証に含まれていない確約、表明、または保証を提供する許可はされておらず、万が一提供された場合は、それらの内容はBRPに対して強制できるものではありません。BRPは、限定保証が有効である期間中は販売済みの製品に適用される保証条件が変更されないことを前提として、この保証をいつでも変更する権利を留保します。

3. 除外規定 (以下は保証修理の対象とはなりません)

以下は保証対象ではありません：

- オイル、潤滑剤、液体、フィルターおよびスパークプラグを含むがこれらの限定されない、定期的にメンテナンスする必要のある部品の交換。
- タイヤ、バッテリー、発電機のブラシ、シールドビームおよび電球、クラッチプレートおよびフェーシング、駆動ベルト、ブレーキ・パッド、ブレーキ・ライニング、ローターおよびスプロケットを含む部品の通常の磨耗および消耗。
- ベルト、アラインメントおよび車輪バランスの調整を含む部品のチューンアップおよび調整。
- シートカバーの素材の傷、へこみ、退色、剥離や損傷を含む製品の外観への損傷。
- オペレーターズガイドに示されている適正なメンテナンスまたは保管を怠ったために発生した損害。

- 製品の正式仕様範囲を超える部品を取り外し、不適切な修理、扱いまたはメンテナンス、および改造や改変による損傷、または認定ディーラーの一員ではない人によって行われた修理によって生じた損傷。
- 異なるタイヤ、エキゾースト・システム、車輪またはブレーキを含む純正部品とは異なる仕様の部品の取り付けにより生じた損傷。
- 誤用、乱用、過失、またはオペレーターズガイドで説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害。
- 水の吸い込み、事故、道路上の危険性、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷。
- オペレーターズガイドの推奨事項と異なる仕様の燃料、オイルまたは液体を使って生じた損傷。
- オペレーターズガイドの説明とは異なる道路塩、バッテリー液または環境の影響から生じた損傷。
- 間接的な損害、付随的な損害、つまり、牽引、保管、電話、レンタル、タクシー、不便性、保険対象、ローンの支払い、時間の損失、所得喪失等それら のみに限定されないその種の損害。

4.保証対象期間

この限定保証は、製品が最初の小売消費者に納品された日と、製品が初めて使用された日のうちいずれか早い方に発効し、以下に定める期間中効力を有します。

1. 個人使用、レクリエーション用途の場合、以下の(2)～(5)の状況以外では、**連続する24カ月間**、業務使用の場合、以下の(2)～(5)の状況以外では、**連続する12カ月間**。
保証期間中であっても、製品による収入の発生、または製品が何らかの業務または職業で用いられた場合は、製品は商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中に製品が商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、製品は商業的用途で使用されたものと見なされます。これは最小限の保障期間で、場合によっては適用される保証プロモーションプログラムによる延長が可能です。
2. バッテリーにおいては、**連続する6ヶ月間**。
3. タイヤにおいては、**連続する6ヶ月間**、または前輪が3/32インチ(2.38 mm)まですり減った時点、または後輪が5/32インチ(3.97 mm)まですり減った時点の、いずれか最初に発生した時点。
4. 排出ガス関連のコンポーネントに関しては、本書に記載された米国EPA排出ガス性能保証も参照してください。
5. カリフォルニア州の住民への販売、およびその後の保証はカリフォルニア州の住民に登録されることを本来意図して製造され、カリフォルニア州での販売を目的とした製品については、関連するカリフォルニア州の排出ガス制御保証規定もご覧ください。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

5.保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときにのみ適用されます。

- 製品は、その販売が行われた国において製品の販売を許可されている Can-Am On-Roadディーラー(以下「ディーラー」)から、新品で未使用の製品として最初の所有者により購入される必要があります。

- BRPが指定する納入前点検を完全に実施し、文書化し、購入者がそれを署名する必要があります。
- 製品が、認定Can-Am On-Roadディーラーによって正しく保証登録手続きがされていること。
- 製品は、購入者が居住する国で購入される必要があります。
- オペレーターズガイドに従って定期的なメンテナンスを行う必要があります。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6.保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後に製品の使用を中断しなければなりません。お客様は欠陥の発見から3日以内に、整備を行うディーラーにその旨を通知し、ディーラーが修理を行うために必要とする期間をディーラーに与える必要があります。また、お客様は製品の購入を証明するものをディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

7.BRPが行うこと

この保証に基づくBRPの義務は、保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の認定ディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しい純正製品部品と交換することです。BRPの責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、製品の払い戻しや販売の撤回の理由とはなりません。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、政府、州、領域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、製造されたいかなる製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8.譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この限定保証もその諸条項に基づいて譲渡され、BRPまたは認定ディストリビューター/ディーラーが、もとの所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

9.お客様サポート

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について、認定ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドのお客様窓口のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

米国EPA排出ガス性能保証

Bombardier Recreational Products Inc. (「BRP」)は、以下の条件をすべて満たしている場合に保証致します。

1. 製品は、正しいメンテナンスと使用に関する文書による指示に従い整備、操作されている。
2. 製品が使用耐用期間中に、EPA承認の排出ガステストにより定められた該当の排出ガス基準またはファミリー排出ガス限度に適応できなくなった。
3. 不適合により、製品の所有者が、地域、州または連邦の法律に基づき、罰金その他の制裁（製品を使用する権利の否定を含む）を負う、または負うであろう結果を招いた際、製品が5年以上または30,000キロメートル（18,641マイル）以上使用されている場合を除き、BRPは所有者に費用負担をかけずに不適合を補修します。BRPには、製品の排出ガスを減少させることを唯一または主な目的として取り付けられたコンポーネント（1968年式以前には一般的に使用されていなかったもの）の故障から生じた不適合の修正のみが義務付けられています。

保証期間は、製品が最終購入者に納品された日に、または製品が最初に「展示品」または「会社」のモーターサイクルとして使用された場合には最初に使用された日に始まります。

排気ガス性能保証によって使用耐用期間中の全期間保証されているアイテムは以下の通りです。

燃料システムおよび給気システム

- 燃料インジェクター、燃料ポンプモジュール、燃料フィルターアセンブリ、スロットルボディ（スロットルポジションセンサーを含む）、インテークマニホールド

イグニションコンポーネントおよびセンサー

- エンジンコントロールモジュール（ECM）、エンジン配線ハーネス、イグニションコイル、スパークプラグ（保証されるのは最初の整備交換まで）、騒音センサー（ノックセンサー）、カムシャフトポジションセンサー、クランクシャフトポジションセンサー、温度センサー、圧力および温度センサー、酸素センサー

エキゾーストシステム

- プライマリマフラー（触媒コンバーターを含む）、排気マニホールド
- クランプ、ガスケットおよびシール（エンジンからプライマリマフラーまで）

クランクケースベンチレーションシステム

- クランクケースベントブリーザー、クランクケースベントホース、オイルフィルターキャップ

蒸気ガスエミッションコントロールシステム

- 燃料タンク、燃料キャップ、燃料ホース、蒸気キャニスター、蒸気キャニスターのマウンティングブラケット、ブリード弁（パージバルブ）、チェックバルブ、フィルター、蒸発用コンポーネント、マウンティングブラケット
- クランプ、シール、ガスケットおよびフィッティング（燃料システムアセンブリに関係するもの）

適切なメンテナンスについては、このオペレーターズガイドのメンテナンス情報セクションをご覧ください。このオペレーターズガイドには、製品の適切な使用に関する情報が含まれています。

排気ガス性能保証によると、以下のリストの項目2により要求される緊急修理を除き、BRPは認定Can-Am On-Roadディーラーに修理のために正当に持ち込まれたあらゆる製品の補修費用全額を支払う責任があります。故障した製品の所有者に課される罰金または制裁の程度に関する州または地域の法律は、この責務には関係しません。

以下の理由を根拠に、BRPが排気ガス性能保証の請求を拒否することはありません。

1. BRPによって認定された施設でそういった作業またはサービスを行うために実施された保証作業または納入前サービス
2. 製品の所有者が製品が規格に合致するよう迅速に対処した場合に限り、BRPが原因の、運転が危険な状態を含む危険状態を修正するために緊急状況で行われた作業
3. 適用される排出ガス基準に製品が適応できない理由とは無関係な、保証されていない部品の使用、または適切なメンテナンスおよび使用に関する文書による指示の不履行
4. BRPに責任があるあらゆる原因
5. 適切なメンテナンスおよび使用に関する文書による指示で特にその燃料の使用が製品の排気ガス制御装置およびシステムに悪影響を及ぼすと明記され、使用に適切な燃料の識別方法に関する一般的に良く知られている情報を所有者が得られる場合を除き、製品が存在する地域で一般的に使用されているいかなる燃料の使用メンテナンス情報のセクションおよび給油のセクションにある燃料に関する要件を参照してください。

前の項目に記されている場合を除き、保証されていない部品の使用が原因で製品が排気ガス基準を満たせなくなった場合に、BRPは、製品のメンテナンスまたは修理で使用された保証されていないアフターサービス部品に基づいて、排気ガス性能保証の請求を拒否することがあります。純正部品と同等ではない部品または保証されていないアフターサービス部品の使用は、排気ガス制御システムの効率に悪影響を及ぼす可能性があり、製品が排気ガス基準を満たさなくなります。保証部品の使用は排気ガス性能保証に影響しません。排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理は、モーターサイクルの修理店または保証部品を使用する個人なら誰でも実施できます。

お客様は、欠陥に気がついたらすぐに、認定Can-Am On-Roadディーラーに製品を持ち込む責任があります。認定Can-Am On-Roadディーラーが保証請求の手続きをします。

認定Can-Am On-Roadディーラーが、（製品の所有者、あるいはBRPまたは認定Can-Am On-Roadディーラーのコントロール外の出来事が原因ではない理由で）最初に製品が認定Can-Am On-Roadディーラーに持ち込まれて30日以内に

製品を修理できない場合は、所有者には、所有者が選んだ修理店で、BRPが費用を負担して、保証補修を行う権利があります。

この保証に基づいて交換された欠陥部品は、すべてBRPの所有となります。

連絡先: Director, Field Operations and Support Division (6406J), Environmental Protection Agency, 401 "M" Street, SW., Washington, DC 20460 (Attention: Warranty Claim)。排気ガス性能保証に関する詳細について、または排気ガス性能保証条項の違反の報告は、この連絡先に問い合わせてください。

また、Bombardier Recreational Products Inc (以下「BRP」とします)は、最終購入者および各二次購入者に対して、排気工ミッション制御システムおよび蒸発ガス制御システムのすべての部品を含み、この新しい製品が二つの条件を満たすことを保証します。

- 最終購入者への販売時に、オンロードモーターサイクルに適用される40 CFR 86および蒸気ガス排出基準40 CFR 1051の要件に準拠するよう設計、組み立て、装備されています。
- オンロードモーターサイクルに適用される40 CFR 86および蒸気ガス排出基準40 CFR 1051の要件への準拠を妨げるような素材および製造上の欠陥はありません。

保証の対象となるものがある場合は、BRPは表示された保障期間中、エンジンからの規制汚染物質の排出量を増加させる部材または製造上の欠陥がある部品やコンポーネントの修理または取り換えを、排出ガス関連部品の診断、修理または取り換の費用を含み、無償で行います。

排出ガス関連保証は、以下の期間のうち最も短い期間となります。

	走行距離 (キロメートル/マイル)	期間 (年)
排出ガスおよび蒸気ガス関連コンポーネント:	30,000/18,641	5

米国EPA連邦騒音工ミッション保証

また、Bombardier Recreational Products Inc (以下「BRP」)は、最終購入者および各二次購入者に対して、以下の期間で最も先に訪れた期間、この新しい製品が販売時にすべての適用される米国EPA連邦騒音コントロール基準を満たすよう設計、組み立て、装備されており、適切に整備および使用されている場合には、すべての適用される米国EPA連邦騒音基準への準拠を妨げるような素材および製造上の欠陥がないことを保証します。

走行距離 (キロメートル/マイル)	年
6,000/3,730	1

カリフォルニア州排出ガス制御システム保証

カリフォルニア州排出ガス制御システム保証規定

お客様の保証の権利と義務

これよりカリフォルニア州大気資源委員会およびBRP US Inc. (「BRP」) は、2022年型のCan-Am Spyderの排出ガス制御システム保証に関する説明をします。カリフォルニアでは、新しい自動車は州のスモッグ防止基準を満たすように設計、組み立て、装備されてなければなりません。BRPは、酷使や不注意、そして不適切なメンテナンスが行われない限り、使用されている車両を下記の期間以上、車両の排出ガス制御システムを保証しなければなりません。

排出ガス制御システムには、噴射装置、イグニッションシステム、触媒コンバーター、およびエンジンコンピューター等の部分が含まれます。またホース、コネクタ、およびその他の排出関連のアセンブリが含まれます。保証の対象となるものがある場合は、BRPは診断、部品、および労働費を含めて、無料で車両を修理いたします。

製造元による保証範囲

5年ごとまたは30,000 km (18,641 mi) 走行ごと (いずれか早い方)

オーナーの保証責任

- 車両の所有者として、お客様はオーナーズマニュアルに記載された必要なメンテナンスを実施する責任を負っています。BRPは車両の保証に関するすべての受領書を安全な場所に保管しておくことを推奨しますが、BRPは受領書の紛失またはすべてのメンテナンスをお客様が行わなかったとしても、保証の提供をいたします。
- 問題が発生した場合は、車両をBRP認定ディーラーにできるだけ早く持ち込んでください。保証修理期間は、30日以下とする妥当な時間を用います。
- また、車両の所有者として、BRPは酷使、不注意、不適切なメンテナンス、不適切な改変により生じた車両または部品の故障に対する一切の保証をいたしかることを考慮してください。

保証の権利や責任についてご質問がある場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。

- BRP Customer Assistance Center (お客様相談室) : 1-888-272-9222
- カリフォルニア州大気資源委員会 (9528 Telstar Avenue, El Monte, CA 91731)

カリフォルニア州排出ガス制御システム瑕疵保証

一般的な排出ガス瑕疵保証対象

BRPは所有者に対し、次のことを保証します。

- 販売の時点で、衛生安全法規第26部、パート5、第1および2章の根拠に従い、大気資源委員会が採用している該当のすべての規制に適合するように、車両が設計、製造、および装備されていること。
- あらゆる材料の観点から見て、車両メーカーの認証申請書に記述されている部品と同一とされる保証部品の故障を引き起こすような部材および製造上の欠陥が車両にないこと。

この保証は、最初の購入者（認定ディーラーを除く）に車両が納入された日、またはデモ車両、リース車、もしくは社用車として初めて使用された日のいずれが早い方から始まり、以下に示す期間または走行距離の間継続するものとします。

BRP限定保証には、排出ガス制御システム瑕疵保証が加えられるものとします。

排出ガス関連部品の保証は、次のように適用されるものとします。

1. 書面の説明書に記載されている必要なメンテナンスとして交換が予定されていない保証部品については、以下に定められた期間、保証が継続するものとします。保証期間中に当該部品が故障した場合、その部品はBRPによって修理または交換されるものとします。修理または交換された保証対象の部品については、残りの保証期間が満了するまで、保証が継続するものとします。
2. 書面の説明書に記載されている定期メンテナンスのみが予定されている保証部品については、以下に定められた期間、保証が継続するものとします。当該説明書に示されている、「必要に応じて修理または交換」の影響に対する声明によって、保証対象期間が短縮されることはありません。修理または交換された保証対象の部品については、残りの保証期間が満了するまで、保証が継続するものとします。
3. 書面の説明書に記載されている必要なメンテナンスとして交換が予定されている保証部品については、その部品の最初の定期交換までの期間または走行距離の間（いずれが早い方）、保証が継続するものとします。最初の定期交換までに部品が故障した場合、その部品はBRPによって修理または交換されるものとします。修理または交換された保証対象の部品については、その部品の最初の定期交換までの残りの期間が満了するまで、保証が継続するものとします。
4. 合理的な理由で保証部品または保証ステーションを車両所有者にご利用いただけない緊急時を除き、いずれの保証対象部品の修理または交換も、車両所有者への費用負担なく、保証ステーションにて実施されるものとします。緊急時の場合は、利用できるいずれかのサービス施設にて、または所有者が、交換部品を使用して修理を実施してよいものとします。BRPは、上述の緊急時の修理や交換に関する診断費などの費用を、メーカーが提示する交換された全保証部品の小売価格、保証修理に関するメーカーの推奨時間に基づいた労務費、および地理的に妥当とされる時間賃率を超えない範囲で、所有者に払い戻すものとします。メーカーの書面の説明書によって所有者にその義務が通知されている場合、車両所有者は、緊急であることを理由に払い戻し対象となっている保証部品に関する支払いを受けるために、領収書や故障部品の保管を求められる場合があります。
5. 保証サービスや修理は、対象車両のサービスを実施するためにフランチャイズ契約されているいずれかのBRPディーラーで行われるものとします。
6. 診断作業が保証ステーションで行われる場合、車両所有者は、保証部品に不具合があるという判断に結びつく当該診断の費用を負担しないものとします。
7. BRPは、保証部品の保証の下で、故障箇所付近で生じた他の車両部品の損傷について、責任を負うものとします。
8. 車両が修理のために最初に保証ステーションに搬入されてから30日を超えない合理的な期間内に、当該部品が入手できないまたは修理が不完全なままとなる場合は、緊急時の扱いとします。
9. メンテナンスまたは修理の実施においては、いずれかの交換部品を使用してよいものとします。保証修理の際は、車両所有者への負担がないことを条

件に、メーカーによって指定された交換部品を使用してもよいものとし
ます。こうした部品の使用は、車両またはエンジンメーカーの保証義務を軽減
するものとはなりません。ただし、保証対象ではない部品の修理や交換につ
いてBRPに責任がない場合を除きます (サブセクション (7) に示されてい
る場合を除きます)。

10. 大気資源委員会によって車両法のセクション27156の禁止事項から免除され
ている追加部品または改造部品については、車両に使用してよいものとし
ます。当該部品の使用や部品そのものは、この項に従って行われる保証請求を
許可しないことの原因にはならないものとします。BRPは、この項のもと
で、追加部品または改造部品の使用によって生じた保証部品の故障を保証す
る責任を負わないものとします。

保証期間

5年ごとまたは30,000 km (18,641 mi) 走行ごと (いずれか早い方)

例外

車両が誤用されている、手入れされていない、または誤ったメンテナンスが行
われていること、およびそれらの誤用、手入れ、または誤ったメンテナンス
が修理または交換の必要性の直接的原因であることをBRPが証明した場合、保
証対象のいずれかの保証部品の修理または交換は、当該保証の対象から除外さ
れるものとします。

上記の場合を除き、工場で設置されて装置を正しく作動、調整、制御している
部品の調整は、保証対象となります。

製造元による保証範囲

5年ごとまたは30,000 km (18,641 mi) 走行ごと (いずれか早い方)

対象部品

燃料システムおよび給気システム

- 燃料インジェクター、燃料ポンプモジュール、燃料フィルターアセンブリ、
スロットルボディ (スロットルポジションセンサーを含む)、インテークマ
ニホールド。

イグニションコンポーネントおよびセンサー

- エンジンコントロールモジュール (ECM)、エンジン配線ハーネス、イグ
ニションコイル、スパークプラグ (保証されるのは最初の整備交換まで)、
騒音センサー (ノックセンサー)、カムシャフトポジションセンサー、温度
センサー (クーラント)、圧力および温度センサー、酸素センサー。

エキゾーストシステム

- プライマリマフラー (触媒コンバーターを含む) 排気マニホールド。
- クランプ、ガスケットおよびシール (エンジンからプライマリマフラーま
で)。

クランクケースベンチレーションシステム

- クランクケースベントブリーザー、クランクケースベントホース、オイル
フィルターキャップ。

蒸気ガスエミッションコントロールシステム

- 燃料タンク、燃料キャップ、燃料ホース、蒸気キャニスター、蒸気キャニスターのマウンティングブラケット、ブリード弁 (パージバルブ)、チェックバルブ、フィルター、蒸発用コンポーネント、マウンティングブラケット。
- クランプ、シール、ガスケット、およびフィッティング (燃料システムアセンブリに関するもの)。

適切なメンテナンスについては、このオペレーターズガイドのメンテナンス情報セクションをご覧ください。このオペレーターズガイドには、車両の適切な使用に関する情報が含まれています。

BRP国際限定保証：2022 CAN-AM® SPYDER® シリーズ

1. 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」)は、米国、カナダ、欧州経済地域(「EEA」)の国々(欧州連合にイギリス、ノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタインを加えて構成される)、独立国家共同体(ウクライナ、トルクメニスタンを含む)の加盟国(「CIS」)以外の地域にCan-Am On-Road製品を供給するためにBRPが認定したディーラー(以下「Can-Am On-Roadディストリビューター/ディーラー」)によって販売された2022年型Can-Am Spyder(以下「製品」)について、指定された期間、下記の条件の下で部材または製造上の欠陥がないことを保証します。以下の場合、この限定保証は無効になります：(1)製品を、以前の所有者による行為である場合も含めて、一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合、または(2)オドメーターを取り外したり、改ざんした場合。(3)製品をオフロードで使用した場合。(4)製品の動作、性能または耐久性に悪影響を与えるような方法で改造、修正した場合、または、意図された仕様を変えるような改造、修正した場合。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリを保証しません。該当する部品およびアクセサリの限定保証に関する文章を参照してください。

2. 責任の範囲

法律の許す範囲内における管轄で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。この保証は、偶然による、必然的、直接的、間接的またはその他のいかなるすべての損害を保証しません。特定の管轄では、上記の偶発による、または必然的な損傷やその他の除外規定における制限や免責事項は適用されない場合があります。そのため、上記の規定はお客様に適用されない場合があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国または法域ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。(オーストラリアで購入された製品については、以下の第4項をご参照ください)。

認定ディストリビューターまたはディーラーや、その他の人物のいずれにおいても、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表示、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にもBRPに対する強制力はありません。BRPはこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更されないことに同意します。

3. 除外規定 (以下は保証修理の対象とはなりません)

どの状況においても、以下はこの限定的保証の対象ではありません。

- オイルおよび潤滑剤、フィルターおよびスパークプラグを含む、定期的なメンテナンスが必要な部品の交換。
- タイヤ、バッテリー、発電機のブラシ、シールドビームおよび電球、クラッチプレートおよびフェーシング、駆動ベルト、ブレーキパッド、ブレー

- キ・ライニング、ローターおよびスプロケットを含む部品の通常の磨耗および消耗。
- ベルト、アラインメントおよび車輪バランスの調整を含む部品のチューンアップおよび調整。
 - シートカバーの素材の傷、へこみ、退色、剥離や損傷を含む製品の外観への損傷。
 - 『オペレーターズガイド』に示されている過失、または適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害。
 - 製品の正式仕様範囲を超える部品を取り外し、不適切な修理、扱いまたはメンテナンス、および改造や改変による損傷によって生じた損傷、またはBRPによって製造または承認されず、BRPによって製品に適格ではない、または製品の操作に不利に影響すると合理的に判断された部品やアクセサリを使用して生じた損傷、または認定ディストリビューターまたはディーラーによって行われなかった修理から生じた損傷。
 - 異なるタイヤ、エキゾースト・システム、車輪またはブレーキを含む純正部品とは異なる仕様の部品の取り付けにより生じた損傷。
 - 誤用、乱用、過失、レースでの使用、またはオペレーターズガイドで説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害。
 - 水の吸い込み、事故、道路上の危険性、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷。
 - オペレーターズガイドの推奨事項と異なる仕様の燃料、オイルまたは潤滑剤を使って生じた損傷。
 - オペレーターズガイドの説明とは異なる道路塩、バッテリー液または環境の影響から生じた損傷。
 - ガソリンの費用、認定ディストリビューターまたはディーラーに製品を回送、回収するための費用、メカニックの出張費、トレーラーまたは牽引による移送、保管、携帯、ファックスまたは電報の料金、保証の施行期間における代替製品のレンタル、タクシー、旅費、宿泊費、私物の損失または欠損、不便性、保険の費用、ローンの支払い、時間の損失、所得、収入や利益の損失、または製品の使用または使用の楽しみの損失などを含むが、これらに限定されない偶発的または必然的な損害。

4.保証対象期間

この保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはその製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の期間有効です。

1. 個人使用、レクリエーション用途の場合、以下の(2)および(3)の状況以外では、**連続する24カ月間**、業務使用の場合、以下の(2)および(3)の状況以外では、**連続する12カ月間**。
保証期間中であっても、製品による収入の発生、または製品が何らかの業務または職業で用いられた場合は、製品は商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中に製品が商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、Roadsterは商業的用途で使用されたものと見なされます。
2. バッテリーにおいては、**連続する6ヶ月間**。
3. タイヤについては、**連続する6ヶ月間**、または前輪が3/32インチ(2.38mm)まですり減った時点、または後輪が5/32インチ(3.97mm)まですり減った時点の、いずれか最初に発生した時点。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

保証期間および保証の他の条件は、お客様の国で適用される関連する法令に従います。

オーストラリアで販売される製品のみ適用

これらの保証の利用規約は、オーストラリアの消費者法またはその他の法律を含む、Competition and Consumer Act 2010 (Cth) (2010年競争・消費者法) によって授与または黙示されるいかなる条件、保証、請け合い、権利または善後策の適用を除外、制限または変更しないものとし、法律を違反しないものとなります。もし違反する利用規約がある場合、それは無効となります。この限定的保証で得られるメリットは、オーストラリアの法律で守られている権利および善後策に加えて与えられます。

弊社の製品の保証は、オーストラリアの消費者法によって守られています。重故障に対する交換または払い戻し、またはその他のいかなる合理的に予見可能な損失または損害に対する補償が約束されます。お客様には、製品が許容される品質を満たせず、その故障が重故障とならない場合、その製品を修理または交換する権利があります。

5.保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときにのみ適用されます。

- 製品は、その販売が行われた国または連邦国において製品の販売を許可されているディストリビューターまたはディーラーから、新品で未使用の製品として最初の所有者により購入される必要があります。
- BRPが指定する納入前点検が購入者および認定ディストリビューターまたはディーラーによって完了および文書化され、購入者によって署名されている。
- 製品は、認定ディストリビューター / ディーラーによって正しく保証登録されなければなりません。
- 製品は、購入者が居住する国または連邦国で購入される必要があります。
- オペレーターズガイドに記載されている定期的メンテナンスは時宜に即して行う必要があります。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6.保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後に製品の使用を中断しなければなりません。お客様は欠陥の発現から2ヶ月以内に、整備を行うディストリビューターまたはディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーににあたえなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをディストリビューターまたはディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理 / 作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。通知期間はお客様の国で適用される関連する法令に従うことに留意ください。

7. BRPが行うこと

法律が許す範囲内において、この保証に基づくBRPの義務は以下に記載する条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の認定ディストリビューターまたはディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しい純正部品と交換することに限定されます。BRPの責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、製品の払い戻しや販売の撤回の理由とはなりません。権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、またはEEA居住者がEEA外で、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、政府、州、領域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造されたすべての製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8. 譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この限定保証もその諸条項に基づいて譲渡され、BRPまたは認定ディストリビューター/ディーラーが、もとの所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

9. お客様サポート

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について、認定ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドのお客様窓口のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

欧州経済地域、独立国家共同体の加盟国およびトルコ向けBRP限定保証：2022 CAN-AM® SPYDER® シリーズ

1. 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」)は、米欧州経済地域(「EEA」)の加盟国(欧州連合にイギリス、ノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタインを加えて構成される)、独立国家共同体(ウクライナ、トルクメニスタンを含む)の加盟国(「CIS」)、およびトルコの地域に、Can-Am On-Road製品を供給するためにBRPが認定したディストリビューターまたはディーラー(以下「Can-Am On-Roadディストリビューター/ディーラー」)によって販売された2022年型のCan-Am Spyder(以下「製品」)について、指定された期間、下記の条件の下で素材または製造上の欠陥がないことを保証します。以下の場合、この限定保証は無効になります：(1)製品を、以前の所有者による行為である場合も含めて、一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合、または(2)オドメーターを取り外したり、改ざんした場合。(3)製品をオフロードで使用した場合。(4)製品の動作、性能または耐久性に悪影響を与えるような方法で改造、修正した場合、または、意図された仕様を変えようとする改造、修正した場合。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリを保証しません。該当する部品およびアクセサリの限定保証に関する文章を参照してください。

2. 責任の範囲

法律の許す範囲内における管轄で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。この保証は、偶然による、必然的、直接的、間接的またはその他のいかなるすべての損害を保証しません。特定の管轄では、上記の偶発による、または必然的な損傷やその他の除外規定における制限や免責事項は適用されない場合があります。そのため、上記の規定はお客様に適用されない場合があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国または法域ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。(オーストラリアで購入された製品については、以下の第4項をご参照ください)。

認定ディストリビューターまたはディーラーや、その他の人物のいずれにおいても、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表示、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にもBRPに対する強制力はありません。BRPはこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更されないことに同意します。

3. 除外規定(以下は保証修理の対象とはなりません)

どの状況においても、以下はこの限定的保証の対象ではありません。

- オイルおよび潤滑剤、フィルターおよびスパークプラグを含む、定期的なメンテナンスが必要な部品の交換。

- タイヤ、バッテリー、発電機のブラシ、シールドビームおよび電球、クラッチプレートおよびフェーシング、駆動ベルト、ブレーキ・パッド、ブレーキ・ライニング、ローターおよびスプロケットを含む部品の通常の磨耗および消耗。
- ベルト、アラインメントおよび車輪バランスの調整を含む部品のチューンアップおよび調整。
- シートカバーの素材の傷、へこみ、退色、剥離や損傷を含む製品の外観への損傷。
- 『オペレーターズガイド』に示されている過失、または適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害。
- 製品の正式仕様範囲を超える部品を取り外し、不適切な修理、扱いまたはメンテナンス、および改造や改変による損傷によって生じた損傷、またはBRPによって製造または承認されず、BRPによって製品に適格ではない、または製品の操作に不利に影響すると合理的に判断された部品やアクセサリを使用によって生じた損傷、または認定ディストリビューターまたはディーラーによって行われなかった修理から生じた損傷。
- 異なるタイヤ、エキゾースト・システム、車輪またはブレーキを含む純正部品とは異なる仕様の部品の取り付けにより生じた損傷。
- 誤用、乱用、過失、レースでの使用、またはオペレーターズガイドで説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害。
- 水の吸い込み、事故、道路上の危険性、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷。
- オペレーターズガイドの推奨事項と異なる仕様の燃料、オイルまたは潤滑剤を使って生じた損傷。
- オペレーターズガイドの説明とは異なる道路塩、バッテリー液または環境の影響から生じた損傷。
- ガソリンの費用、認定ディストリビューターまたはディーラーに製品を回送、回収するための費用、メカニックの出張費、トレーラーまたは牽引による移送、保管、携帯、ファックスまたは電報の料金、保証の施行期間における代替製品のレンタル、タクシー、旅費、宿泊費、私物の損失または欠損、不便性、保険の費用、ローンの支払い、時間の損失、所得、収入や利益の損失、または製品の使用または使用の楽しみの損失などを含むが、これらに限定されない偶発的または必然的な損害。

4.保証対象期間

この保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはその製品が最初に使用された日のいずれかが早い日から、次の期間有効です。

1. 個人使用、レクリエーション用途の場合、以下の(2)および(3)の状況以外では、**連続する24カ月間**、業務使用の場合、以下の(2)および(3)の状況以外では、**連続する12カ月間**。
保証期間中であっても、製品による収入の発生、または製品が何らかの業務または職業で用いられた場合は、製品は商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中に製品が商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、Roadsterは商業的用途で使用されたものと見なされます。
2. バッテリーにおいては、**連続する6ヶ月間**。
3. タイヤについては、**連続する6ヶ月間**、または前輪が3/32インチ(2.38 mm)まですり減った時点、または後輪が5/32インチ(3.97 mm)まですり減った時点の、いずれかが最初に発生した時点。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

保証期間および保証の他の条件は、お客様の国で適用される関連する法令に従います。

5.保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときにのみ適用されます。

- 製品は、その販売が行われた国または連邦国において製品の販売を許可されているディストリビューターまたはディーラーから、新品で未使用の製品として最初の所有者により購入される必要があります。
- BRPが指定する納入前点検が購入者および認定ディストリビューターまたはディーラーによって完了および文書化され、購入者によって署名されている。
- 製品は、認定ディストリビューター / ディーラーによって正しく保証登録されなければなりません。
- 製品は、購入者が居住する国または連邦国で購入される必要があります。
- オペレーターズガイドに記載されている定期的メンテナンスは時宜に即して行う必要があります。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6.保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後に製品の使用を中断しなければなりません。お客様は欠陥の発現から2ヶ月以内に、整備を行うディストリビューターまたはディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをディストリビューターまたはディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理 / 作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。通知期間はお客様の国で適用される関連する法令に従うことに留意ください。

7.BRPが行うこと

法律が許す範囲内において、この保証に基づくBRPの義務は以下に記載する条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の認定ディストリビューターまたはディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しい純正部品と交換することに限定されます。BRPの責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、製品の払い戻しや販売の撤回の理由とはなりません。権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、またはEEA居住者がEEA外で、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、政府、州、領域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造されたすべての製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8. 譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この限定保証もその諸条項に基づいて譲渡され、BRPまたは認定ディストリビューター/ディーラーが、もとの所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

9. お客様サポート

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について、認定ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドのお客様窓口のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

10. フランスのみに適用される追加利用規約

次の利用規約はフランスで販売されている製品だけに適用されます。

販売者は契約を遵守する製品を配送し、配送時に認められる欠陥の責任を負います。販売者は、契約による自らの責任で、または自らの責任で行われたパッケージング、組み立て指示または取り付けに起因する欠陥の責任を負います。契約を成立させるには、製品は次の条件をクリアする必要があります。

- 同等品の通常動作を行うことができ、該当する場合、次の条件もクリアする必要があります。
 1. 製品の特性は販売者の説明と一致し、特性はサンプルまたは模型により購入者に説明されていること。
 2. 製品は、広告やラベルを含めた販売者および製造業者の公共宣言により合法的に購入者によって期待される特性を持っていること。
- 製品は、当事者間で相互に合意された特性を持っている、または購入者が事前に販売者に特定の使用目的を相談し、販売者が目的を満たせると承諾した特性を持っていること。

仕様不遵守に対する処置は、配送から2年間有効です。販売者は、製品に購入者の使用目的が満たせられなくなるほどの隠された欠陥がある場合、またはその欠陥を事前に知っていたらより低い値段で買っていた場合、その隠れた欠陥に対する保証の責任を負います。そのような隠れた欠陥に対する賠償要求は、欠陥の発見から2年以内に購入者によって行われる必要があります。

メンテナンス記録

必要に応じて、メンテナンス記録のコピーをBRPにお送りください。

納入前

シリアル番号： _____	署名（活字体）： _____
走行距離 （ km ）： _____	
時間： _____	
日付： _____	
ディーラー番号 ： _____	
メモ： _____	

取り付け手順詳細については、車両のブリデリバリーブリテンを参照してください。

最初の点検

走行距離 （ km ）： _____	署名（活字体）： _____
時間： _____	
日付： _____	
ディーラー番号 ： _____	
メモ： _____	

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離 （ km ）： _____	署名（活字体）： _____
時間： _____	
日付： _____	
ディーラー番号 ： _____	
メモ： _____	

サービス

サービス	

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

サービス

サービス	
走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ デイラー番号 : _____ メモ : _____ _____	署名 (活字体) :
メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

サービス

サービス	
走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ デイラー番号 : _____ メモ : _____ _____	署名 (活字体) :
メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

サービス

サービス	
走行距離 (km) : _____ 時間 : _____	署名 (活字体) :

サービス

日付：

ディーラー番号

：

メモ：

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km)：

時間：

日付：

ディーラー番号

：

メモ：

署名 (活字体)：

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km)：

時間：

日付：

ディーラー番号

：

メモ：

署名 (活字体)：

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

顧客情報

個人情報

BRPは、お客様の個人情報の保護を最優先にしています。当社のデータプライバシーに関する取り組みは、当社のプライバシーポリシーに掲載されており、いつでも確認することができます。

<https://brp.com/en/privacy-policy.html>

当社は、お客様の安全性を考慮して、お客様の個人情報をセキュリティおよび保証関連の目的で使用する場合があります。さらに、BRPとその子会社は、BRPおよび関連製品のマーケティングおよびプロモーション情報を配布するためお客様の個人情報を使用する場合があります。当社は、お客様の同意を得て（適用法によって求められている場合）、または適用される法的根拠に従って個人情報を使用します。

自身のデータへのアクセスやデータの修正、ダイレクトマーケティングのアドレスリストからのデータの削除など、データプライバシーに関する法律により与えられている権利を行使する場合は、いつでもBRPにお問い合わせください。連絡先は次のとおりです。

電子メール：

privacyofficer@brp.com

郵便：

BRP Legal Service
726 St-Joseph
Valcourt QC
Canada
J0E 2L0

アジア太平洋

オーストラリア

6 Lord Street
Lakes Business Park
Botany, NSW 2019

中国

Room 3703, Tower 2,
Grand Gateway
3 Hong Qiao Road,
Xuhui District,
Shanghai 200030

日本

108-0075東京都港区港南2丁目16-1
品川イーストワンタワー21階

ニュージーランド

Suite 1.6, 2-8 Osborne Street,
Newmarket, Auckland 2013

欧州、中東、アフリカ

ベルギー

Oktrooiplein 1
9000 Gent

チェコ共和国

Stefanikova 43a
Prague 5
150 00

ドイツ

Itterpark 11
40724 Hilden

フィンランド

Isoaavantie 7
PL 8040
96101 Rovaniemi

フランス

Arteparc Bâtiment B
Route de la côte d'Azur,
13 590 Meyreuil

ノルウェー

Ingvald Ystgaardsvei 15
N-7484 Trondheim
Salg, marketing, ettermarked

スウェーデン

Spinnvägen 15
903 61 Umeå
Sweden 90821

スイス

Avenue d'Ouchy 4-6
1006 Lausanne

中南米

ブラジル

Av. James Clerck Maxwell, 230
Campinas, Sao Paulo
CEP 13069-380

メキシコ

Av. Ferrocarril 202
Parque Industrial Querétaro
Santo Rosa Jauregui, Querétaro
C.P. 76220

北米

カナダ

3200A, rue King Ouest,
Suite 300
Sherbrooke (Québec) J1L 1C9

米国

10101 Science Drive
Sturtevant, Wisconsin
53177

空白ページ


お客様が住所を変更された場合または車両の新しい所有者になった場合は、以下のいずれかの方法でBRPに通知してください。


- 認定Can-Amディーラーに連絡する。
- **北米のみ:** 1 888 272-9222までお電話ください。
- このガイドのお客様窓口のセクションに記載されているBRPの住所のいずれかに、以降のページにある住所変更カードを郵送してください。

所有権の変更の場合は、以前の所有者が譲渡に合意している証明書を添付してください。

例えば、安全上のリコールを開始した場合など、BRPが必要に応じて車両の所有者に連絡できるように、限定保証の期間が終了した後でも、BRPに通知することが重要です。BRPに通知するのは、所有者の責任です。

盗難に遭った場合: 車両が盗難にあった場合は、BRPまたは認定Can-Amディーラーにご連絡ください。お客様の氏名、ご住所、電話番号、車両識別番号、そして盗難の日付をお知らせください。

住所の変更 <input type="checkbox"/>	所有権の変更 <input type="checkbox"/>	
車両識別番号		
モデル番号	車両識別番号 (V.I.N.)	
以前の住所 または以前のオーナー:		
氏名		
番地	町村	アパート
市/郡	都道府県	郵便番号
国	電話番号	
新しい住所 または新しいオーナー:		
氏名		
番地	町村	アパート
市/郡	都道府県	郵便番号
国	電話番号	
Eメールアドレス		

住所の変更 <input type="checkbox"/>	所有権の変更 <input type="checkbox"/>	
車両識別番号		
モデル番号	車両識別番号 (V.I.N.)	
以前の住所 または以前のオーナー:		
氏名		
番地	町村	アパート
市/郡	都道府県	郵便番号
国	電話番号	
新しい住所 または新しいオーナー:		
氏名		
番地	町村	アパート
市/郡	都道府県	郵便番号
国	電話番号	
Eメールアドレス		

このページは
意図的に空白です

住所の変更 <input type="checkbox"/>		所有権の変更 <input type="checkbox"/>	
車両識別番号			
モデル番号	車両識別番号 (V.I.N.)		
以前の住所 または以前のオーナー:		氏名	
番地	町村	アパート	
市/郡	都道府県	郵便番号	
国	電話番号		
新しい住所 または新しいオーナー:		氏名	
番地	町村	アパート	
市/郡	都道府県	郵便番号	
国	電話番号		
Eメールアドレス			

住所の変更 <input type="checkbox"/>		所有権の変更 <input type="checkbox"/>	
車両識別番号			
モデル番号	車両識別番号 (V.I.N.)		
以前の住所 または以前のオーナー:		氏名	
番地	町村	アパート	
市/郡	都道府県	郵便番号	
国	電話番号		
新しい住所 または新しいオーナー:		氏名	
番地	町村	アパート	
市/郡	都道府県	郵便番号	
国	電話番号		
Eメールアドレス			

このページは
意図的に空白です

注記： _____

注記： _____

注記： _____

注記： _____

注記： _____

モデル番号 _____

車両

識別番号 (V.I.N.) _____

エンジン

識別番号 (E.I.N.) _____

オーナー: _____

氏名

郵便番号

都道府県

市/郡

町村

番地

アパート

購入日 _____

年

月

日

保証有効期限 _____

年

月

日

販売時にディーラーが記入すること。

ディーラー押印箇所

⚠ 警告

このCan-Am On-Roadは特殊なタイプの車両です。特別なスキルと知識が必要になります。この製品の特長性について理解してください。

- 本車両を運転する前に、このオペレーターズガイドおよび本車両のすべての警告ラベルを読み、安全講習ビデオをご覧ください。



- トレーニングコース（用意されている場合）を受講し、運転の練習を行って習熟したうえで、該当の免許を取得してください。
- 乗車する前に安全カードを参照してください。

- **必ずヘルメットとライディングギアを着用してください。**自動車とは異なり、このタイプの車両では運転者が道路からのより多くの危険に曝されます。

高い運転技術を備えたライダーであっても、他の車両に衝突されて制御不能になる場合があります。この車両は、衝突事故において運転者を保護しません。

- **運転の限界と道路条件。**車両の限界を超えた運転が行われた場合、車両安定システム(VSS)は制御不能、転倒、あるいは転落を防止することはできません。様々な道路条件での限界について氷上、雪上、オフロードで運転しないで下さい。水たまりと流水を避けてください。このタイプの車両は、水上でハイドロプレーニングを起こし、道路を覆った砂利、泥、砂でスリップする可能性があります。このような路面を走行しなければならない場合、速度を落としてください。

®、TMおよびBRPのロゴはBombardier Recreational Products Inc.またはその関連会社の商標です。

©2021 BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.

無断複写・転載を禁じます。

www.brp.com

SKI-DOO®

SEA-DOO®

CAN-AM®

LYNX®

EVINRUDE®

ROTAX®